

諸 会 議 報 告

会 議 名	令和5年第2回カリキュラム評価委員会
開 催 日	令和6年3月27日(水)
報 告 者	藤 永 教 授
議題・報告事項・連絡事項及び要旨	
議題 1. 共用試験 CBT 過去3年分の結果について・・・資料No. 1-1、1-2 議長より資料No. 1に基づき説明があった。2023年度は生体物質の代謝、代謝障害、乳房において、正答率70%を切っていた。 関連して、医学教育研修センターの中島教員から資料No. 1-2に基づいて、入試における生物選択の有無による医学の学修への影響について分析した結果、生物選択の影響が見られるのは1年次のみであり、2年次以降にはその影響が弱まること、また非選択者のほとんどは単位修得に必要な学力を有していることの報告があり、全体へのサポートは不要だが、下位10名程度の生物非選択者へのサポートをすることは可能との報告があった。 また、生体物質の代謝に関連して、生化学について種々意見等をいただき、今後の改善に生かしていくこととした。 2. 共用試験 OSCE 過去3年分の結果について・・・資料No. 2 議長より資料No. 2に基づき説明があった。機構での集計方法が変わったため単純な比較は難しいが、例年同様、患者への配慮や身体診察において「A」評価での合格の割合が高い旨、説明があった。 6年生OSCEについては、例年並みの成績である旨、報告があった。 3. 医学科における進級状況について・・・資料No. 3 議長より資料No. 3に基づき説明があった。留年者数は例年とほぼ同じ程度であり、1、2年でメンタル的に不調になってしまうという傾向が続いている旨、報告があった。 4. 医学科5・6年生における医学生としての能力について・・・資料No. 4 議長より資料No. 4に基づき説明があった。いずれの項目においても5年生よりも6年生の方ができていると回答しており、臨床実習を経て、医学科生としての能力が身に付いていることが示されている旨、説明があった。 5. カリキュラム(2、3年)についての検証・分析と評価・・・資料No. 5 議長より資料No. 5について説明があった。2年生はカリキュラムについて全体の80%以上が満足、おおむね満足の回答があったこと、3年生は2年生と比較するとやや不満が多く、授業内容や試験の頻度等について意見等が寄せられている旨、説明があった。 6. 令和5年度前期授業における点検と評価・分析について・・・資料No. 6 議長より資料No. 5について説明があった。授業アンケートの回収率が、学年が上がると低くなっているため、アンケート協力をお願いしたい旨、説明があった。 7. 信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価の実施について・・・資料No. 7 議長より資料No. 7について説明があった。点検の結果、各項目については概ね良好であるとした。 資料No. 7-10について、医学教育研修センターにおいて県内研修医と直接面談する取り組みを行い、取りまとめたものであり、本学のカリキュラムで学んだことが生かされている、学生生活について満足であった旨の回答を得られている旨、報告があった。 ※協議を要する事項 なし	

CBTの出題数と正答率

コアカリ内容		2023年度		2022年度		2021年度	
		出題数	正答率	出題数	正答率	出題数	正答率
A-1	プロフェッショナリズム	228	89.0%	251	81.3%	269	89.2%
A-2	医学知識と問題対応能力	21	76.2%	26	84.6%	21	85.7%
A-3	診療技能と患者ケア	84	84.5%	81	86.4%	65	89.2%
A-4	コミュニケーション能力	183	85.2%	178	85.4%	180	85.6%
A-5	チーム医療の実践	49	81.6%	76	81.6%	52	92.3%
A-6	医療の質と安全の管理	246	83.3%	292	81.2%	301	86.0%
A-7	社会における医療の実践	0	出題無し	0	出題無し	0	出題無し
A-8	科学的探究	7	71.4%	13	100.0%	9	77.8%
A-9	生涯にわたって共に学ぶ姿勢	14	100.0%	27	85.2%	47	93.6%
B-1-1)	統計の基礎	10	80.0%	0	出題無し	2	100.0%
B-1-2)	統計手法の適用	0	出題無し	0	出題無し	0	出題無し
B-1-3)	根拠に基づいた医療<EBM>	0	出題無し	0	出題無し	9	88.9%
B-1-4)	疫学と予防医学	487	77.0%	572	78.5%	540	75.0%
B-1-5)	生活習慣とリスク	163	79.8%	198	82.8%	183	82.0%
B-1-6)	社会・環境と健康	170	80.6%	173	79.8%	196	84.7%
B-1-7)	地域医療・地域保健	286	71.0%	279	74.9%	324	75.9%
B-1-8)	保健・医療・福祉・介護の制度	299	76.3%	343	77.0%	347	72.0%
B-1-9)	国際保健	13	76.9%	9	88.9%	10	100.0%
B-2	法医学と関連法規	234	80.3%	313	76.4%	263	79.1%
B-3	医学研究と倫理	2	100.0%	1	0.0%	14	64.3%
B-4	医療に関連のある社会科学領域	0	出題無し	0	出題無し	0	出題無し
C-1	生命現象の科学	197	83.8%	200	78.0%	226	80.5%
C-2-1)	細胞の構成と機能	267	70.0%	354	67.5%	321	71.7%
C-2-2)	組織・各臓器の構成、機能と位置関係	368	74.2%	390	70.5%	397	76.1%
C-2-3)	個体の調節機構とホメオスタシス	418	71.1%	442	70.1%	427	76.1%
C-2-4)	個体の発生	414	73.2%	502	67.5%	517	75.2%
C-2-5)	生体物質の代謝	420	63.8%	474	65.6%	478	73.6%
C-3-1)	生体と微生物	412	75.5%	470	77.0%	466	80.9%
C-3-2)	免疫と生体防御	445	78.4%	514	70.2%	554	73.1%
C-3-3)	生体と薬物	387	79.6%	430	80.2%	390	81.3%
C-4-1)	遺伝的多様性と疾患	189	80.4%	219	76.3%	204	79.9%
C-4-2)	細胞傷害・変性と細胞死	84	75.0%	118	71.2%	118	81.4%
C-4-3)	代謝障害	51	68.6%	79	72.2%	79	73.4%
C-4-4)	循環障害、臓器不全	91	82.4%	102	77.5%	106	81.1%
C-4-5)	炎症と創傷治癒	86	76.7%	76	73.7%	94	83.0%
C-4-6)	腫瘍	303	75.2%	325	80.6%	343	80.8%
C-5	人の行動と心理	28	60.7%	25	52.0%	0	出題無し

コアカリ内容		2023年度		2022年度		2021年度	
		出題数	正答率	出題数	正答率	出題数	正答率
D-1	血液・造血器・リンパ系	482	79.9%	563	79.8%	567	83.2%
D-2	神経系	832	79.0%	944	76.0%	944	81.5%
D-3	皮膚系	321	80.1%	407	77.1%	404	80.7%
D-4	運動器（筋骨格）系	435	73.8%	459	77.1%	467	80.9%
D-5	循環器系	832	78.8%	944	77.0%	944	79.4%
D-6	呼吸器系	832	82.0%	944	81.5%	944	80.0%
D-7	消化器系	832	79.0%	944	76.9%	944	77.9%
D-8	腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）	421	77.4%	467	78.6%	442	76.7%
D-9	生殖機能	326	76.7%	358	76.8%	400	80.0%
D-10	妊娠と分娩	231	70.6%	298	71.1%	299	70.6%
D-11	乳房	164	68.9%	175	73.7%	173	76.9%
D-12	内分泌・栄養・代謝系	511	77.3%	537	80.3%	540	81.7%
D-13	眼・視覚系	420	78.3%	511	74.0%	475	81.5%
D-14	耳鼻・咽喉・口腔系	412	80.1%	433	76.0%	469	78.3%
D-15	精神系	437	82.2%	512	83.6%	484	83.7%
E-1	遺伝医療・ゲノム医療	27	81.5%	29	82.8%	23	78.3%
E-2	感染症	1003	77.3%	1190	75.6%	1200	81.6%
E-3-1)	腫瘍の定義・病態	88	86.4%	100	82.0%	74	82.4%
E-3-2)	腫瘍の診断	105	84.8%	131	71.8%	95	75.8%
E-3-3)	腫瘍の治療	257	75.9%	275	80.4%	267	81.3%
E-3-4)	腫瘍の診療の基本的事項	0	出題無し	0	出題無し	0	出題無し
E-3-5)	腫瘍各論	832	80.9%	944	79.0%	944	83.2%
E-4	免疫・アレルギー	634	86.8%	669	84.5%	665	85.0%
E-5	物理・化学的因子による疾患	266	81.6%	243	83.1%	249	82.3%
E-6	放射線の生体影響と放射線障害	106	84.0%	159	69.2%	150	76.7%
E-7	成長と発達	455	79.1%	483	75.4%	504	79.8%
E-8	加齢と老化	234	82.5%	301	76.1%	278	83.1%
E-9	人の死	176	83.5%	202	85.1%	301	82.7%
F-2	基本的診療知識・臨床推論	1435	77.9%	1646	74.4%	1651	79.3%
F-3	基本的診療技能	0	出題無し	0	出題無し	0	出題無し

高校生物が医学科の学修に与える影響の調査

医学教育研修センター

高校生物が医学科の学修に与える影響の調査

<背景>

- 生物学は医学の土台となる学問であり、医学科基礎系科目の多くと強く関連する。
- 一方、医学生約7割は生物を選択しておらず、その修得に苦勞していることが推測される。
- しかし、生物選択か否かが、どの程度医学の学修に影響しているかは不明である。

<目的>

- 高校生物の選択者と非選択者の間で、医学科入学後の学修に差があるかを調査すること。

<解析方法>

- 2016～2023年度に本学科へ入学した学生(16M～23M)を対象とした。
- 入試の理科選択科目が、**生物・化学(⇒生物群)**か**物理・化学(⇒物理群)**かで2群に分けた。
(生物・物理選択者は2～3年に1人程度のため除外。留年者も除外。)
- 生物群と物理群の間で、下記に示す生物系科目の評価素点(再試前の評価点)に差があるかを統計学的に調査した。2群間の比較はマン・ホイットニーのU検定により行った。
- 解析科目：
 - 1年前期 … ヒト生物学Ⅰ、生化学、生物学A(選択科目)
 - 1年後期 … ヒト生物学Ⅱ、ゲノム・染色体・遺伝子、発生学総論/再生医学
 - 2年前期 … 薬理学総論
 - 以下、旧カリキュラム
 - 2年後期 … 生理学演習・実習(器官系)、同(統御系)、生化学演習・実習Ⅰ
 - 3年前期 … 薬理学演習・実習

<結果> 次ページのグラフもご覧ください。

- **[1年前期]** 「ヒト生物学Ⅰ」、「生化学」、および「生物学A」の評価点は、いずれも生物群の方が物理群よりも有意に高かった。
- **[1年後期]** 「ヒト生物学Ⅱ」と「発生学総論/再生医学」の評価点は、生物群の方が物理群よりも有意に高かった。一方、「ゲノム・染色体・遺伝子」では、2群間に差はみられなかった。
- **[2年前期]** 「薬理学総論」では、生物群と物理群の間に差はみられなかった。
- **[旧カリキュラム]** 2年次の「生理学(器官系)」、「生理学(統御系)」、「生化学」、および3年次の「薬理学」では、いずれも生物群と物理群の間に差はみられなかった。

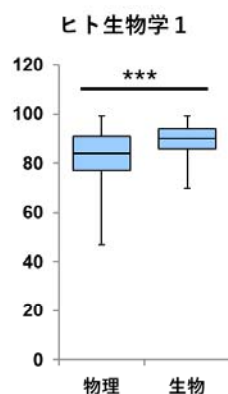
<まとめ>

- 1年次では、6科目中5科目で生物選択の方が非選択者よりも成績が良い傾向がみられた。一方、2年次以降の科目では生物選択の優位性はみられなかった。このことから、生物選択の影響がみられるのは1年次であり、2年次以降にはその影響は弱まることが示唆された。
- 1年次には生物選択の優位性がみられたが、非選択者のほとんど(8割以上)は単位修得に必要な学力を有しており、学修に苦勞する者は限定的であることが示唆された。

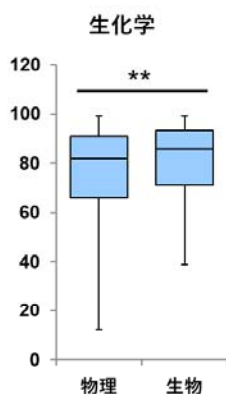
<今後の方針案>

- 現状、全体に対して新たなサポートを行う必要性は低いと考えている。
- 一方、下位10名程度の学生に対しては、ゼミ形式でサポートすることは可能である。

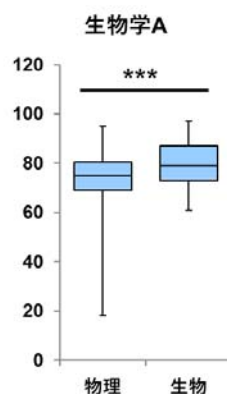
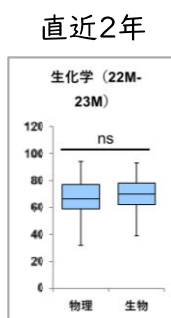
I 年前期



N = 350 vs 127
(20M-23M)



N = 350 vs 127
(20M-23M)



N = 291 vs 117
(20M-23M)

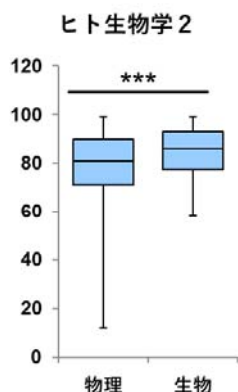
<箱ヒゲ図>

箱: 中央の横線は
中央値、上・下端は
75・25%値
ヒゲ: 上・下限は
最大値・最小値

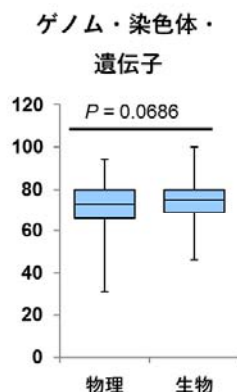
<統計解析>

* $P < 0.05$,
** $P < 0.01$,
*** $P < 0.001$;
ns, not significant

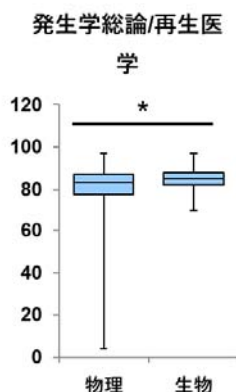
I 年後期



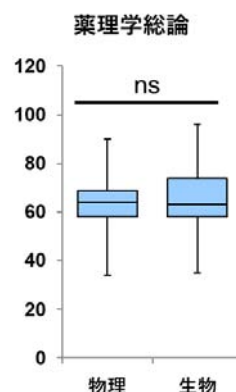
N = 349 vs 127
(20M-23M)



N = 266 vs 89
(21M-23M)

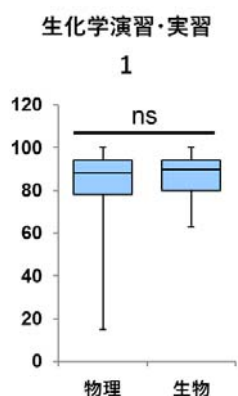


N = 267 vs 89
(21M-23M)

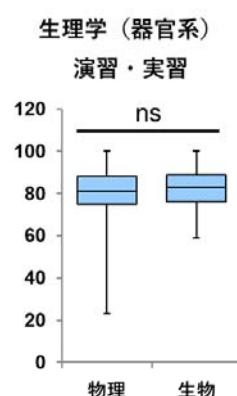


N = 171 vs 65
(21M-22M)

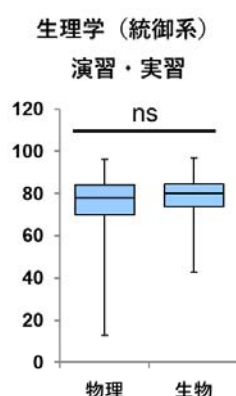
2年後期(旧カリ)



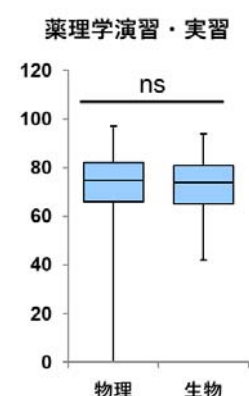
N = 177 vs 53
(17M-18M)



N = 337 vs 127
(17M-20M)



N = 337 vs 127
(17M-20M)



N = 407 vs 165
(16M-20M)

3年前期(旧カリ)

4年次臨床実習前OSCE

年度	成績 (4段階)	項目別人数割合 (%)				
		患者への配慮	医療面接	診察技能 (身体診察)	診察技能 (基本的臨床手技)	救急
2023	A	86.7	50.5	68.6	62.9	73.3
	B	11.4	44.8	27.6	25.7	20.0
	C	1.9	4.8	3.8	3.8	5.7
	F	0.0	0.0	0.0	7.6	1.0

参考 2020~2022年度

年度	平均得点率 (%)									
	医療面接	身体診察						救急	基本的 臨床手技	感染対策
		胸部	腹部	神経	頭頸部	バイタル	四肢と脊柱			
2022	89.6	90.3	91.1	89.9	91.8	89.8	91.7	92.2	88.8	80.7
2021	93.1	96.9	91.3	95.5	96.2			94.7		
2020	85.2	89.2	87.4	88.5	92.2			94.3		

6年次臨床実習後OSCE

年度	機構課題	平均得点率	年度平均得点率 (%)
2023	1	65.6	66.0
	2	66.2	
	3	66.1	
2022	1	67.6	67.8
	2	68	
	3	67.7	
2021	1	68.4	70
	2	69.7	
	3	71.9	

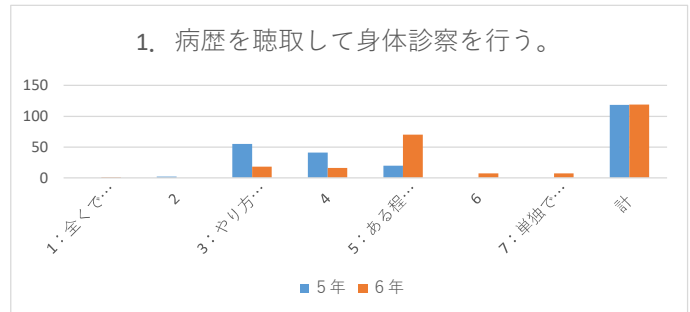
医学部医学科進級者・留年者データ

2024.3.13時点

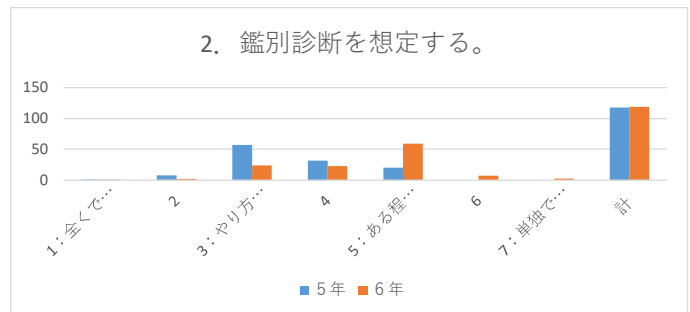
令 和 3 年 度	学年	進級者 (卒業生)	留年者	う		退学者	合計	進級率
				休学者	留学者			
令和3年度	1年生	119	3	1	0	0	122	97.5
	2年生	117	6	0	0	1	124	94.4
	3年生	121	5	1	0	0	126	96.0
	4年生	114	4	3	0	1	119	95.8
	5年生	130	0	0	0	0	130	100.0
	6年生	129	11	2	0	0	140	92.1
	合計	730	29	7	0	2	761	95.9
令 和 4 年 度	学年	進級者 (卒業生)	留年者	う		退学者	合計	進級率
				休学者	留学者			
令和4年度	1年生	122	1	0	0	0	123	99.2
	2年生	109	16	1	0	0	125	87.2
	3年生	112	10	3	1	0	122	91.8
	4年生	122	3	0	0	0	125	97.6
	5年生	113	1	0	1	0	114	99.1
	6年生	135	6	2	0	0	141	95.7
	合計	713	37	6	2	0	750	95.1
令 和 5 年 度	学年	進級者 (卒業生)	留年者	う		退学者	合計	進級率
				休学者	留学者			
令和5年度	1年生	120	1	0	0	0	121	99.2
	2年生	125	12	3	0	0	137	91.2
	3年生	116	4	2	0	0	120	96.7
	4年生	104	11	0	0	0	115	90.4
	5年生	122	0	0	0	0	122	100.0
	6年生	113	7	3	1	0	120	94.2
	合計	700	35	8	1	0	735	95.2

現時点でのあなたの医学生としての能力について

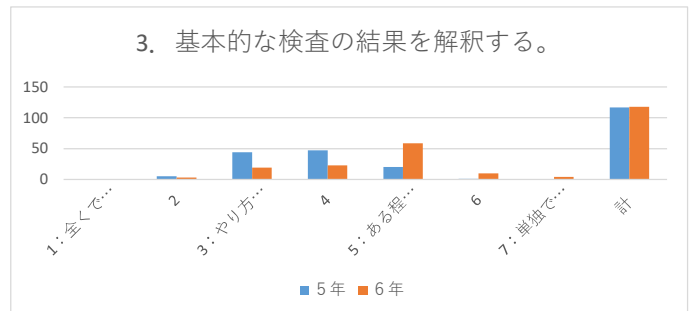
1. 病歴を聴取して身体診察を行う。	5年	6年
1: 全くできない	0	1
2	2	0
3: やり方を知っている	55	18
4	41	16
5: ある程度単独でできる自信がある	20	70
6	0	7
7: 単独でできる自信がある	0	7
計	118	119



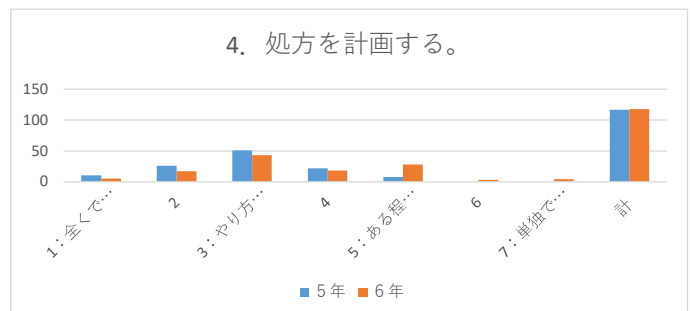
2. 鑑別診断を想定する。	5年	6年
1: 全くできない	1	1
2	8	2
3: やり方を知っている	57	24
4	32	23
5: ある程度単独でできる自信がある	20	59
6	0	7
7: 単独でできる自信がある	0	3
計	118	119



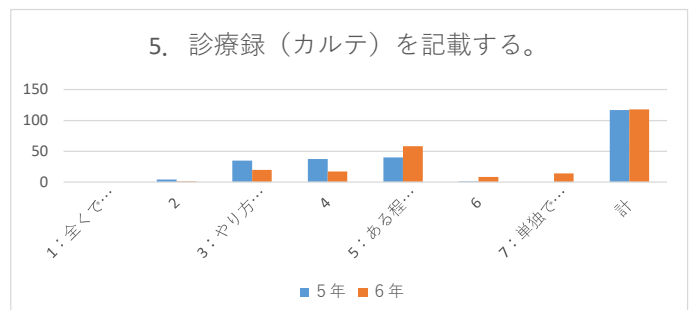
3. 基本的な検査の結果を解釈する。	5年	6年
1: 全くできない	0	0
2	5	3
3: やり方を知っている	44	19
4	47	23
5: ある程度単独でできる自信がある	20	59
6	1	10
7: 単独でできる自信がある	0	4
計	117	118



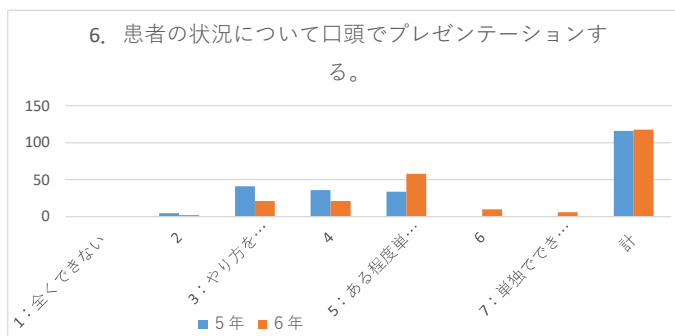
4. 処方計画する。	5年	6年
1: 全くできない	10	5
2	26	17
3: やり方を知っている	51	43
4	22	18
5: ある程度単独でできる自信がある	8	28
6	0	3
7: 単独でできる自信がある	0	4
計	117	118



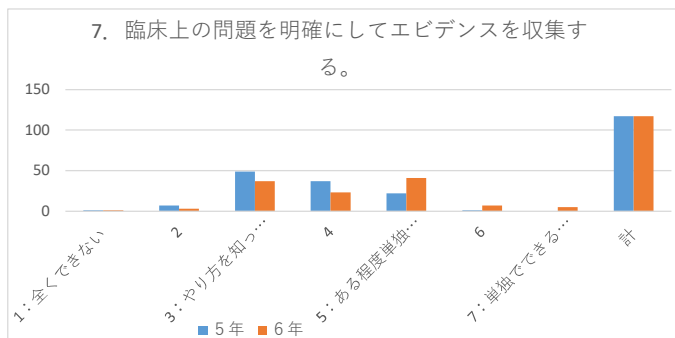
5. 診療録（カルテ）を記載する。	5年	6年
1: 全くできない	0	0
2	4	1
3: やり方を知っている	35	20
4	37	17
5: ある程度単独でできる自信がある	40	58
6	1	8
7: 単独でできる自信がある	0	14
計	117	118



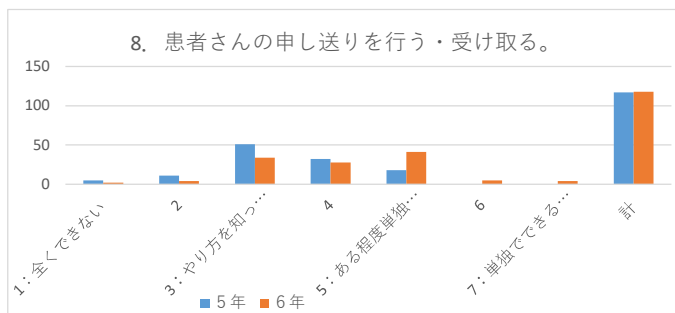
6. 患者の状況について口頭でプレゼンテーションする。	5 年	6 年
1: 全くできない	0	0
2	5	2
3: やり方を知っている	41	21
4	36	21
5: ある程度単独でできる自信がある	34	58
6	0	10
7: 単独でできる自信がある	0	6
計	116	118



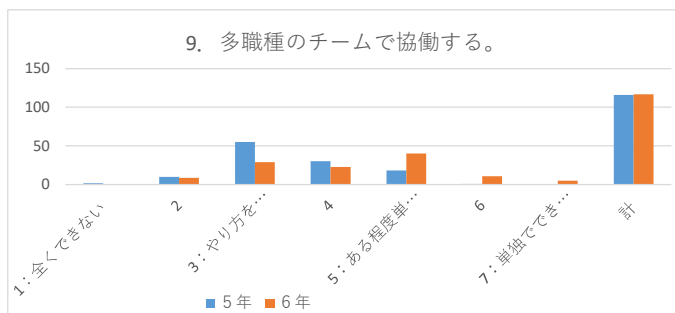
7. 臨床上の問題を明確にしてエビデンスを収集する。	5 年	6 年
1: 全くできない	1	1
2	7	3
3: やり方を知っている	49	37
4	37	23
5: ある程度単独でできる自信がある	22	41
6	1	7
7: 単独でできる自信がある	0	5
計	117	117



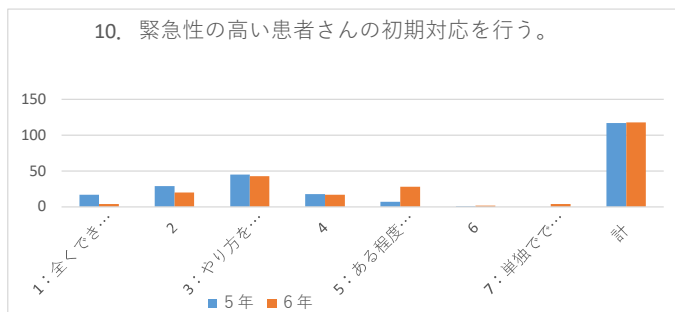
8. 患者さんの申し送りを行う・受け取る。	5 年	6 年
1: 全くできない	5	2
2	11	4
3: やり方を知っている	51	34
4	32	28
5: ある程度単独でできる自信がある	18	41
6	0	5
7: 単独でできる自信がある	0	4
計	117	118



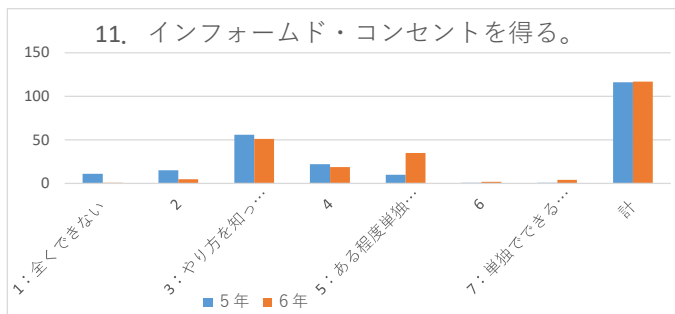
9. 多職種のチームで協働する。	5 年	6 年
1: 全くできない	2	0
2	10	9
3: やり方を知っている	55	29
4	30	23
5: ある程度単独でできる自信がある	18	40
6	1	11
7: 単独でできる自信がある	0	5
計	116	117



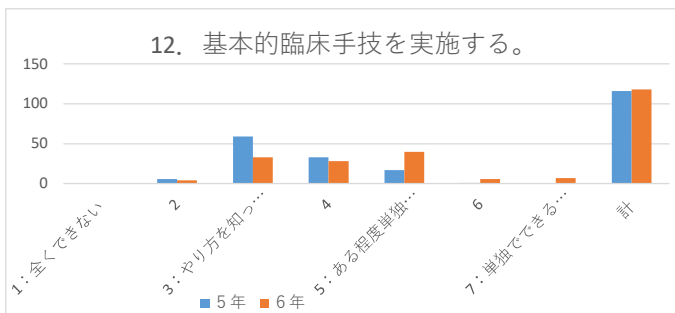
10. 緊急性の高い患者さんの初期対応を行う。	5 年	6 年
1: 全くできない	17	4
2	29	20
3: やり方を知っている	45	43
4	18	17
5: ある程度単独でできる自信がある	7	28
6	1	2
7: 単独でできる自信がある	0	4
計	117	118



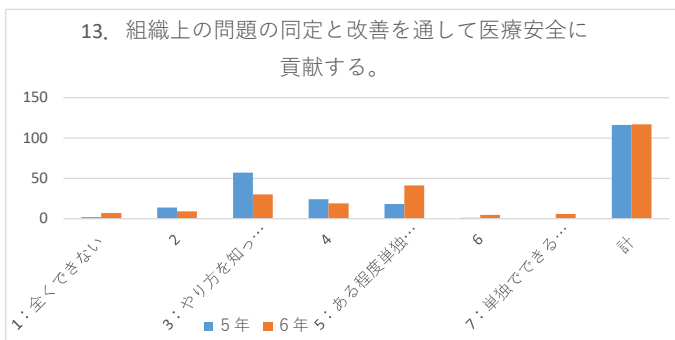
11. インフォームド・コンセントを得る。	5年	6年
1：全くできない	11	1
2	15	5
3：やり方を知っている	56	51
4	22	19
5：ある程度単独でできる自信がある	10	35
6	1	2
7：単独でできる自信がある	1	4
計	116	117



12. 基本的臨床手技を実施する。	5年	6年
1：全くできない	0	0
2	6	4
3：やり方を知っている	59	33
4	33	28
5：ある程度単独でできる自信がある	17	40
6	1	6
7：単独でできる自信がある	0	7
計	116	118



13. 組織上の問題の同定と改善を通して医療安全に貢献する。	5年	6年
1：全くできない	2	7
2	14	9
3：やり方を知っている	57	30
4	24	19
5：ある程度単独でできる自信がある	18	41
6	1	5
7：単独でできる自信がある	0	6
計	116	117



R5_2年前期_医学部カリキュラムに関するアンケート

1. カリキュラムについて

カリキュラムを総合的にみて、満足 of いくものでしたか。あなたの考えに最も近い項目をお選びください。

満足	38
おおむね満足	71
やや不満足	6
不満足	0
計	115

意見のある方は具体的に入力してください。

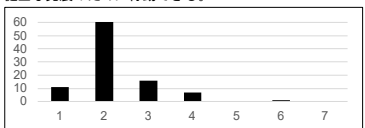
満足	授業に行くのが大変な時があるので、オンデマンドを充実させてほしい。
おおむね満足	最初に行われた1年間の見直しについての説明をいつでも見返せるようにして欲しい。
おおむね満足	薬理学の試験範囲は広く浅すぎるため、あまり身についた感じがなかった。（試験が終わるとすぐ忘れてしまう内容量だったと思う）
やや不満足	薬理学の難易度が高く理解が追い付かない。
やや不満足	テストの量が多い。
やや不満足	ほとんど満足ではあるが、一部どういったものを得られるのか分からない授業があった。

2. ディプロマポリシーについて

各DPIについて、現時点でどのレベルまで達していると自身で感じていますか。

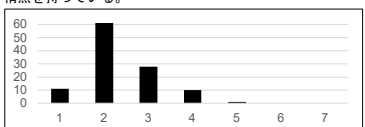
温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。

1: 高校卒業時のレベル	11
2: 成人としてのレベル	81
3	16
4: 臨床実習を開始できるレベル	7
5	0
6: 卒業時に求められるレベル	1
7: それ以上のレベル	0
計	116



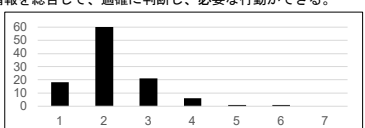
医師としての高い見識と誠実な態度を身につけ、病める人を救う強い情熱を持っている。

1: 高校卒業時のレベル	11
2: 成人としてのレベル	66
3	28
4: 臨床実習を開始できるレベル	10
5	1
6: 卒業時に求められるレベル	0
7: それ以上のレベル	0
計	116



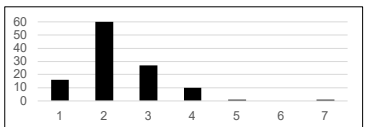
患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。

1: 高校卒業時のレベル	18
2: 成人としてのレベル	69
3	21
4: 臨床実習を開始できるレベル	6
5	1
6: 卒業時に求められるレベル	1
7: それ以上のレベル	0
計	116



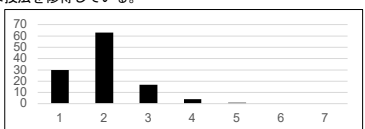
患者やその家族と十分な意思の疎通ができ、医療のみならず保健や福祉の関係者と良好な関係を築くことで、チーム医療を推進する能力を持っている。

1: 高校卒業時のレベル	16
2: 成人としてのレベル	60
3	27
4: 臨床実習を開始できるレベル	10
5	1
6: 卒業時に求められるレベル	0
7: それ以上のレベル	1
計	115



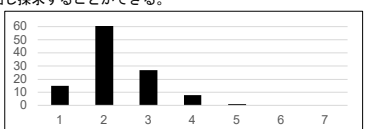
疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。

1: 高校卒業時のレベル	30
2: 成人としてのレベル	63
3	17
4: 臨床実習を開始できるレベル	4
5	1
6: 卒業時に求められるレベル	0
7: それ以上のレベル	0
計	115



常に最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学習課題を開拓し探求することができる。

1: 高校卒業時のレベル	15
2: 成人としてのレベル	64
3	27
4: 臨床実習を開始できるレベル	8
5	1
6: 卒業時に求められるレベル	0
7: それ以上のレベル	0
計	115



カリキュラム評価委員会
(R6.03.27) 資料No. 5

4. その他 意見・要望

信州大学医学部のカリキュラムをよりよくする上で、どのようにすればよいか、またはどのようにしてほしいか、意見がありましたら自由に記載してください。

英語教育を充実して欲しい。共通教育だと医学英語ではないのでやや不足している気がします。
既に満足です。
研究室での体験実習をやってほしい！院進（など）でしか研究室にいけないのはもったいないと思います。
シラバスがインターネット上で簡単に見られるようにしてほしいです。

R5_2年後期_医学部カリキュラムに関するアンケート

1. カリキュラムについて

カリキュラムを総合的にみて、満足のいくものでしたか。あなたの考えに最も近い項目をお選びください。

満足	19
おおむね満足	72
やや不満足	26
不満足	11
計	128

意見のある方は具体的に入力してください。

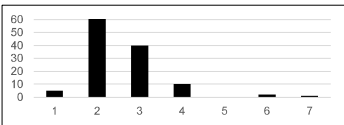
	感染症の試験日程が、花岡先生の期末と最近の期末はどう考えても過密すぎます。消化器の授業を先にやって、1週間は授業の全コマが終わった後に時間を取ってください。
満足	循環器はもう少し余裕をもってやってほしい。テストのレベルと時間が合わない。
おおむね満足	
おおむね満足	総試ではなく科目ごとの追試のほうが良い。
おおむね満足	オンラインでの講義はeALPSに動画を載せてもらいたい。
おおむね満足	忙しすぎ。
おおむね満足	テスト範囲が大きすぎる。感染症のテスト日程が詰まっていて勉強時間が足りない。
おおむね満足	
おおむね満足	映像授業であるなら何度も見れるようにするべき。早朝から対面ではないのがかなり不満。
おおむね満足	1科目でも落ちたら総合試験で全科目やり直しはキツイです。
おおむね満足	あとあと楽になるならいいけれど、2年生からだいぶ忙しいとは思った。
おおむね満足	勉強が本当に大変。
おおむね満足	個人的に、循環器の試験のスケジュール（1週間おきのミニテスト×4+期末試験）だと勉強量を小分けに出来て各週集中しやすかったので、なるべく多くの科目で同じようなスケジュールになると嬉しいなと思いました。特に感染症は分量が多かったのもそうあってほしいです。
やや不満足	試験のスケジュールが過密なところが多々ある。
やや不満足	テスト直前にテスト範囲の授業を行うのは出来る限りやめてほしい。
やや不満足	話込みのため理解を深くする余裕がない。
やや不満足	内容が難しい。
やや不満足	総合試験の存在が精神的にきつい。1コマに対する講義内容量に差がある。
やや不満足	前期、後期のスケジュールに忙しきの差が大きかった。
やや不満足	ユニット講義のテンポがいくらなんでも早すぎます。薬理学が授業時間の割に詳しいところまで聞けず、また資料に記載されていない事項も多いので、非常に、強く改善して欲しいです。
やや不満足	現状の総試システムでは科目ごとによって難易度の不均等が発生しているので、改善して欲しい。
やや不満足	テストの日程が大変だった。
やや不満足	内容が高度で分かりにくく、量が多い科目が多い。試験日程も無理があるものだった。
やや不満足	
やや不満足	感染症、免アレのテストラッシュが大変すぎる。精神的にまいってしまい、吐いたり泣いたりメンタルずたぼろになった。もう少しゆとりを持つべき。
やや不満足	循環チョームズだけ。
やや不満足	テストに追われるばかりで1つ1つの科目をきちんと学べたという実感が無い。
やや不満足	試験の間隔が狭く、十分な勉強をして試験にのぞめない。
やや不満足	テストが多く、それに対してテスト勉強にあてられる時間が少なすぎる。
やや不満足	感染症と免疫アレルギーのテストラッシュをずらしてほしい。感染症の成績で、中間テスト1つで50%、期末はテスト3つを合計して50%となっており、その比が偏っているように感じた。
不満足	
不満足	新カリキュラムになってから勉強量が報われない試験が多い。講義で強調しているところから、テストが出ないから講義＝時間のムダ（特に感染症）
不満足	試験と試験の間隔があまりにも短くて十分な試験勉強ができなかった。
不満足	理解しにくい（単語、図のみのスライド、小声）。スケジュールがきつい。感染症などの試験が連続するのは勉強が間に合わない。
不満足	循環器の小テストの日程どうにかならないんですか？
不満足	生理学、薬理学などが知識が曖昧なままカリキュラムが進んでいる思いがある。毎回の講義で同内容を繰り返すことも多々あり、時間の無駄。一方で新しい知識は薄い理解で留まってしまう。（時間を使えていないので）
不満足	流石に詰め込みすぎ。
不満足	総合試験を受験する必要があるかどうかを判明するのが遅すぎる。せめて1ヶ月の勉強時間は確保できるようにして欲しい。
不満足	テスト問題が短く、テストのための勉強しきできない。それすら間に合わない。
不満足	11月の試験が過密。

2. ディプロマポリシーについて

各DPについて、現時点でどのレベルまで達していると自身で感じていますか。

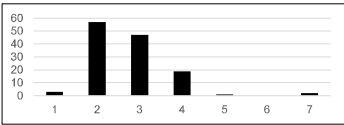
温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。

1：高校卒業時のレベル	5
2：成人としてのレベル	71
3	40
4：臨床実習を開始できるレベル	10
5	0
6：卒業時に求められるレベル	2
7：それ以上のレベル	1
計	129



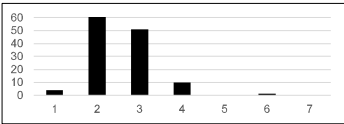
医師としての高い見識と誠実な態度を身につけ、病める人を救う強い情熱を持っている。

1：高校卒業時のレベル	3
2：成人としてのレベル	57
3	47
4：臨床実習を開始できるレベル	19
5	1
6：卒業時に求められるレベル	0
7：それ以上のレベル	2
計	129



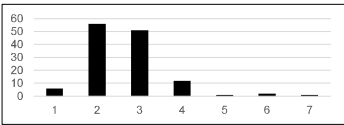
患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。

1：高校卒業時のレベル	4
2：成人としてのレベル	63
3	51
4：臨床実習を開始できるレベル	10
5	0
6：卒業時に求められるレベル	1
7：それ以上のレベル	0
計	129



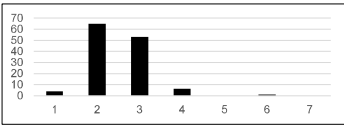
患者やその家族と十分な意思の疎通ができ、医療のみならず保健や福祉の関係者と良好な関係を築くことで、チーム医療を推進する能力を持っている。

1：高校卒業時のレベル	6
2：成人としてのレベル	56
3	51
4：臨床実習を開始できるレベル	12
5	1
6：卒業時に求められるレベル	2
7：それ以上のレベル	1
計	129



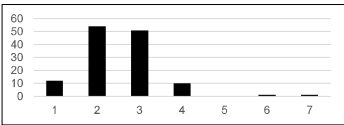
疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。

1：高校卒業時のレベル	4
2：成人としてのレベル	65
3	53
4：臨床実習を開始できるレベル	6
5	0
6：卒業時に求められるレベル	1
7：それ以上のレベル	0
計	129



常に最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学習課題を開拓し探求することができる。

1：高校卒業時のレベル	12
2：成人としてのレベル	54
3	51
4：臨床実習を開始できるレベル	10
5	0
6：卒業時に求められるレベル	1
7：それ以上のレベル	1
計	129



4. その他 意見・要望

あなたが社会に求められる医師として成長するために、カリキュラムをどのようにすればいいか、またはどのようにしてほしいか、意見がありましたら自由に記載してください。

とりあえず、循環器の先生方は教室に来て授業をして欲しい。レジュメは良いと思うので。
分量と間隔を程度に合わせて調整して欲しい。
試験間隔をあげる。
授業で教わったことを全て覚えれば高得点がとれるテストにして欲しい。授業中に習わなかったところからも大量に出題されているのでやめてほしい。
新カリキュラムになって1科目ごとに集中して勉強できるのでいいです。
グループワークで鑑別とかあったら面白そう。
もっと一年に授業を下ろして良いと思います。
スライドにないものがテストで問われていたりして難しかった。
他の科目も循環器のようにミニテストを課して欲しい。
医者になるためには頑張らなくてはと思う一方、体調やメンタルをすり減らしてまですることではないと思う。医者になる前に言者のお世話になりたくはない。
医学の理解を一步一步広められるようなカリキュラムにしてほしい。今のカリキュラムだと毎回薄く覚えて毎回忘れて結局何も身につかず。。。ということになってしまう気がしています。一年の講義の方がよほど色々身に付けられたような。(講義回数は圧倒的に少なかったのに)
9月の途中から授業が始まって良いので、循環器に時間を割いてほしかった。また、免疫・アレルギーの中間の範囲のスライド、授業も分かりにくかったし、何を勉強していいのかわからなかった。免疫・アレルギーも感染症も非常に内容が重いので、この2つの同時平行はいかがなものかと思う。ただ、免疫・アレルギーの期末範囲や、消化器は、授業、スライドともに非常に分かりやすく、楽しかったし、その分野に大きな興味を持つことが出来た。
テストの日程をもう少しばらけさせて欲しいです。
1年、2年前期での勉強の復習期間を2年後期に設ける。
座学ばかりだとだんだん辛くなってくるので、たまに実習を挟んでいただけたらえとモチベーションの維持に役立つと思います。(なので、3年次に新実習が増えること、とても嬉しいです！ありがとうございます！)体調やメンタルを崩したときに出席が不安になるので、せめて感染症報告システムへの報告→公欠のしくみが復活してくれると嬉しいなと思います。いつもありがとうございます。
2年次のうちから詰め込みすぎではないだろうか。

R5_3年前期_医学部カリキュラムに関するアンケート

1. カリキュラムについて

カリキュラムを総合的にみて、満足 of のいくものでしたか。あなたの考えに最も近い項目をお選びください。

満足	11
おおむね満足	71
やや不満足	21
不満足	5
計	108

意見のある方は具体的に入力してください。

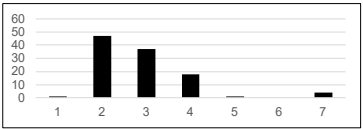
おおむね満足	2. 3週間にわたるテストラッシュよりも、新カリの週~テストの方が勉強しやすくて良い。
おおむね満足	授業をまとめて行うスタイルは良いと思う。
おおむね満足	授業中に先生が使うスライドと配布されるスライドが違うので、授業中に混乱してしまう。使えない画像以外は同じものを載せてほしい。
おおむね満足	賛否あると思いますが、1つ1つの単元に集中できるので自分はいいと思います。
おおむね満足	カリキュラムが変わって、先のカリキュラムについての知らせがない。自主研はどうなったのか、4年前期どんな感じか、全然わからない。毎日ずっと一科目より、2、3こある方が集中力が切れにくい。ラストの3科目（頭頸部、視覚器、皮膚）のうちに、午前、午後違う科目だと嬉しい。
おおむね満足	1限の開始時間をもう少し遅らせたい。テストで点さえ取れば、授業の出席確認は必要ないのではないと思う。
おおむね満足	同じ授業が重複しているのではなくてよい。
おおむね満足	神経と運動器を同時期に行うのをやめてほしい。
おおむね満足	カリキュラムに関しては問題ない、学務と各教室間で意思の統一が出来ていない、学生が混乱している。東医体とテストを被らせないで欲しい。
おおむね満足	テストの間隔はある程度空けてくれた点がとても助かった。ただ1限がきつい。毎日8:40から授業で16:40まで暗い5階の部屋に閉じ込められて精神的に参った。リモートで授業を受けたい。
おおむね満足	自習の授業時間を出席照会に含めないで欲しい。（出席状況の確認がしにくいため）
おおむね満足	レジュメの質が先生ごとに大きな差がある。全体的な質を高めると同時に最低限の質の保証をして欲しい。臨床研修などのキャリアを考えるのに役立つ学習や情報が少なすぎる。新カリについてはそこまで大きな不満なし。2年の薬理は本当にどうにかしたい方がいい。3年の糖内代、腎の後にやるべき内容。
おおむね満足	試験が月曜ではなく、水曜とかだと学生としては嬉しい（土日が潰れてしまうため）
おおむね満足	3週に2回のペースでテストがあるのはしんどい。
おおむね満足	中間テストがなく、毎日小テストがあるのは困る。
おおむね満足	昨年度までのカリキュラムや制度と変わった点を把握していない教室があったので、情報の連携をして欲しいと思った。
おおむね満足	追試の有無やレポートの評価など、事前に提示しておいてほしいと思った。
おおむね満足	2年生のカリキュラムに比べれば良かった。
おおむね満足	レポートの課題があるならば、明確に何を要求しているのかを示すか、採点結果を提示して欲しい。あと学務と各科の情報共有を改善して欲しい。
おおむね満足	難しかった。
やや不満足	総合試験にて合格科目も受験する必要はないと思う。
やや不満足	後期に比べて前期のテストが多すぎやしないか。
やや不満足	試験日程に関しては、いいと思ったが、一教科不合格だと、総合試験になってしまうのは不満です。追試などにして欲しいです。
やや不満足	テストが1、2週間に1回はあり、ずっと忙しい状態が続いている感じがきつい。
やや不満足	先輩方のカリキュラムを急に大幅変更はやめてほしい。
やや不満足	1教科でも落とすと総試、追試は行わない、出席率は基本100%、これらの急激な方針の変更は生徒に対して厳しすぎる、責任を押し付けすぎているのではないかと。これらのことや、またこの解答欄の狭さ的にも、生徒に寄り添う気持ちが少ないように感じるを得ない。
やや不満足	常にテストに追われ続けて精神的に休まる時間がなかった。テスト週間のようにまとめてテストをする週を作っても良いと思う。例年、追試を実施している授業の追試意をなくし、総試をやらせるのは非常だと思った。
やや不満足	中間試験までの時間が少なく、学習内容の定着が難しい。
やや不満足	テストがほぼ毎日あるので、週末に自由な時間が取りにくかった。
やや不満足	毎週テストがあるのは結構しんどかった。1ヶ月に1週間（月・水・金）とか少しまとめてもいい気がします。
やや不満足	きついです。
やや不満足	流石に詰め込みすぎでは？と感じる。一回でも落とすと総試（夏休みが消える）ということ考えるとかなりキツかったと思う。
不満足	体調不良などで明らかな遅れを生じる。また、その人達への配慮に欠けている気がする。
不満足	例年なら8月第1週はテストがなかったのに、今年からテストがあるせいで東医体への参加がしづらい。テストは7月末までに終わるようにして欲しい（自習を減らすなど）
不満足	前期や後期の科目を一科目でも落とした場合、その期間の全科目が範囲の総合試験を受けて回収しなければならないというのは、あまりに非効率的であり、精神的にも負担が大きいため、やめるべきである。総合試験は、追試のさらに補充措置の立ち位置にあるべきと考える。
不満足	前期はずっとテスト勉強に追われていたので、もう少しゆとりが欲しい。授業もテストも7月中にすべて終わらせてほしい。

2. ディプロマポリシーについて

各DPIについて、現時点でどのレベルまで達していると自身で感じていますか。

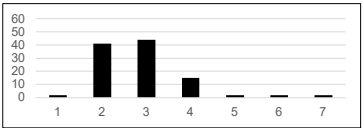
温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。

1: 高校卒業時のレベル	1
2: 成人としてのレベル	47
3	37
4: 臨床実習を開始できるレベル	18
5	1
6: 卒業時に求められるレベル	0
7: それ以上のレベル	4
計	108



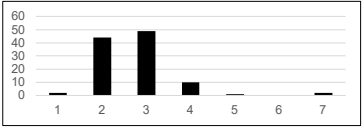
医師としての高い見識と誠実な態度を身につけ、病める人を救う強い情熱を持っている。

1: 高校卒業時のレベル	2
2: 成人としてのレベル	41
3	44
4: 臨床実習を開始できるレベル	15
5	2
6: 卒業時に求められるレベル	2
7: それ以上のレベル	2
計	108



患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。

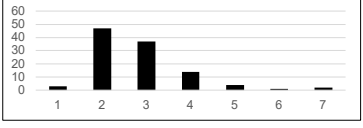
1: 高校卒業時のレベル	2
2: 成人としてのレベル	44
3	49
4: 臨床実習を開始できるレベル	10
5	1
6: 卒業時に求められるレベル	0
7: それ以上のレベル	2
計	108



患者やその家族と十分な意思の疎通ができ、医療のみならず保健や福祉の関係者と良好な関係を築くことで、

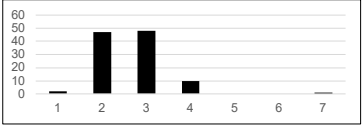
チーム医療を推進する能力を持っている。

1: 高校卒業時のレベル	3
2: 成人としてのレベル	47
3	37
4: 臨床実習を開始できるレベル	14
5	4
6: 卒業時に求められるレベル	1
7: それ以上のレベル	2
計	108



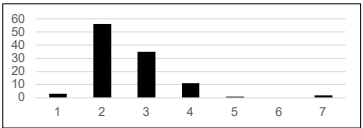
疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。

1: 高校卒業時のレベル	2
2: 成人としてのレベル	47
3	48
4: 臨床実習を開始できるレベル	10
5	0
6: 卒業時に求められるレベル	0
7: それ以上のレベル	1
計	108



常に最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学習課題を開拓し探求することができる。

1: 高校卒業時のレベル	3
2: 成人としてのレベル	56
3	35
4: 臨床実習を開始できるレベル	11
5	1
6: 卒業時に求められるレベル	0
7: それ以上のレベル	2
計	108



4. その他 意見・要望

信州大学医学部のカリキュラムをよりよくする上で、どのようにすればよいか、またはどのようにしてほしいか、意見がありましたら自由に記載してください。

1つ1つの科目に関して特に不満はないが、全体のテスト数の調節をお願いしたい。東医体には被らないようにして頂きたい。
東医体のことを考えて日程を組んで欲しい。遅くても7月末までにテストを全て終わらせてほしい。
薬理学のやるタイミング。
折角授業の録画をとっているのに、復習のために見返せるようにして欲しい。また、多学年の授業も見れるようにして欲しい。
1限の開始時刻が通勤ラッシュなどと重なり、道路の渋滞が激しいです。車通学がしんどくなってきた。また、1限は人が少ないと感じるので、1限から授業のある日を少なくしてほしいです。
スライドの出来を改善してほしい。授業スライドにはあるのに配布スライドには入っていない内容があったり、A4で6分割されていて文字がかなり小さくなっているもの、アニメーションを考慮せずPDF化されたもの、要点が整理されておらず、ただ文字を列挙したもの、枚数が極端に少なかったり多すぎたりするもの、PDF化せず配布するものなどなど勉強する気にならないものはやめてほしい。授業中にスライドの写真を撮らざるを得ない状況を作らないで欲しい。
テストで過去問をそのまま出すのはやめてほしい。ただ問題作成をサポートしているようにしか思えず、授業で扱っていない内容を出したり、細かすぎる内容を出したりしている。授業を聞き、スライドで勉強している人が報われず、過去問暗記をした人が得をするような状況になっている。過去問と同じような問題を出すなら、選択肢を変えたり、問い方を変えるなどの工夫をして欲しい。
背景が黒のスライドもメモをしにくいためやめてほしい。スライドをただ読み上げる授業ではなく、内容をきちんと解釈して欲しい。なぜそうなるのかという部分が一番知りたい。そういうところをきちんと説明するべき。
授業中、マイクの音が切れたり、ポインターが画面に反映されていなかったり、授業環境が悪い。
授業時間やカリキュラム、他の人の授業内容を知らない先生が多すぎる。それくらいは知ったうえで授業をして欲しい。
テスト日程を個人の都合で変更しないで欲しい。授業がない所に（頭頸部）これが部活の都合を学生が提案した時も同じ。（憩意ではなかった。）他人が反対しなければ憩意として学務に報告した。
運動器の試験に関してですが、eALPS上にも本誌直前でも追試を行うという趣旨の連絡があったのにも関わらず、試験結果発表後に「行わない」と変更したのは良くないようではないかと思う。試験の日程上、教科によって勉強量を考えなければならないと思うので、追試の有無は非常に重要なことだと思う。学校としての方針統一をはかってほしいと感じた。
追試をやらない理由を知りたいです。
後期のスタートがもう少し遅いとありがたかったです。テストがある日の授業は、せめて午後からが良いです。
一つの期間にユニット2、3コ。レポートの指示をはっきり。
神経の授業である先生が、ホルモンバランスの関係で、若い人ほど早起きするのが大変な傾向がある。我々のような年齢からしたら早起きするのはそこまで苦ではなく、早起きした方が時間を効率的に使えるかもしれないが、学生にとってこの1限の開始時刻は早いのではないか、というような旨を話されておりました。なので、個人的にももう少し1限の開始時刻を遅らせて頂けると幸いです。
テストの日に授業を入れない。全体的な授業を減らす（内容に被りが生じている）。東医体に参加している生徒に優しいカリキュラム作りを!!
同じ事柄を授業で繰り返しやるのが面倒なので、もう少し纏めて授業数少なくしてほしい。あまり授業を教室に受けに行くメリットがないので（自転車置き場から遠い、5階に上るのが大変、教室の空気がきたない）オンデマンドでの配信でいいと思う。逆にメリットがあるなら、学生に必ず教えてほしい。
学務は各教室との連携をしっかりしてほしい。試験時間が数時間ずれるだけでも、他の大事な要件に影響する人がいる。
一科目でも落としたら総合試験、しかも夏休み明けにあるっていうのはきつい気がする。一科目落としたら、以降の科目のやる気なくなるし、一科目落とした人と全科目落とした人が同じ量の勉強をしなきゃいけないのが意味わからん。
1限の開始を遅らせる。朝早すぎて起きるのが辛い。最後の授業の終了時間を遅らせても、その方が学校に行くことに気分の落ち込むことが減るのではないか。もう少し教室に日光の光が欲しい。原則全出席ではなく、2/3ルールか出席を任意にする。毎日一限（8:30）から学校に通うようになって、不眠、耳鳴り、気分の落ち込みがひどくなった。これはあくまで大学の授業によるものではなく、大学の時間割によるものだと自覚している。病気でなくともリモート出席を導入することで、柔軟に授業を受けられて心的ストレスは減ると思う。大学に来なくなり留年してしまう人や中退してしまう人がいるが、出席を任意にしようが義務にしようが進級している人は進級しているし、進級していない人は進級していないと思う。つまり、出席を全出席にしくなくても成績は変わらないと思う。
総合試験は休みの前半がいい。
1〜6限を一週間ずっとは辛い。→ 1限をなくす。全休の日を設ける。
総合試験で落とした科目を回収するようなシステムはやめてほしい。一度も試験を落としたことはないし、これからも落とすつもりはないが、科目ごとに追試を行う方がやる気も失わないし、十分な学習が出来ると思う。
テストの日程、授業日等、もう少しバランスよくしてほしいです。例えば、前期は毎週テストがあったり（特に7、8月にテスト多い）、後期11月とかは授業数がかなり少ないなど。
月曜日がテストだと、土日に遊べなかったり、部活動の活動があったりするので、毎週毎週月曜日テストは嫌でした。
細めなアンケートの実施、講義に対する学年の意見の収集。金銭的に困っている学生へ個別対応の実施、充実、公衆衛生学的な観点から、医学部施設、カリキュラムの評価、見直し（『「医学生だから」「自分たちも経験したことだから」しょうがない』という考えはやめてほしい）、大学・医学部・医学教育研修センターと学生との相互コミュニケーションの機会を増やす。必要なら学生会、クラブ運を活用してください。

テストも含めて全部7月中に終わったら有難い。
まとめて試験が行われずに、授業ごとに行われているのは、ひとつひとつの授業の理解度をはかる上で役立つものの、授業のはじまりからテストまでの期間が短く、特に1週間程で行われたものは、しっかりと復習する時間がとれずに苦勞しました。
テストと同日に通常の授業をするのをやめてほしい。テストと同日の授業なんて誰が聞ける余裕がありますか？全授業原則出席とか言っておきながら、出席させるだけで理解させる気なんてないですね。
ずっと座学はモチベーションが続かないので、数か月に1回、病院見学があると嬉しい。（希望制）
学生どもが意見を言える場を作る。
内科などの主要な科を2〜3週間で詰め込み、試験を行うのはあまり知識が定着していないように感じます。
試験について、医局に話したいことがある時に、学務がアポイントをつないでくれるとありがたいなと思いました。直接メールや医局訪問を個人的に生徒のみで行ってしまうと、教授の方々にも迷惑が掛かってしまうので、直接医局に行けと言うだけではなく、学務の方々がお話をつないでくれると良いかなと思います。また、総合試験について、学務の方々と医局の方々と認識が異なっていたため、追試か総合試験化がはっきりしなかった点が気になりました。
3年後期の基礎医学実験とは何かを早めに説明して頂きたいです。
試験のせいで東医体に出られないのは仕方がないのでしょうか。各科目の授業が始まってから、試験までの期間が短すぎて、試験にうかるための勉強・短期記憶になっていて、CBTや国試の前には苦勞しそうだなと思いました。
カリキュラム以前に、医学教育センターと学務、授業間でコミュニケーションをもっとしっかりとってほしい。運動器追試問題、頭頸部期末日程問題等があり、不安になる。夏休みが消えるのはさすがにかわいそう。前期14回テスト+3回のレポートはさすがにキツかった。乳腺・歯科等は後期にもっていてもいいかもしれない。
新カリキュラムの4年生以降の予定を早く知りたいなと思います。
①追試について
追試を行わなくなった理由が日程的な余裕がないからというのをどこかで見た気がしますが、その理由だけでは不十分だと思います。今までやっていた追試がなくなって、総合試験一発になるのはきついです。
②休みについて
3年前期を8月上旬までやるのをやめてほしいです。後期に1週間授業がない週があるので、そこにつめて欲しいです。7月の3科目のうち1科目を後期に回せばいいと思います。共通教育科目がある2年生までがそっちに合わせて8月上旬までやるのは分かりますが、実習性も7月中に終わるのに3年生が8月上旬までやるのはきついです。
③カリキュラムの変更について
基礎と臨床を融合する、多くの科目で中間試験を作る、授業とテストの日程を変えるというのが全て21Mから新しく始まって、かなりきつかったです。（もう慣れたので大丈夫ですが。）
カリキュラムのことについて多くの先生方が気にかけてくださって、とても優しくてありがたいです。各科目の試験は授業に沿ったものが多く、とても為になると 생각합니다。しかし、根本の制度が少しくついです。特に休みについては今まで色んな人が意見を言っても改善しなくて聞いてるので、そんなに変わらないのかなとは思っていますが、ぜひとも変えて欲しいです。
レポート、試験、総試の取り扱いについて。学生にもう少し明確に伝えてほしい。
授業、テストを7月中にできれば全て終わらせてほしい。共通教育は仕方ないとしても、3年生になっても東医体でテストが理由で参加できないことに不満があるため。学生の活動の機会を奪っていると思う。
誰がカリキュラムを考えているのかは知らないけれど、医学科の先生に考えてほしい。（すでにそうなら申し訳ない）
CBTに向けて、効率的で、有意義なカリキュラムは経験者が一番わかっていると思う。
21Mのカリキュラムは、少し難しくすぎて総試にした意味がよくわからない。落としてない科目で留年する可能性のある仕組みにしたのが不思議。

R5_3年後期_医学部カリキュラムに関するアンケート

1. カリキュラムについて

カリキュラムを総合的にみて、満足のいくものでしたか。あなたの考えに最も近い項目をお選びください。

満足	21
おおむね満足	70
やや不満足	15
不満足	2
計	108

意見のある方は具体的に入力してください。

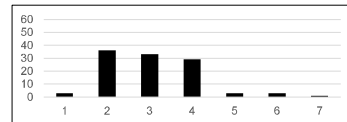
満足	3年後期に比べて3年前期が忙しい。4年のスケジュールも埋まっている。3年前期か4年前期のテストをいくつか3年後期に持っていった方がいい気がする。
満足	埋不尽なカリキュラムの詰め込みではなく、テスト前に自習コマが多くあったことでしっかりテスト勉強ができた。呼吸器が少し難しかった。
満足	楽だった。
満足	後半がヒマ。
おおむね満足	腫瘍の総論を最後にもってきているのはナンセンス。3年後期が暇すぎる。4年前期の内容を早めに終わらせてCBTの勉強に余裕を持たせてほしい。
おおむね満足	カリキュラムではないですが、プロジェクトの使い方が不明。そもそも授業開始時刻を把握しておらず、授業が遅れて始まることが多いので、そこを改善して欲しいです。
おおむね満足	3年後期は比較的、授業に余裕があり、学期によって差が大きいので、アルバイトなどに影響が出てしまうので、ならしてほしいです。
おおむね満足	短期間で授業をし、直後にある試験のために覚え、すぐ忘れることの繰り返しだったため、CBTや国試に向けた勉強としてはいまいち身になっていないと感じる。授業が詰まりすぎて辛い時期となさすぎて暇をしている時期があるのでもう少しならしてほしい。
おおむね満足	年始の授業が早すぎる。
おおむね満足	1日の授業数が多い日のスライドを早く上げてくれると、準備して授業にのぞめるので、余裕をもって受けられるスライドを使った授業ではeALPSにスライドを上げてほしい。
おおむね満足	生理学をまとめて勉強していないのが不安。
おおむね満足	中間テストはなくてもいいと思う。
おおむね満足	夏と秋冬の授業数のバランスが良くないかなと思った。夏（特に夏休み前）は忙しかったが、秋冬はそうでもなかった。
おおむね満足	科によって道試の有無の差があるのは不公平に感じた。
おおむね満足	1/4,5の授業を次の週につめることは出来なかったのか。
おおむね満足	授業内容が他の講義と似ているという講義があったので、精査すればもう少し講義数を減らせるのではないかなと思った。
おおむね満足	間の休みが多い。それなら冬休み、春休みを長くしてほしい。
おおむね満足	2年後期の科目が重たいなと感じました。3年前期の科目と何かトレードしてもいいのかなと思います。
おおむね満足	前期と後期で難易度の均等性のあるように科目を振り分けてほしい。
おおむね満足	後期に1週間×2とか、不定期の全体が多くあった一方、年始の始まりが1/4と早かった。休みを年始に持ってきたり、学期末にまとめて春休みの入りを早くするなどの調整をして欲しい。
やや不満足	4年前期にCBT・OSCEに向けて勉強できるよう、余裕があるとの話だったが、授業を前倒した不利益と、実際のスケジュールによる利益が釣り合っていない。3年後期に勉強できるようにしたつもりなら、もっと早くに伝えるべき。見通しを立てられるような情報が全くない。
やや不満足	生理学をきちんとやってほしい。薬理も入ってこない。2年の消化器・循環器の時に生理学が理解できておらず、この時にやっていたことが、腎臓のあたりでようやく理解が追いついた印象がある。(2)のDPがまったく高まらない産学しかやっていないので、人として成長しない。
やや不満足	基礎医学など、授業が実習が具体的なことがわからない科目に関しては早めに情報を出してほしい。
やや不満足	3年前期、4年前期が忙しい割に3年後期が暇すぎる。もう少しバランスを考えてほしい。
やや不満足	前期～呼吸器までとその後で忙しさが違いすぎる。
やや不満足	2年後期と3年前期の負担が大きい割に3年後期の科目数が少ないのがバランス悪い。
やや不満足	前期～10月にかけては内容が重く、テストも多くてとてもきつかったが、それ以降はかなり余裕があり、1年の中で負担が偏っているように感じた。
やや不満足	3,4年生が忙しすぎる。
やや不満足	成績（テストの結果）が出るのが遅い。
不満足	新カリキュラムにしたのであれば、成績不良者への道試・総試の対応や、欠考者への対応をより明確にし、一貫性のあるものにするべき。3年後期があまりにも暇すぎるため、3年前期の一部マイナー科目や4年の授業を入れるべき。
不満足	3年後期が暇すぎるので、4年前期が忙しい。カリキュラムを緩和して欲しい。
不満足	前期はずっとテスト勉強に追われていたので、もう少しゆとりが欲しい。授業もテストも7月中にすべて終わらせてほしい。

2. ディプロマポリシーについて

各DPについて、現時点でどのレベルまで達していると自身で感じていますか。

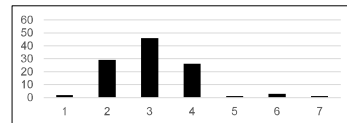
温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。

1: 高校卒業時のレベル	3
2: 成人としてのレベル	36
3	33
4: 臨床実習を開始できるレベル	29
5	3
6: 卒業時に求められるレベル	3
7: それ以上のレベル	1
計	108



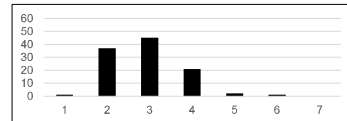
医師としての高い見識と誠実な態度を身につけ、病める人を救う強い情熱を持っている。

1: 高校卒業時のレベル	2
2: 成人としてのレベル	29
3	46
4: 臨床実習を開始できるレベル	26
5	1
6: 卒業時に求められるレベル	3
7: それ以上のレベル	1
計	108



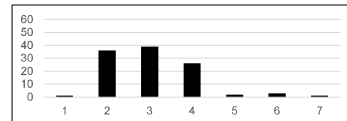
患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。

1: 高校卒業時のレベル	1
2: 成人としてのレベル	37
3	45
4: 臨床実習を開始できるレベル	21
5	2
6: 卒業時に求められるレベル	1
7: それ以上のレベル	0
計	107



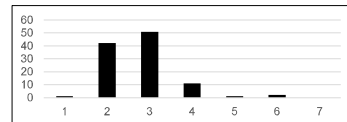
患者やその家族と十分な意思の疎通ができ、医療のみならず保健や福祉の関係者と良好な関係を築くことで、チーム医療を推進する能力を持っている。

1: 高校卒業時のレベル	1
2: 成人としてのレベル	36
3	39
4: 臨床実習を開始できるレベル	26
5	2
6: 卒業時に求められるレベル	3
7: それ以上のレベル	1
計	108



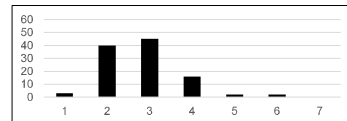
疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。

1: 高校卒業時のレベル	1
2: 成人としてのレベル	42
3	51
4: 臨床実習を開始できるレベル	11
5	1
6: 卒業時に求められるレベル	2
7: それ以上のレベル	0
計	108



常に最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学習課題を開拓し探求することができる。

1: 高校卒業時のレベル	3
2: 成人としてのレベル	40
3	45
4: 臨床実習を開始できるレベル	16
5	2
6: 卒業時に求められるレベル	2
7: それ以上のレベル	0
計	108



4. その他 意見・要望

あなたが社会に求められる医師として成長するために、カリキュラムをどのようにすればよいか、またはどのようにしてほしいか、意見がありましたら自由に記載してください。

基礎医学実験の予定をもう少し早めに出してほしい。呼吸器以外テストの結果が出ていないと思うので、他科目も早く出してほしいです。
CBTの勉強時間をきちんと確保して欲しい。そうすることで今までの内容がきちんと消化できると思う。
科目によって試験の難易度のばらつきが大きいのが気になった。難しいと感じた科目はそれだけ臨床でも多くの知識が求められるものだと思うので易化してほしいというわけではないが、授業内容の量に応じた自習時間の設定や、もう一回解説を聞けるように授業映像の公開など可能であれば検討して欲しい。
腫瘍の講義のように期末試験以外の成績評価の機会があった方が良く勉強すると思った。（小テストとか）
全体的に詰まっている印象があるので、余裕が欲しい。今のカリキュラムは自分にとって、ひたすらやってくるテストを乗り切るためになっていて、あまり身についていない感じがする。
総試を受けない人も、力試しとして解けるよう総試の問題・回答を公開して欲しい。色々な科目でテストの万台が回収されてしまうのが良くないと思う。追試などの措置の後、記名した希望者には返却して欲しい。
4年前期にゆとりをもたせてほしい。
人として成長できる。学力を高めることが出来る。人生経験をつめる、そんなカリキュラムにして欲しい。昭和医大では講義は全てオンデマンド化し、授業では講義を一切行っていないが、それでも今年のCBTで全員合格、1～3年次の留年者も信大と同じくらいだったと聞いた。信大でそこまでやるかはともかく、先行事例の研究を検討ぐらいは行ってほしい。そして、その内容を教授間で共有して議論してみしてほしい。
治療の映像や、実際の腫瘍の写真を見ることが出来た授業は印象的で、記憶にも残りやすかったです。そういった授業が増えると少し変わると思います。
知識だけでなく、コミュニケーションや団体行動も大切なので、部活動との両立がしやすいカリキュラムにして欲しいです。東医体前に試験を詰めすぎないなど。
成績開示を早めに行ってほしい。成長と発達などの教科は数か月前に終了したものであり、開示が遅れている理由がわからない。総合試験がテストの点数によるものであるのなら、学修のためにも成績開示を早く行った方が良いと思う。
カリキュラムとはまた異なるが、いまだに合否判定が出ていない授業があるため早急に出してほしい。
小テストのある授業は半強制的に授業の復習をしなければならないが、試験勉強の取り組みやすさが格段に上がり、理解も深まった。少ない回数でも小テストがあると良いと思う。
総試について不満を抱えている学生が多くいるように感じる。例えばある試験では本試で落としても追試があるが、ある試験では病気などの欠席でも追試はなく総試を受けなければならなかった、という場合があると聞いた。この点は不公平感や不信感を持つ要因となりうるのではないか。
さすがに出席システムをもう少し厳しくすべき。現状のQRコードで不正に出席登録している人がかなりの数いて、1、2回しか授業に来ていない人も多い。私は再受験で入学し、前の大学は私立文系でかなりゆるい学部だったが、出席に関しては当時よりもサボっている人が多い印象を受ける。「社会に求められる」医師ならば、さすがにこのガバガバ出席はひどいと感じる。呼吸器は日程にもう少しゆとりを持たせるべき。特に中間。花岡先生は試験を簡単にするつもりが無いと思うので、カリキュラムを変えるともっと勉強でき、知識もつくであろう。
授業内容をより国試を意識したものにして欲しい。
毎年東医体のことで学生から声が上がると思うが、3年後期がかなり暇だったので、7月後半の授業を移すべき。眼科、耳鼻科、皮膚科のどれか1つを後期にうつすだけで改善されると思う。4年前期も授業が詰まっていたので、3年後期にうつしてもいいと思う。毎年クラス運営が出席するZOOM会議を行っていると思うが、あまり意見が反映されていない気がする。呼吸器、精神科、薬理学など、国試の内容を逸脱した授業が多すぎる。外科医師による実習生への不適切な態度があったとうわさが出回っていてとても不安。もし本当ならのみ消さずにしっかり対処して欲しい。
バイトに使う時間がないので、学生の生活に寄り添ったカリキュラムにして欲しいです。バイトをしていないと生きていけない医学生もいるということを忘れないで欲しいです。
就職についての知識を、低学年から教えたほうが良い。
21Mは2～3年のカリキュラムが割と大変だったので（例年に比べて）4年は少しでも楽になれば嬉しいです。
できれば授業中のビデオを見ることが出来るようにしてほしい。メモをとるのも限界があるので、後から分からなかったところを聞き返すことが出来る。
実際の手術の映像や患者さんの治療前の様子、また治療後にどのように変化していったのかがスライドに載せられていると、医師になる自覚が芽生え、学習意欲も上がる。
医学概論の内容がカリキュラムが主體的とみせかけた。積極的受動態であるように感じた。医師の過労死問題が話題になっているように、医師の自己犠牲精神を大学のカリキュラムから改善すべきだと思う。例えば週のコマ数の変更や理不尽なテストの内容、頻度を改善する等の詰込み学習ではなく、もう少し学生の選択の自由を増やすことで、より主體的に医学も学び、医学以外のこともしっかりと学べるのではないか。医学だけを学んだ医師よりも様々なことを主體的に体験した医師の方が患者に寄り添えるのではないか。
生理学はやはり、まとまったやつもするべきではないでしょうか。
早めに臨床科目を学ぶよりも、基礎をしっかりとしてから学びたかった。

テスト直後（同日）に授業をするのをやめてほしい。皆徹夜で疲れてまともに聞けていないし、そもそもほとんど出席していない。ただでさえ過密スケジュールなのに。
循環器は3年に入ってからやった方が理解が深まると思う。
カリキュラムの変更に関する十分な説明（1～6年の見通し）（前年で違うところ等）ガイダンスでより細かく説明して欲しい。
3年でもう少し授業を詰めれば、4年のCBTの勉強を主體的にできる。わざわざ大学に行って、学ぶようなことはなかったで、全てオンラインにすればいいのではないかと強く思う。基礎医学実験は内容薄そうなので、授業にあててCBTの勉強にあててほしかった。
各教科、ここは押さえておきたいところを、まず覚えさせようとするのは悪いことではないと思う。
学年が上がってからの病院実習は医師としての立場に近い。患者側の目線を一度きちんとやしなうという目的での実習を低学年のうちに入れると良いと思う。きちんと目を見て、話を聞けて、話すことが苦じゃない、お医者さんになって、ということ、を、親戚はじめ、バイト先のお客さんなど、様々な人に言われる。そういう態度の必要性を感じたり、トレーニングしたりするカリキュラムが社会に求められる医師像に近づくために必要だと思う。

教育の内部質保証システムの点検・検討の記録

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

目的： それぞれの教育プログラムにおいて教育の質保証のためのプロセス管理をしていることを部局で確認する

本学の質保証の仕組み

①授業の達成目標への到達度で成績評価 ⇒ 科目 GPA が教育成果の指標に

②科目 GPA の正当性を授業アンケートで担保する

よって、点検の観点は

③授業の達成目標の内容と設定レベルや授業間のつながりは適切か

④科目 GPA が伝えるものと授業アンケートの結果が同じ方向を向いているか

※作業していただく「点検・検討の記録」は、外部に対して提出する義務はなく、外部評価の直接の対象となるものでもありませんが、毎年の記録は、教育の質保証に不断に取り組んでいることを証明するエビデンスになります（＝プロセス管理）。ただし、教育の質保証に取り組んでいても、それが学部や学科内部で閉じられてしまうとチェック機能が働かず、教育のアカウンタビリティ（説明責任）を果たせません。大学として教育の質保証に取り組んでいることの一環として各部局での作業を進めていくことが求められるため、ひとつの方法として、高等教育研究センターとのやり取りを通して、各学部・学科の取り組みが確かに妥当であるということを確認しながら進めるという手続きをとります。教育の質保証を担保する仕組みについては、「信州大学の教育の質保証について」をご参照ください。

【教育の質と質保証システムを担保するしくみの考え方】

学生が確かに学んだということを、第三者にどのように証明することができるのか、これが質保証システムの要になります。それぞれの評価項目につき、何らかの指標を使う場合、その指標が「妥当であり、信用しても良いとみなせる」ということを示す必要があります。それがそれだけで信用されるものであれば問題ありませんが、多くはそうではありません。その場合は、「他の指標でその妥当性を担保する」という方法をとります。

成績を妥当な指標として信ぴょう性のあるものにするには、成績を出す手続きが正当でなければならず、その前提となる授業の量と質、学生の学びの量と質が妥当であるということが示される必要があります。そのため、教育の質保証に向けて、教員レベルで取り組み、組織として部局レベルでも取り組むことになります。（中略）

学生が努力して学べば、それが確実に成果として成績に反映されます。提出した課題がフィードバックされれば、自身の力として自信を得ることができ、自己効力感につながります。その学びへの手ごたえは、成績と、授業アンケートの「授業外学習時間」「到達度」「達成感」の数値によって示されます。教員が良い授業を設計し、実施したことも、学生の成績と授業アンケートの「授業外学習時間」「到達度」「達成感」の数値によって証明されることになります。

「信州大学の教育の質保証について」より抜粋
令和元年 11 月 20 日 第 197 回教育研究評議会承認

令和5年度（前期）学生による授業評価の集計結果について

1年(121名)

科目名	回答数	回答率	科目GPA
01 ヒト生物学 I	110	91%	3.21
02 生化学	86	71%	2.54
03 新入生ゼミナール	116	96%	3.58

2年(137名)

科目名	回答数	回答率	科目GPA
04 解剖学	86	63%	2.45
05 薬理学総論	22	16%	2.19

3年(120名)

科目名	回答数	回答率	科目GPA
06 腎・泌尿器	64	53%	2.59
07 糖尿病・内分泌・代謝	69	58%	2.89
08 乳腺・産科・婦人科	1	1%	3.00
09 神経	36	30%	2.77
10 運動器(筋骨格)	2	2%	2.80
11 視覚器	8	7%	3.62
12 頭頸部	2	2%	3.28
13 皮膚	4	3%	3.43
14 心理学・行動科学	22	18%	3.10

4年(115名)

科目名	回答数	回答率	科目GPA
15 臨床医学TBL	51	44%	2.74
16 ユニット講義(呼吸器)	27	23%	2.55
17 ユニット講義(消化器)	43	37%	3.05
18 ユニット講義(感染症)	35	30%	2.55
19 ユニット講義(免疫・アレルギー)	50	43%	3.10
20 ユニット講義(成長発達)	9	8%	2.70
21 ユニット講義(神経)	53	46%	2.83
22 ユニット講義(運動器)	13	11%	2.71
23 ユニット講義(臨床薬理学)	5	4%	3.00
24 系統講義(皮膚科)	16	14%	3.27
25 系統講義(麻酔科)	18	16%	2.91
26 系統講義(病態解析診断学)	3	3%	2.50
27 系統講義(救急集中治療医学)	24	21%	3.00
28 系統講義(臨床遺伝学)	50	43%	3.75
29 系統講義(医療情報)	31	27%	3.89

6年(120名)

科目名	回答数	回答率	科目GPA
30 ユニット講義(社会医学・医療管理)	5	4%	3.35

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	生化学				
受講者数	記載不要	121 名	授業アンケート回答率	71%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	1 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			≪基礎的・専門的な知識と技能≫ ≪科学的探求力≫		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。		疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技能を修得している。 常に最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学習課題を開拓し探求することができる。			
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.54	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	27.9 % 40.7 % 23.3 % 5.8 % 2.3 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		GPA は、学生の得点の度数分布のピークが60ー70点台にあることを反映している。しかしそれに比して学生が到達感を感じているのは、想定したレベルと理解が適切なためであると考え。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.54	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	33.7 % 45.5 % 17.4 % 2.3 % 1.2 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		「達成感」の回答は肯定的であり、受講生は、自分たちが授業において達成感を得たと感じている。この結果は、「到達度」の回答結果と整合性がある。 受講生の学びが一定以上成功していたと判定している。 医学教育における基礎医学の重要性に鑑み、医学部医学科のコンピテンシー			

をどう分析・解釈しているか		「医学知識と問題対応能力」を身に付けるための授業として、十分機能していると考える。	
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。			
科目 GPA	2.54	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 3.5 % 2 時間以上 3 時間未満 5.8 % 1 時間以上 2 時間未満 27.9 % 30 分以上 1 時間未満 39.5 % 30 分未満 23.3 %
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		学生は授業中を含めて、かなり効率的な勉強をしたとも理解できる。もう少し自習が増えれば、GPA はもっと上がることが期待され、学生には伸びしろがあると考えられる。	
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。			
想定したレベルが適切であったかどうか		想定したレベルは適切である	
その理由		想定したレベルは、生化学の初学者には少し高かったが、医学教育は基礎→臨床→臨床研修→専門医と螺旋的にレベルを高めながら再学習を繰り返すプロセスであり、最初に高い到達点を提示することは中長期的な意義があると考える	
期待された教育成果が得られたかどうか		教育成果は得られたのではないと思う	
そう言える理由		GPA は GPA として、毎回の小テストでは、大半の学生は講義を理解するための努力を行い一定の成果を得たと考えている。また試験では、大半の学生は膨大な数の構成物や経路の名前を始め及第に値する生化学の基礎知識を獲得したと考えられる。	

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	解剖学				
受講者数	記載不要	137 名	授業アンケート回答率	63%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	2 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。		疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。 常に最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学修課題を開拓し探求することができる。			
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.45	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	29.1 % 65.1 % 5.8 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		「到達度」の回答は非常に肯定的であり、学生は自分たちが授業の達成目標に到達していると判断している。GPA は 2.45 で、少し想定したレベルが高かったものの、学生が自覚的には解剖学を理解できたと感じていると考える。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.45	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	57 % 41.9 % 1.2 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		「達成感」の回答は非常に肯定的であり、学生は自分たちが授業において達成感を得たと感じている。この結果は「到達度」の回答結果と整合性がある。GPA は 2.45 で、少し想定したレベルが高かったものの、学生が自覚的には十分な学びの手応えを感じていると判断している。			

をどう分析・解釈しているか		医学教育における基礎医学の重要性に鑑み、医学部医学科のコンピテンシー「医学知識と問題対応能力」を身に付けるための授業として、十分機能していると考ええる。	
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。			
科目 GPA	2.45	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 34.9 % 2 時間以上 3 時間未満 22.1 % 1 時間以上 2 時間未満 27.9 % 30 分以上 1 時間未満 10.5 % 30 分未満 4.7 %
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		学生がこの授業のために学習した時間は一週間でおよそ 2～3 時間程度であり、「到達度」「達成感」に見合う長さとなっている。やや自習時間の少ない学生もいるため、全体的にもう少し自習が増えれば、GPA はもっと上がることが期待され、学生には十分な伸びしろがあると考えられる。	
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。			
想定したレベルが適切であったかどうか		GPA から考えると、想定したレベルはやや高かった可能性もあるが、適切であったと思う。	
その理由		想定したレベルは解剖学の初学者には少し高かったが、医学教育は基礎→臨床→臨床研修→専門医と螺旋的にレベルを高めながら再学習を繰り返すプロセスであり、優秀な学生に最初に高い到達点を提示することは中長期的な意義があると考ええる。	
期待された教育成果が得られたかどうか		概ね十分に得られたのではないかと思います。	
そう言える理由		大半の学生は未熟ながら解剖学を理解するための努力を行い、一定の成果を得たと考えている。	

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	薬理学総論				
受講者数	記載不要	137 名	授業アンケート回答率	16%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	2 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。		疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。 常に最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学修課題を開拓し探求することができる。			
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2. 19	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	18.2 % 50 % 27.3 % 4.5 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		評価に対して、到達度が高すぎる。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2. 19	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	18.2 % 54.5 % 18.2 % 4.5 % 4.5 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		評価に対して、到達感が高すぎる。			

をどう分析・解釈しているか			
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。			
科目 GPA	2. 19	「学習時間」の回答分布	3 時間以上 4.5 %
		※授業アンケート結果のグラフ	2 時間以上 3 時間未満 9.1 %
		「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	1 時間以上 2 時間未満 27.3 %
			30 分以上 1 時間未満 40.9 %
			30 分未満 18.2 %
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		勉強量が少なすぎる。	
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。			
想定したレベルが適切であったかどうか		適切	
その理由		学生の勉強量が少ないので評価が悪かったものであり、想定したレベルは医学部医学科の教育レベルとしては適切	
期待された教育成果が得られたかどうか		得られなかった。	
そう言える理由		適切なレベルを想定して講義を行ったが、評価が悪かったから。	

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	腎・泌尿器				
受講者数	記載不要	120 名	授業アンケート回答率	53%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	3 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。			疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。		
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.59	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	10.9 % 75 % 14.1 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		GPA は、学生の得点の度数分布のピーク 60 点台にあることを反映している。しかしそれに比して学生が到達感を感じているのは、想定したレベルが高かったが、学生が自覚的には腎・泌尿器科学を理解できたと感じているためであると考える。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.59	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	17.2 % 71.9 % 9.4 % 1.6 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		達成感」の回答は肯定的であり、受講生は、自分たちが授業において達成感を得たと感じている。この結果は、「到達度」の回答結果と整合性がある。教員の評価は GPA2.61 と標準的で、受講生の学びが一定以上成功していたと判定している。 医学教育における基礎医学の重要性に鑑み、医学部医学科のコンピテンシー「医学知識と			

をどう分析・解釈しているか		問題対応能力」を身に付けるための授業として、十分機能していると考える。			
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.59	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 2 時間以上 3 時間未満 1 時間以上 2 時間未満 30 分以上 1 時間未満 30 分未満	50 % 14.1 % 15.6 % 17.2 % 3.1 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		やや自習時間が多いが GPA は低いと考えられた。アンケートを参照するに腎の病理学についてやや難解な部分が多いのかもしれない。			
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。					
想定したレベルが適切であったかどうか		GPA から考えると、想定したレベルは高すぎた可能性もある。			
その理由		適切であったと思う。想定したレベルは、〇〇学の初学者には少し高かったが、医学教育は基礎→臨床→臨床研修→専門医と螺旋的にレベルを高めながら再学習を繰り返すプロセスであり、優秀な学生に最初に高い到達点を提示することは中長期的な意義があると考える。			
期待された教育成果が得られたかどうか		教育成果は得られたのではないかなと思う。			
そう言える理由		GPA は GPA として、実習レポートでは、大半の学生は未熟ながら腎・泌尿器科学を理解するための努力を行い一定の成果を得たと考えている。また試験では、大半の学生は膨大な数の腎・泌尿器科学の名前を始め及第に値する腎・泌尿器科学の基礎知識を獲得したと考えられる。			

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	糖尿病・内分泌・代謝				
受講者数	記載不要	120 名	授業アンケート回答率	57%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	3 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			思考・判断 技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。	患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。 疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。				
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.89	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」 の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	10.1 % 69.6 % 20.3 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		80%が「到達度」に肯定的な結果であったことはよかった。GPA2.89 であることに矛盾しないと判断する。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.89	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	14.5 % 73.9 % 10.1 % 1.4 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と		学生の学びの手ごたえは肯定的な評価が85%でGPA2.89であることに矛盾しないと判断する。達成感を感じてもらえなかった個別の理由が知りたい。			

「達成感」の回答分布をどう分析・解釈しているか					
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.89	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 2 時間以上 3 時間未満 1 時間以上 2 時間未満 30 分以上 1 時間未満 30 分未満	37.7 % 20.3 % 17.4 % 17.4 % 7.2 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		学習時間には学生による個人差が大きいことが分かった。少なくとも勉強時間をこちらで支持することはあまり意味はないと考える。			
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。					
想定したレベルが適切であったかどうか		GPA から考察すると、想定したレベルは妥当であった。			
その理由		適切であったと思われるが、初めての授業構成であり、初学者が基礎医学知識と臨床医学知識を連続にマスターしていくには時間が不足していると感じる。基礎医学を学問としてしっかり学ぶ姿勢が薄れることは、本質的な学力低下につながると危惧している。			
期待された教育成果が得られたかどうか		内分泌代謝学の初学者としての学びはできた。			
そう言える理由		大半の学生は合格水準の試験結果を得られた。			

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	乳腺・産科・婦人科				
受講者数	記載不要	120 名	授業アンケート回答率	1%	%
授業の開講日・時限	前期	対象学年	3 年	必修選択の別	必
達成する学位授与の方針	思考・判断 技能・知識				
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。	患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。 疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。				
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3.00	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」 の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	0 % 100 % 0 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか	GPA は、学生の得点の平均点が 79.8 点であることを反映している。また、科目 GPA 3.00 であり、学生はほぼ同程度の達成度を感じていると判断できるが、アンケートの回収率を高くする必要があると思われる。				
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3.00	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を 転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	0 % 100 % 0 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と	アンケートの内容からも受講生は、自分たちが授業において達成感を得たと感じている。この結果は、「到達度」の回答結果と整合性がある。教員の評価は科目 GPA 3.00 と良好で、受講生の学びが一定以上成功していたと判定し				

「達成感」の回答分布をどう分析・解釈しているか	ている。 医学教育における基礎医学の重要性に鑑み、医学部医学科のコンピテンシー「医学知識と問題対応能力」を身に付けるための授業として、十分機能していると考ええる。				
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3.00	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 2 時間以上 3 時間未満 1 時間以上 2 時間未満 30 分以上 1 時間未満 30 分未満	0 % 100 % 0 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか	やや自習時間が少ないが、科目 GPA 3.00 と良好で学生はかなり効率的な勉強をしたとも理解できる。				
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。					
想定したレベルが適切であったかどうか	GPA から考えると、想定したレベルは適切であったと思われる。				
その理由	想定したレベルは、学生の得点の平均点からも乳腺・産科・婦人科学の初学者に対して適切なレベルであったと思われる。				
期待された教育成果が得られたかどうか	教育成果は得られたのではないかと思う。				
そう言える理由	大半の学生は乳腺・産科・婦人科学を理解するための努力を行い一定の成果を得たと考えている。また試験では、大半の学生は及第に値する乳腺・産科・婦人科学の基礎知識を獲得したと考えられる。				

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	神経				
受講者数	記載不要	120 名	授業アンケート回答率	30%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	3 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			思考・判断 技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。	患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。 疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。				
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.77	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	2.8 % 80.6 % 16.7 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		GPA は学生の得点の度数分布のピークが 70 点台にあることを反映している。 学生の到達感とおおむね一致する結果と考えられる。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.77	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	11.1 % 66.7 % 16.7 % 5.6 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と		「達成感」の回答は十分に肯定的であり、受講生は自分たちが授業において達成感を得たと感じている。この結果は、「到達度」の回答結果および科目 GPA の結果と整合性があり、教育プログラムの狙いは達成されていると考え			

「達成感」の回答分布をどう分析・解釈しているか		られる。			
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.77	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上	44.4	%
			2 時間以上 3 時間未満	30.6	%
			1 時間以上 2 時間未満	16.7	%
			30 分以上 1 時間未満	5.6	%
			30 分未満	2.8	%
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		十分な自習時間により一定の学習成果を上げていると考えられる。積極的な自学態度が得られていると考える。			
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。					
想定したレベルが適切であったかどうか		適切であったと考えられる。			
その理由		比較的十分な学習時間により良好な GPA 値が得られたため想定したレベルは適切であったと考えられる。			
期待された教育成果が得られたかどうか		期待された教育効果は得られたと考えられる。			
そう言える理由		良好な GPA 値と関連する学生の到達感、達成感、および積極的な自学姿勢が得られており、期待された教育効果は得られているものと考えられる。			

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	運動器（筋骨格）				
受講者数	記載不要	120 名	授業アンケート回答率	2%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	3 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			思考・判断 技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。	患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。 疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。				
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.80	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」 の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	50 % 50 % 0 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		アンケート回答率が低く正確には言えないが、科目 GPA は良より高く、授業目標にはほとんどの学生が到達できたと考えます。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.80	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を 転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	50 % 50 % 0 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と		アンケート回答率が低く正確には言えないが、科目 GPA は良より高く、ほとんどの学生が授業の一連の経験を通して、達成感を得ることができたと考える。			

「達成感」の回答分布をどう分析・解釈しているか					
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.80	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 2 時間以上 3 時間未満 1 時間以上 2 時間未満 30 分以上 1 時間未満 30 分未満	50 % 50 % 0 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		アンケート回答率が低く正確には言えないが、科目 GPA は良より高く、ほとんどの学生が 1 週間あたり時間外で 2 時間以上学習できていた。			
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。					
想定したレベルが適切であったかどうか		適切であった。			
その理由		科目 GPA が良より少し良いため。			
期待された教育成果が得られたかどうか		適切であった。			
そう言える理由		適切であった。ほとんどの学生が授業目標に到達でき、達成感が得られたと感じているため。			

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	視覚器				
受講者数	記載不要	120 名	授業アンケート回答率	7%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	3 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			思考・判断 技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。		患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。 疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。			
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3. 62	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	0 % 100 % 0 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		GPA は他の授業と比較しても比較的高い数値となっている。アンケート回答率が 7%と非常に低い点を考慮する必要があるが、この数値は、回答した受講生全員が、達成目標に到達したと思っているからと考えられる。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3. 62	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	25 % 50 % 25 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と		これも回答率が低いことを考慮する必要があるが、「達成感」の回答は肯定的であり、受講生は自分たちが授業において達成感を得たと感じている。この結果は、「到達度」の回答結果と整合性がある。教員の評価は GPA3. 62 と高			

「達成感」の回答分布をどう分析・解釈しているか		く、受講生の学びが一定以上成功していたと判定している。 医学教育における基礎医学の重要性に鑑み、医学部医学科のコンピテンシー「医学知識と問題対応能力」を身に付けるための授業として、十分機能していると考えられる。			
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3. 62	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 2 時間以上 3 時間未満 1 時間以上 2 時間未満 30 分以上 1 時間未満 30 分未満	37. 5 % 0 % 25 % 25 % 12. 5 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		3 時間以上学習した受講生が最多であり、GPA はそれを反映して比較的高い数値になっていると考えられる。			
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。					
想定したレベルが適切であったかどうか		GPA から考えると、想定したレベルは妥当だったと考えられる。			
その理由		適切であったと思う。今回は新カリキュラムとなってから初めての授業であり、想定したレベルは眼科学の初学者にはやや高かったが可能性があるが、GPA は 3. 5 を超えており、受講生は十分内容を理解できたのではないかと考えている。			
期待された教育成果が得られたかどうか		教育成果は得られたのではないと思う。			
そう言える理由		前述のように GPA は 3. 5 を超えている上に、試験では 2 名以外が合格点に達した。学生は授業から学ぶことにより、基本的なことから応用まで、臨床実習を行う際に必要な知識は得られたと思う。			

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	頭頸部				
受講者数	記載不要	120 名	授業アンケート回答率	2%	%
授業の開講日・時限	前期	対象学年	3 年	必修選択の別	必
達成する学位授与の方針	思考・判断 技能・知識				
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。	患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。 疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。				
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3.28	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」 の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	0 % 50 % 50 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか	回答率が 2 % と低いため、分析不能				
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3.28	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を 転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	50 % 50 % 0 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と	回答率が 2 % と低いため、分析不能				

「達成感」の回答分布をどう分析・解釈しているか					
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3.28	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 2 時間以上 3 時間未満 1 時間以上 2 時間未満 30 分以上 1 時間未満 30 分未満	50 % 0 % 50 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		回答率が 2 % と低いため、分析不能			
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。					
想定したレベルが適切であったかどうか その理由		回答率が 2 % と低いため、分析不能			
期待された教育成果が得られたかどうか そう言える理由		回答率が 2 % と低いため、分析不能			

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	皮膚					
受講者数	記載不要	120 名	授業アンケート回答率	3%	%	
授業の開講日・時限	前期		対象学年	3 年	必修選択の別	必
達成する学位授与の方針			思考・判断 技能・知識			
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。	患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。 疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。					
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。						
科目 GPA	3.43	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」 の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	0 % 100 % 0 % 0 % 0 %		
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		GPA は、学生の得点の度数分布のピークが 80 点台にあることを反映している。同様に、学生が到達感を感じている。こちらの想定したレベルと、学生の自覚的到達度は、ほぼ一致していると考ええる。				
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。						
科目 GPA	3.43	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	0 % 100 % 0 % 0 % 0 %		
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と		「達成感」の回答は肯定的であり、受講生は、自分たちが授業において達成感を得たと感じている。この結果は、「到達度」の回答結果と整合性がある。教員の評価は GPA3.43 と高く、受講生の学びが成功していたと判定している。				

「達成感」の回答分布をどう分析・解釈しているか		皮膚科学の授業の目標は達成されていると考える。			
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3.43	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 2 時間以上 3 時間未満 1 時間以上 2 時間未満 30 分以上 1 時間未満 30 分未満	25 % 25 % 0 % 50 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		GPA はそれほどばらつきがなかったが、自習時間が学生によって異なる。学生は効率的に勉強したものもあれば、皮膚科学に興味を持って勉強したものもいるかもしれない。			
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。					
想定したレベルが適切であったかどうか		GPA から考えると、想定したレベルは適切であったと考える。			
その理由		想定したレベルは、当初、皮膚科学の初学者には少し高いと考えたが、非常に満足できる結果であったことと、授業アンケートもそれを裏打ちしていると考えたため。			
期待された教育成果が得られたかどうか		教育成果は得られたのではないと思う。			
そう言える理由		GPA の結果は、教育者としては満足いくものであったため、皮膚科学の基礎知識を得られたと考える。			

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	心理学・行動科学				
受講者数	記載不要	120 名	授業アンケート回答率	18%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	3 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			意欲・態度 コミュニケーション		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。	温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。 医師としての高い見識と誠実な態度を身につけ、病める人を救う強い情熱を持っている。 患者やその家族と十分な意思の疎通ができ、医療のみならず保健や福祉の関係者と良好な関係を築くことで、チーム医療を推進する能力を持っている。				
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3. 10	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」 の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	18.2 % 68.2 % 13.6 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		GPA は、学生の得点の度数分布のピークが 80 点台にあることを反映しており、学生の到達感に比例した結果を示しているものと考える。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3. 10	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を 転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	18.2 % 63.6 % 13.6 % 4.5 % 0 %	
教育プログラムのね		「達成感」の回答は肯定的であり、受講生は、自分達が授業において達成感を得たと感じ			

らいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布をどう分析・解釈しているか		ている。この結果は、「到達度」の回答結果と整合性がある。教員の評価も GPA3.10 と高く、受講生の学びが成功していたと評価している。 医学教育において重要な人間性、高い倫理観、コミュニケーション能力を身につけるための授業として、十分機能していると考え。			
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3.10	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 2 時間以上 3 時間未満 1 時間以上 2 時間未満 30 分以上 1 時間未満 30 分未満	0 % 0 % 0 % 50 % 50 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		学生に考えるためのヒントとなる先達の理論を伝え、それについて深く思索させることを意識した授業を行ったことから、成績評価は知識の定着を見る試験だけでなく、学生個々の考え方をみるためのレポートをかなり重視した。自習時間は少ないのに GPA が高かったことは、学生が授業に刺激を受けて自分なりに深く考察できた結果ではないかと考えている。			
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。					
想定したレベルが適切であったかどうか		GPA から考えると、想定したレベルは適切であったと考える。			
その理由		臨床の現場に出る前に、医師となる自分自身を深く見つめる機会となる授業を提供し、それに対して学生もよくその期待にこたえた結果が示されたものと評価しており、レベルとして不適切であったとは思われない。			
期待された教育成果が得られたかどうか		教育成果は得られたのではないかと考える。			
そう言える理由		GPA の結果が示すだけでなく、授業終了後に教員のもとに自身の悩みや他者との関わり方に対する疑問を相談に来る学生が、多くはないが一定数いたことも踏まえると、教育成果とは言いきれないかもしれないが、学生に何らかの一石を投じ、自身の成長につながるきっかけを与えた授業にはなったのではないかと考える。			

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	ユニット講義（呼吸器）				
受講者数	記載不要	115 名	授業アンケート回答率	23%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	4 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。		疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。			
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.55	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	33.3 % 51.9 % 14.8 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		「到達度」の回答は肯定的であり、受講生は、自分たちが授業の達成目標に到達していると判断している。教員の評価は GPA 2.55 であり、受講生がこの授業の達成目標を正しく理解し、学習していると考えられる。医学部医学科のコンピテンシー「医学知識と問題対応能力」を身に付けるための授業として、十分機能していると考ええる。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.55	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	48.1 % 44.4 % 3.7 % 3.7 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		「達成感」の回答はかなり肯定的であり、受講生は、自分たちが授業において達成感を得たと感じている。教員の評価は GPA 2.55 であり、担当教員は受講生の到達度を十分であると判定している。医学部医学科のコンピテンシー「医学知識と問題対応能力」を身に付けるための授業として、十分機能して			

をどう分析・解釈しているか		いると考える。	
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。			
科目 GPA	2.55	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 25.9 % 2 時間以上 3 時間未満 11.1 % 1 時間以上 2 時間未満 25.9 % 30 分以上 1 時間未満 29.6 % 30 分未満 7.4 %
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		学習時間が多い学生と少ない学生に 2 極化している。50%以上の受講生が 1 週間あたりの時間外学習時間が 1 時間未満であるが、そのような学生はかなり効率的な勉強をしたとも理解できる。 学習時間と到達度および達成感の相関を分析し、学習時間にみあった GPA が得られているかの評価する必要がある。	
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。			
想定したレベルが適切であったかどうか		GPA から考えると、想定したレベルはやや高かった可能性もある。	
その理由		「到達度」と GPA の整合性は取れているが、やや想定レベルが高かった可能性がある。時間外学習時間が少ない学生が多かったことが影響している可能性がある。	
期待された教育成果が得られたかどうか		概ね十分であった。	
そう言える理由		科目 GPA、学生の「到達度」「達成感」は概ね十分な成果であった。さらなる教育成果を得るために、時間外学習を促すような取り組みが必要である。	

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	ユニット講義（消化器）				
受講者数	記載不要	115 名	授業アンケート回答率	37%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	4 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。		疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。			
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3. 05	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	20.9 % 76.7 % 2.3 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		GPA は、学生の得点の度数分布のピークが 70 点台にあることを反映している。しかしそれに比して学生が到達感を感じているのは、想定したレベルが高かったが、学生が自覚的には消化器内科学を理解できたと感じているためであると考える。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3. 05	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	34.9 % 60.5 % 4.7 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		「達成感」の回答は肯定的であり、受講生は、自分たちが授業において達成感を得たと感じている。この結果は、「到達度」の回答結果と整合性がある。教員の評価は GPA3.05 と標準的で、受講生の学びが一定以上成功していたと判定している。 医学教育における基礎医学の重要性に鑑み、医学部医学科のコンピテンシー「医学知識と			

をどう分析・解釈しているか		問題対応能力」を身に付けるための授業として、十分機能していると考え。			
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3. 05	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 2 時間以上 3 時間未満 1 時間以上 2 時間未満 30 分以上 1 時間未満 30 分未満	18. 6 % 18. 6 % 25. 6 % 30. 2 % 7 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		やや自習時間が少ないが、学生はかなり効率的な勉強をしたとも理解できる。もう少し自習が増えれば、GPA はもっと上がることが期待され、学生には十分な伸びしろがあると考えられる。			
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。					
想定したレベルが適切であったかどうか		GPA から考えると、想定したレベルは高すぎた可能性もある。			
その理由		適切であったと思う。想定したレベルは、消化器内科学の初学者には少し高かったが、医学教育は基礎→臨床→臨床研修→専門医と螺旋的にレベルを高めながら再学習を繰り返すプロセスであり、優秀な学生に最初に高い到達点を提示することは中長期的な意義があると考え。			
期待された教育成果が得られたかどうか		教育成果は得られたのではないと思う。			
そう言える理由		GPA は GPA として、実習レポートでは、大半の学生は未熟ながら消化器内科学を理解するための努力を行い一定の成果を得たと考えている。また試験では、大半の学生は膨大な数の名前を始め及第に値する消化器内科学の基礎知識を獲得したと考えられる。			

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	ユニット講義（感染症）				
受講者数	記載不要	115 名	授業アンケート回答率	30%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	4 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。			疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。		
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.55	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	17.1 % 62.9 % 14.3 % 5.7 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		「到達度」の回答はおおむね肯定的といえ、受講生は、自分たちが授業の達成目標に到達していると判断している。教員の評価は GPA 2.55 であり、受講生がこの授業の達成目標を正しく理解し、学習していると考えられる。医学部医学科のコンピテンシー「医学知識と問題対応能力」を身に付けるための授業として、十分機能していると考ええる。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.55	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	25.7 % 54.3 % 14.3 % 5.7 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		「達成感」の回答はおおむね肯定的といえ、受講生は、自分たちが授業において達成感を得たと感じている。教員の評価は GPA 2.55 であり、担当教員は受講生の到達度を十分であると判定している。医学部医学科のコンピテンシー「医学知識と問題対応能力」を身に付けるための授業として、十分機能し			

をどう分析・解釈しているか		ていると考える。	
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。			
科目 GPA	2.55	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 14.3 % 2 時間以上 3 時間未満 8.6 % 1 時間以上 2 時間未満 20 % 30 分以上 1 時間未満 37.1 % 30 分未満 20 %
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		学習時間が多い学生と少ない学生に 2 極化している。50%以上の受講生が 1 週間あたりの時間外学習時間が 1 時間未満であるが、そのような学生はかなり効率的な勉強をしたとも理解できる。 学習時間と到達度および達成感の相関を分析し、学習時間にみあった GPA が得られているかの評価する必要がある。	
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。			
想定したレベルが適切であったかどうか	GPA から考えると、想定したレベルはやや高かった可能性もある。		
その理由	「到達度」と GPA の整合性は取れているが、やや想定レベルが高かった可能性がある。時間外学習時間が少ない学生が多かったことが影響している可能性がある。		
期待された教育成果が得られたかどうか	概ね十分であった。		
そう言える理由	科目 GPA、学生の「到達度」「達成感」は概ね十分な成果であった。さらなる教育成果を得るために、時間外学習を促すような取り組みが必要である。		

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	ユニット講義（免疫・アレルギー）				
受講者数	記載不要	115 名	授業アンケート回答率	43%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	4 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。		免疫異常に起因した疾患（膠原病・アレルギー・免疫不全）の基礎的事項と症候学、診断法および治療法について学ぶ。将来、医師として、疾患の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と技法を習得することを目的とする。			
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3. 10	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	24 % 68 % 8 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		本講義の GPA は、学生の得点の度数分布が 80 点台をピークに約 65%が 80 点以上得点できたことを反映したと判断する。また学生の到達感は「そう思う」以上が 90%を超えており、広い専門分野を網羅しなければならない領域ではあるが、学生の大半が「免疫とは、アレルギーとは、そして膠原病およびアレルギー性疾患の概略を理解できたと評価する。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3. 10	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	32 % 56 % 12 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		「達成感」も「到達度」と同頻度で高く、回答結果の整合性は免疫・アレルギーの講義内容を丸覚えではなく内容の理解を得ながら習得できた結果と判断する。個別のコメントからも、臨床実習に結びつく理解度が「達成感」に結びついたことが感じ取れる。その一方で、「どちらでもない」学生の頻度			

をどう分析・解釈しているか		と低得点（40～60%台）の頻度が近似しており、理解が追いついていないことへの回答である可能性も懸念された。	
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。			
科目 GPA	3. 10	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 8 % 2 時間以上 3 時間未満 4 % 1 時間以上 2 時間未満 30 % 30 分以上 1 時間未満 36 % 30 分未満 22 %
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		「達成感」「到達度」とは解離した内訳と考える必要がある。全体的には自習時間が少なく、一方で頻度のバラツキが見られることから個人差は考慮される。効率的な勉強をしたとも理解できるが、もう少し自習が増えれば、「達成感」「到達度」と合わせて考慮するに、GPA はもっと上がることが期待される。学生には十分かつ効率的な学習を行わせる工夫が必要かもしれない。	
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。			
想定したレベルが適切であったかどうか		GPA の結果からは、想定したレベルは妥当と考える。	
その理由		想定したレベルは、臨床実習に入る前に最低限に習得すべき内容で構成されており、「できる・できない」にかかわらず、医師として将来を担う以上は身につける必要がある。「達成感」「到達度」の評価からは、学生側からしても決して無理のないレベルであることが考察される。段階を追って高いレベルを目指すことは良いが、このレベルを下げることは妥当ではない。	
期待された教育成果が得られたかどうか		講義を通じての教育成果は得られたと思う。	
そう言える理由		GPA や「達成感」「到達度」の評価からは、期待された教育成果と判断できる。一方で、学習時間のバラツキや全体的に学習時間が少ないことは、（個人の効率は考慮されるべきも）期末試験で全員が合格に達しない（極端に低得点の学生が見受けられる）問題には直結すると思う。	

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	ユニット講義（成長発達）				
受講者数	記載不要	115 名	授業アンケート回答率	8%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	4 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。			疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。		
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2. 70	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	44.4 % 55.6 % 0 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		到達度の回答は肯定的であるが、GPA を上回った肯定的な回答ともいえる。回答率が低いと、GPA 上位者の回答が多かったのではないかと予想される。回答率自体が上がるように努める必要がある。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2. 70	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	44.4 % 33.4 % 22.2 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		GPA を反映した達成感の結果と解釈できる。標準的 GPA であり、学生の学びが一定以上成功していたと判定している。			

をどう分析・解釈しているか					
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2. 70	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 2 時間以上 3 時間未満 1 時間以上 2 時間未満 30 分以上 1 時間未満 30 分未満	11. 1 % 0 % 22. 2 % 44. 4 % 22. 2 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		1 つの臨床科目の学習に長時間をかけることは容易でない、むしろ効率よく学習して欲しいと考えているが、30 分未満と回答した学生の中にほとんど学習していない学生がどのくらいいるかが気かりである。少しでも学習し、GPA の向上に努めて欲しい。			
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。					
想定したレベルが適切であったかどうか		GPA から考えると、想定したレベルはやや高い可能性がある。			
その理由		想定したレベルは、優秀な学生の到達点を想定して設定している。成長発達 は臨床実習および臨床研修の中で段階的に積み上げられていく学問であり、 臨床実習の経験や優秀な学生との議論を積み重ねながら、最終的に想定した レベルに到達点すれば良いと考える。			
期待された教育成果が得られたかどうか		教育成果は得られたのではないかと思う。			
そう言える理由		実習レポートおよび実習のまとめの討論の中で、大半の学生が努力を行い、 成長発達に関する貴重な経験を得たことを確認している。			

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	ユニット講義（神経）				
受講者数	記載不要	115 名	授業アンケート回答率	46%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	4 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。			疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。		
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.83	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	26.4 % 67.9 % 5.7 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		GPA は学生の得点の度数分布のピークが 70 点台にあることを反映している。学生の到達感とおおむね一致する結果と考えられる。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.83	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	35.8 % 53.8 % 1.9 % 1.9 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		「達成感」の回答は非常に肯定的であり、受講生は自分たちが授業において達成感を得たと感じている。この結果は、「到達度」の回答結果および科目 GPA の結果と整合性があり、教育プログラムの狙いは達成されていると考えられる。			

をどう分析・解釈しているか					
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.83	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 2 時間以上 3 時間未満 1 時間以上 2 時間未満 30 分以上 1 時間未満 30 分未満	15.1 % 20.8 % 32.1 % 24.5 % 7.5 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		標準的な自習時間により一定の学習成果を上げていると考えられる。標準的な自学態度が得られていると考える。			
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。					
想定したレベルが適切であったかどうか		適切であったと考えられる。			
その理由		標準的な学習時間により良好な GPA 値が得られたため想定したレベルは適切であったと考えられる。			
期待された教育成果が得られたかどうか		期待された教育効果は得られたと考えられる。			
そう言える理由		良好な GPA 値と関連する学生の到達感、達成感、および標準的な自学姿勢が得られており、期待された教育効果は得られているものと考えられる。			

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	ユニット講義（運動器）				
受講者数	記載不要	115 名	授業アンケート回答率	11%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	4 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。			疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。		
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2. 71	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	30.8 % 69.2 % 0 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		アンケート回答率が低く正確には言えないが、科目 GPA は良より高く、授業目標にはほとんどの学生が到達できたと考えます。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2. 71	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	30.8 % 53.8 % 7.7 % 7.7 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		アンケート回答率が低く正確には言えないが、科目 GPA は良より高く、ほとんどの学生が授業の一連の経験を通して、達成感を得ることができたと考える。			

をどう分析・解釈しているか													
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。													
科目 GPA	2. 71	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	<table><tr><td>3 時間以上</td><td>7.7 %</td></tr><tr><td>2 時間以上 3 時間未満</td><td>0 %</td></tr><tr><td>1 時間以上 2 時間未満</td><td>15.4 %</td></tr><tr><td>30 分以上 1 時間未満</td><td>46.2 %</td></tr><tr><td>30 分未満</td><td>30.8 %</td></tr></table>	3 時間以上	7.7 %	2 時間以上 3 時間未満	0 %	1 時間以上 2 時間未満	15.4 %	30 分以上 1 時間未満	46.2 %	30 分未満	30.8 %
3 時間以上	7.7 %												
2 時間以上 3 時間未満	0 %												
1 時間以上 2 時間未満	15.4 %												
30 分以上 1 時間未満	46.2 %												
30 分未満	30.8 %												
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		アンケート回答率が低く正確には言えないが、科目 GPA は良より高かったが、1 週間あたり時間外で 2 時間以上学習できていた学生は少なかった。											
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。													
想定したレベルが適切であったかどうか		適切であった。											
その理由		科目 GPA が良より少し良いため。											
期待された教育成果が得られたかどうか		適切であった。											
そう言える理由		適切であった。ほとんどの学生が授業目標に到達でき、達成感が得られたと感じているため。											

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	ユニット講義（臨床薬理学）				
受講者数	記載不要	115 名	授業アンケート回答率	4%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	4 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。			疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。		
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3.00	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	60 % 20 % 20 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		「到達度」の回答は肯定的であり、受講生は授業の達成目標に到達していると判断する。教員の評価は GPA3.00 であり、担当教員は受講生の到達度を十分であると判断している。これらのことから、受講生はこの授業の到達目標を正しく理解し、学修していると考えられる。医学教育における基礎医学の重要性に鑑み、医学部医学科のコンピテンシーである「医学知識と問題対応能力」を身につけるための授業として、十分に機能している。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3.00	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	60 % 20 % 20 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、「達成感」の回答分布		「達成感」の回答は肯定的であり、受講生は授業において達成感を得たと感じている。この結果は、「到達度」の回答結果と整合性がある。教員の評価は GPA3.00 であり、担当教員は受講生の到達度を十分であると判定している。医学教育における基礎医学の重要性に鑑み、医学部医学科のコンピテンシー			

をどう分析・解釈しているか		である「医学知識と問題対応能力」を身につけるための授業として、十分に機能している。	
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。			
科目 GPA	3.00	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 0 % 2 時間以上 3 時間未満 0 % 1 時間以上 2 時間未満 20 % 30 分以上 1 時間未満 40 % 30 分未満 40 %
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		受講生がこの授業のために学修した時間は、1 週間でおよそ 1 時間未満であるものの、十分な「到達度」「達成度」を達成している。少ない学修時間で十分な「到達度」「達成度」が得られている。学生には十分な伸びしろがあると考えられ、もう少し自習が増えれば、GPA はもっと上がることが期待される。	
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。			
想定したレベルが適切であったかどうか		GPA から考えると、想定したレベルが少し低い可能性がある。	
その理由		少ない学習時間で十分な「到達度」「達成度」が得られており、想定したレベルが少し低かったと判断される。学生には十分な伸びしろがあり、高い到達点を得るために想定レベルを高く再設定する必要がある。	
期待された教育成果が得られたかどうか		概ね十分であった。	
そう言える理由		科目 GPA、学生の「到達度」「達成度」は十分な成果と言えるため。	

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	系統講義（皮膚科）				
受講者数	記載不要	115 名	授業アンケート回答率	14%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	4 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。			疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。		
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3. 27	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	25 % 68.8 % 6.3 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		GPA は、学生の得点の度数分布のピークが 80 点台にあることを反映している。それと同様に、到達感を感じている学生が多い。こちらの想定したレベルと、学生の自覚的到達度は、ほぼ一致していると考える。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3. 27	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	43.8 % 50.0 % 6.3 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		「達成感」の回答は非常に肯定的であり、受講生は、自分たちが授業において達成感を得たと感じている。この結果は、「到達度」の回答結果と整合性がある。教員の評価は GPA3. 27 と高く、受講生の学びが成功していたと判定している。皮膚科学の授業の目標は達成されていると考える。			

をどう分析・解釈しているか													
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。													
科目 GPA	3. 27	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	<table><tr><td>3 時間以上</td><td>6.3 %</td></tr><tr><td>2 時間以上 3 時間未満</td><td>6.3 %</td></tr><tr><td>1 時間以上 2 時間未満</td><td>18.8 %</td></tr><tr><td>30 分以上 1 時間未満</td><td>18.8 %</td></tr><tr><td>30 分未満</td><td>50 %</td></tr></table>	3 時間以上	6.3 %	2 時間以上 3 時間未満	6.3 %	1 時間以上 2 時間未満	18.8 %	30 分以上 1 時間未満	18.8 %	30 分未満	50 %
3 時間以上	6.3 %												
2 時間以上 3 時間未満	6.3 %												
1 時間以上 2 時間未満	18.8 %												
30 分以上 1 時間未満	18.8 %												
30 分未満	50 %												
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		GPA はそれほどばらつきがなかったが、自習時間が学生によって異なる。多くの学生は 2 時間未満であり、半数は 30 分未満であることから、非常に効率的に学習していると考える。											
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。													
想定したレベルが適切であったかどうか		GPA から考えると、想定したレベルは適切であったと考える。											
その理由		想定したレベルは、皮膚科学の初学者には少し高いと考えた。しかし、GPA は満足できる結果であったことと、授業アンケートもそれを裏打ちしていると考えたため。											
期待された教育成果が得られたかどうか		教育成果は得られたのではないかなと思う。											
そう言える理由		GPA の結果は、教育者としては満足いくものであったため、皮膚科学の基礎知識を得られたと考える。また、授業アンケートでも、学生が実感を持っていることが伺えるため。											

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	系統講義（麻酔科）				
受講者数	記載不要	115 名	授業アンケート回答率	16%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	4 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。			疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。		
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2. 91	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	33.3 % 50 % 11.1 % 0 % 5.6 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		GPA は比較的高く、学生も 83.3%で達成感を感じていると考えられる。したがって、学生が自覚的には麻酔蘇生学を理解できたと感じていると考える。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2. 91	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	38.9 % 44.4 % 11.1 % 0 % 5.6 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		そう思う以上の「達成感」回答は 83.3%と肯定的であり、受講生は、自分たちが授業において達成感を得たと感じている。この結果は、「到達度」の回答結果と整合性があり、教員の評価も GPA2.91 と比較的高値で、受講生の学びが一定以上成功していたと判定している。			

をどう分析・解釈しているか			
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。			
科目 GPA	2. 91	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 0 % 2 時間以上 3 時間未満 0 % 1 時間以上 2 時間未満 11. 1 % 30 分以上 1 時間未満 22. 2 % 30 分未満 66. 7 %
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		やや自習時間が少ないが、このような短い時間で十分な成果をあげたと考えられ、学生はかなり効率的な勉強をしたと考えられる。さらに自習が増えれば、GPA はもっと上がることが期待される。	
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。			
想定したレベルが適切であったかどうか		GPA から想定したレベルは適切と考える。	
その理由		想定したレベルは、麻酔蘇生学の初学者には少し高かったかも知れないが、麻酔蘇生学は生理学と薬理学の臨床応用を基盤としており、基礎的分野を再度勉強し、臨床研修に出で繰り返しレベルを高めていけば、さらに理解度が高まると考える。	
期待された教育成果が得られたかどうか		教育成果は得られたのではないかと思う。	
そう言える理由		自習時間が短い中で、比較的高い GPA を達成されており、学生の達成感も高いことから、教育効果は得られたと考える。	

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	系統講義（病態解析診断学）				
受講者数	記載不要	115 名	授業アンケート回答率	3%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	4 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。		疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。 常に最新の医療情報を収集するとともに、生涯自らの学修課題を開拓し探求することができる。			
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.50	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」 の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	66.7 % 33.3 % 0 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		GPA は学生の試験結果を反映している。それに比べて到達度が高いことは、アンケート回収率が低いため判断ができない。強いて言えば、到達度の高い学生がアンケートに回答した結果と考えられる。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.50	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を 転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	66.7 % 33.3 % 0 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		到達度と同様に、達成感が高い学生がアンケートに回答した結果と考えられる。			

をどう分析・解釈しているか					
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	2.50	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間 外で学習しましたか。」の値を転 記してください。	3 時間以上 2 時間以上 3 時間未満 1 時間以上 2 時間未満 30 分以上 1 時間未満 30 分未満	0 % 0 % 0 % 66.7 % 33.3 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		アンケートに回答した学生は比較的講義をきちんと受けていると推定されることから自習時間は少ないと判断できる。自習時間を増やすことで、GPA はもっと上がることが期待される。			
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。					
想定したレベルが適切であったかどうか		GPA から考えると、想定してレベルは適切と考えられる。			
その理由		実際の患者の検査データを知らない状況での講義であるため、感覚的にわかりにくい部分があったと思われる。ただし、検査データを判断するための考え方を中心に講義をしているため、クリニカルクラークシップで患者の検査データを判断できるような意義があったと考える。			
期待された教育成果が得られたかどうか		教育効果は得られたと考えられる。			
そう言える理由		クリニカルクラークシップにおいて、学生と検査データの解釈をする形式でのグループディスカッションを行うが、基本的な考え方を理解できている学生が多く、講義の効果があったと考えられる。			

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	系統講義（救急集中治療医学）				
受講者数	記載不要	115 名	授業アンケート回答率	21%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	4 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			意欲・態度 技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。		医師としての高い見識と誠実な態度を身につけ、病める人を救う強い情熱を持っている。 疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。			
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3.00	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」 の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	29.2 % 62.5 % 8.3 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		ほとんどの学生が概ね狙いどおりのレベルまで到達していると考えている。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3.00	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を 転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	25 % 54.2 % 12.5 % 8.3 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と		オンデマンドの講義ではあったが、概ね狙いどおりの達成感が得られている。			

「達成感」の回答分布をどう分析・解釈しているか													
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。													
科目 GPA	3.00	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	<table><tr><td>3 時間以上</td><td>0 %</td></tr><tr><td>2 時間以上 3 時間未満</td><td>4.2 %</td></tr><tr><td>1 時間以上 2 時間未満</td><td>20.8 %</td></tr><tr><td>30 分以上 1 時間未満</td><td>33.3 %</td></tr><tr><td>30 分未満</td><td>41.7 %</td></tr></table>	3 時間以上	0 %	2 時間以上 3 時間未満	4.2 %	1 時間以上 2 時間未満	20.8 %	30 分以上 1 時間未満	33.3 %	30 分未満	41.7 %
3 時間以上	0 %												
2 時間以上 3 時間未満	4.2 %												
1 時間以上 2 時間未満	20.8 %												
30 分以上 1 時間未満	33.3 %												
30 分未満	41.7 %												
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		比較的授業外の学習時間が確保されている。											
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。													
想定したレベルが適切であったかどうか		適切であったと考えられる。											
その理由		達成感、授業が医学学習時間などから。											
期待された教育成果が得られたかどうか		この評価からは不明である。											
そう言える理由		アンケートの回答率が 21%と低いため。 但し、10 月から行っているクリニカルクラークシップⅠで知識確認のための小テストや症例ディスカッションなどの結果から、講義の内容がある程度は定着している印象である。											

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	系統講義（臨床遺伝学）				
受講者数	記載不要	115 名	授業アンケート回答率	43%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	4 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。			疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。		
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3. 75	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	28 % 66 % 6 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		「強くそう思う」「そう思う」合わせて、94%であり、十分な到達度であったと考えられる。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3. 75	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	34 % 58 % 8 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		「強くそう思う」「そう思う」合わせて、92%であり、十分な達成感であったと考えられる。			

をどう分析・解釈しているか			
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。			
科目 GPA	3. 75	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 0 % 2 時間以上 3 時間未満 2 % 1 時間以上 2 時間未満 8 % 30 分以上 1 時間未満 46 % 30 分未満 44 %
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		2 時間未満が、合計 98%であった。他方、適切な授業外学習に関する設問では、「強くそう思う」「そう思う」合わせて 76%であった。今回、授業中の学びを重視するものであり、その充実のために比較的短時間授業外学習をしていたと考えられる。	
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。			
想定したレベルが適切であったかどうか		想定されたレベルは適切であったと考える。	
その理由		本講義は知識習得をメインとしたプログラムである。授業外での学習の意義は理解しているが過度な時間を割くことなく、講義時間内で十分な到達度、達成感を感じられていたため。	
期待された教育成果が得られたかどうか		期待された教育成果は十分に得られたと考える。	
そう言える理由		到達度、達成感に加えて、できるようになったこと、価値があったことに関する自由記載でも、3 年次の遺伝医学演習・実習Ⅰ、Ⅱ（特に遺伝カウンセリングロールプレイ実習）の発展版と位置づけられ一貫した学習成果があったことが確認されたため。	

別紙 1

信州大学の教育の内部質保証の検証作業として、授業アンケート結果を分析・検討した過程を記録してください。

科目名	系統講義（医療情報）				
受講者数	記載不要	115 名	授業アンケート回答率	27%	%
授業の開講日・時限	前期		対象学年	4 年	必修選択の別 必
達成する学位授与の方針			技能・知識		
その学位授与の方針について、この授業が担う部分を、説明してください。			疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。		
1. 成績評価（「科目 GPA」）は学生が授業の達成目標にどのくらい到達していたかを表す数値であり、授業アンケートの「到達度」の数値は、学生が自分は授業の達成目標にどのくらい到達していたと思うのかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3.89	「到達度」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「授業目標に到達しましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	19.4 % 71 % 9.7 % 0 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「到達度」の回答分布をどう分析・解釈しているか		到達度について「そう思わない」「全くそう思わない」と言った否定的な回答がなく、医療情報学を理解できたと自覚している学生が多いため、高い GPA に反映されていると考える。			
2. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「達成感」の数値は、学生がどれだけ学びの手応えを感じていたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。					
科目 GPA	3.89	「達成感」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「この授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか」の値を転記してください。	強くそう思う そう思う どちらでもない そう思わない 全くそう思わない	19.4 % 64.5 % 12.9 % 3.2 % 0 %	
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「達成感」の回答分布		学生の多くが高い達成感を得たと自覚していると考えられる。これは到達度の回答結果と整合性があり GPA の高値に反映されていると考えられる。これらの結果より医療情報学の学生教育が十分機能しているものと判断される。			

をどう分析・解釈しているか			
3. 成績評価（「科目 GPA」）は学生の学びがどれだけ成功していたかを表す数値であり、授業アンケートの「学習時間」の数値は、学生がどれだけ努力して学んでいたかを表す数値です。教育プログラムのねらいと照らし合わせて、その 2 つの数字をどのように分析し解釈しているかを記入してください。			
科目 GPA	3. 89	「学習時間」の回答分布 ※授業アンケート結果のグラフ 「1 週間あたりどのくらい時間外で学習しましたか。」の値を転記してください。	3 時間以上 0 % 2 時間以上 3 時間未満 0 % 1 時間以上 2 時間未満 3.2 % 30 分以上 1 時間未満 9.7 % 30 分未満 87.1 %
教育プログラムのねらいと照らし合わせて、科目 GPA の数値と「学習時間」の回答分布をどう分析・解釈しているか		自習時間が少ないが、分野的に学習が後回しにされがちであることが影響していると考えられる。また病態を考えるような医学的に高度な理解を求められる科目ではないため長い自習時間は必要ないと考えられる。到達度、達成感が十分得られているため問題ないと考えられる。	
4. 成績評価（「科目 GPA」）、および上記の 3 つの検証作業から見て、想定したレベルが適切であったかどうかと、期待された教育成果が得られたかどうかについてご記入ください。			
想定したレベルが適切であったかどうか		想定したレベルは適切であったと考える。	
その理由		GPA は高値であり、かつ学生が自覚する到達度、達成感が十分得られているため、バランスが良かったと考えている。	
期待された教育成果が得られたかどうか		教育効果は得られたと考えられる。	
そう言える理由		短時間の学習時間であるが、成果が十分得られていると考えられる。医療情報学は法律の条文等の普段気にすることがないような内容が多く含まれるが、しっかり知識を得ることができていると考えられる。	

※赤字は留意事項または記入例ですので、提出時は削除または修正してください。

※各部署で定める「教育課程の点検・評価実施手順」に基づき、①点検・評価、②その結果の学部内での報告・改善の提言、③改善事項の策定までが適切に実施されたことが本報告書で見えるように記載してください。

部局名	医学部
点検・評価の実施主体	医学部医学科カリキュラム評価委員会

1. 点検・評価の結果

No.	点検・評価項目	点検・評価の実施方法	実施時期	確認した根拠資料 又は具体的な取組	結果	改善事項	改善に向けて実施 する取組・時期
(1)	学位授与方針が具体的かつ明確であること 【大学評価基準G-1】	学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	3年ごと	(令和5年度は非該当)	—	—	—
(2)	教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること 【大学評価基準G-2】	教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、 ①教育課程の編成の方針、 ②教育課程における教育・学習方法に関する方針、 ③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	3年ごと	(令和5年度は非該当)	—	—	—
		教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	3年ごと	(令和5年度は非該当)	—	—	—
(3)	教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に即して、体系的であり相応しい水準であること 【大学評価基準G-3】	教育課程の編成が、体系的を有していること ・教育課程編成・実施の方針に基づいたカリキュラムマップが作成されていることを確認する。 ・教育課程の編成における体系的を検討し、確認する。	3年ごと	(令和5年度は非該当)	—	—	—
		授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	毎年度	資料No.7-1 シラバス点検記録	○		

1

No.	点検・評価項目	点検・評価の実施方法	実施時期	確認した根拠資料 又は具体的な取組	結果	改善事項	改善に向けて実施 する取組・時期
		他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	教育課程の変更があるとき	(令和5年度は非該当)	—	—	—
(4)	学位授与方針及び教育課程方針に即して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること 【大学評価基準G-4】	1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること 各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	学年暦により確認する。 毎年度	資料No.7-2 学年歴	○		
		15週と異なる授業期間を設定する集中講義、e-Learning授業等について、は、授業計画が15回に相当する内容であることがシラバスガイドラインに基づき点検されていることを確認する。	毎年度	資料No.7-2 学年歴	○		
		適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	毎年度	資料No.7-1 シラバス点検記録	○		
		教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	毎年度	資料No.7-3 授業主担当教員一覧	○		
(5)	学位授与方針に即して適切な履修指導、支援が行われていること 【大学評価基準G-5】	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	学年ごとのガイダンス、グループ別懇談会等の実施を確認する。 毎年度	資料No.7-4 ガイダンスとグループ懇談会開催スケジュール表	○		
		学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	毎年度	資料No.7-5 教員連絡先/学生相談窓口	○		

2

No.	点検・評価項目	点検・評価の実施方法	実施時期	確認した根拠資料 又は具体的な取組	結果	改善事項	改善に向けて実施 する取組・時期
	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	職業的自立を図るために必要な能力を培う取組としての授業科目「医学概論実習」「臨床実習」等が開講され、指導が行われていることを確認する。	毎年度	資料No.7-6 医学概論Ⅰシラバス 臨床実習シラバス抜粋	○		
	障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	障害学生及び留学生への学習支援体制、相談窓口等の情報が、学生便覧やホームページへの掲載等により周知されていることを確認する。	毎年度	資料No.7-7 令和6年度学生便覧「27. 学生相談窓口について」	○	障がい学生及び留学生への学習支援、相談窓口等の情報について、令和6年度学生便覧に記載した。	
(6)	教育課程方針に即して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に即して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	毎年度	シラバスガイドラインに基づくシラバス点検が実施されていることを確認する。	○		
	【大学評価基準6-6】	成績評価基準を学生に周知していること	毎年度	シラバス点検時に確認済。 (2023シラバス参照)	○		
	成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることを、進級判定会議において確認する。	毎年度		○		
	成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	成績評価の異議申立て制度が学生便覧への掲載等により周知されていることを確認する。	毎年度	学生便覧2023 P56【信州大学医学部医学科履修及び試験内規】に記載	○		
(7)	(7) 大学等の目的及び学位授与方針に即して、公正な卒業判定が実施されていること	大学等の目的及び学位授与方針に即して、卒業の要件（以下「卒業要件」という。）を組織的に策定していること	信州大学学則に卒業要件が定められていることを確認する。	教育課程の変更があるとき	（令和5年度は非該当）	—	—
	【学位授与方針6-7】	策定した卒業要件を学生に周知していること	学生便覧への掲載等により周知されていることを確認する。	毎年度	学生便覧2023 P48【医学部規程】に記載	○	
	卒業の認定を、卒業要件に即して組織的に実施していること	卒業判定基準に基づき実施されていることを確認する。	毎年度	【資料No.7-8】 進級・卒業判定基準 進級判定会議時に基準を基に行っている。	○		

3

No.	点検・評価項目	点検・評価の実施方法	実施時期	確認した根拠資料 又は具体的な取組	結果	改善事項	改善に向けて実施 する取組・時期
(8)	大学等の目的及び学位授与方針に即して、適切な学習成果が得られていること	標準修業年限内の卒業率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に即した状況にあること	毎年度	当該年度の卒業状況が把握されていることを確認する。	○		
	【学位授与方針6-8】	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に即した状況にあること	毎年度	当該年度の就職及び進学の状況が把握されていることを確認する。	○		
	卒業時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に即した学習成果が得られていること	卒業生への医学科の教育に関するアンケートが実施され、結果に基づく検証が行われていることを確認する。	毎年度	【資料No.7-10】 卒業生面談結果	○		
	卒業後一定期間の就業経験等を得た卒業生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に即した学習成果が得られていること	卒業後一定期間の就業経験を経た卒業生からの意見聴取の結果に基づく検証が行われていることを確認する。	6年ごと	（令和5年度は非該当）	—	—	—
	就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に即した学習成果が得られていること	卒業生の就職先等からの意見聴取の結果に基づく検証が行われていることを確認する。	3年ごと	（令和5年度は非該当）	—	—	—

2. 点検・評価の実施及び点検・評価結果に基づく改善計画策定の過程

・令和6年3月27日
・令和6年9月9日

カリキュラム評価委員会において、点検・評価を実施（別紙議事要録参照）

●●会議から●●委員会に対して、点検・評価の結果を報告するとともに、当該結果に基づく教育課程の改善を提言（別紙参照）

・令和6年9月9日

●●委員会において、●●会議からの提言を踏まえて、教育課程の改善計画を策定（別紙議事要録参照）

科目名【医学概論Ⅰ】

【シラバス作成時のチェックリスト】

- ☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。
- ☐試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。※依模術
- ☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。
- ☒実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)
- ☒出席点を加算していません。
- ☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きしました。
- ☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【ヒト生物学Ⅰ】

【シラバス作成時のチェックリスト】

- ☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。
- ☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。
- ☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。
- ☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)
- ☒出席点を加算していません。
- ☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きしました。
- ☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【ヒト生物学Ⅱ】

【シラバス作成時のチェックリスト】

- ☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。
- ☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。
- ☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。
- ☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)
- ☒出席点を加算していません。
- ☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きしました。
- ☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【生化学】

【シラバス作成時のチェックリスト】

- ☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。
- ☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。
- ☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。
- ☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)
- ☒出席点を加算していません。
- ☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きしました。
- ☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【新入生ゼミナール】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

~~☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)~~

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【ゲノム・染色体・遺伝子】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

~~☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)~~

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【発生学総論/再生医学】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

~~☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)~~

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【人体の構造】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

~~☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)~~

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【解剖学】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【薬理学総論】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【病理学総論】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【感染症】
(2年)

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【免疫・アレルギー】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評価は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていれほどの評価になると言えるのかが受講生に伝わるように書きしました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【消化器】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評価は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていれほどの評価になると言えるのかが受講生に伝わるように書きしました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【循環器】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評価は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていれほどの評価になると言えるのかが受講生に伝わるように書きしました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【医学概論Ⅱ】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評価は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていれほどの評価になると言えるのかが受講生に伝わるように書きしました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【腎・泌尿器】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【糖尿病・内分泌・代謝】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【乳腺・産科・婦人科】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【精神】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【境界医療・老年医学】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☐授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【神経】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【運動器（筋骨格）】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【呼吸器】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【視覚器】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

~~☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。（該当者のみ）~~

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【皮膚】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

~~☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。（該当者のみ）~~

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【喉頭部】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

~~☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。（該当者のみ）~~

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【成長と発達】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

~~☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。（該当者のみ）~~

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きまし

た。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【心理学・行動科学】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。―(該当者のみ)―

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きしました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【血液】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。―(該当者のみ)―

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きしました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【腫瘍】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☐カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。 *入力 2020.11.18 依頼 完*

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。―(該当者のみ)―

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きしました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【基礎医学実験】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

入力 2020.11.18 依頼 完 ☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。―(該当者のみ)―

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きしました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【感染症（４年）】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。（該当者のみ）

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【移植】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。（該当者のみ）

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【症候・症例からのアプローチと臨床検査】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☐カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☐試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☐授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。（該当者のみ）

☐出席点を加算していません。

☐成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☐事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【救急・麻酔・外傷】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。（該当者のみ）

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【遠伝医療・ゲノム医療】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。（該当者のみ）

☐出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【医療安全・医療情報・放射線】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。（該当者のみ）

☐出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【地域医療】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。（該当者のみ）

☒出席点を加算していません。

☐成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【社会医学（4年）】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

☒実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。（該当者のみ）

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、

何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【臨床実習前集中講義】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☐試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

~~☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)~~

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【合同チーム医療演習】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

~~☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)~~

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



科目名【ユニット講義（社会医学・医療管理）】

【シラバス作成時のチェックリスト】

☒カリキュラム・ポリシーで定められた授業の配置意図に適合するようこの授業の達成目標を設定しました。

☒試験、レポート提出、中間試験や小試験等の日程を示しました。

☒授業アンケートの実施、実務経験のある教員による授業、の記載がある。

~~☐実習やフィールドワーク等で学外に出る授業日を示しました。(該当者のみ)~~

☒出席点を加算していません。

☒成績の評定は、授業の達成目標に向けた到達度をめやすに採点するように設定し、何ができていればどの評定になると言えるのかが受講生に伝わるように書きました。

☒事前・事後学習の内容を具体的に書きました。

確認者署名

医学教育研修センター



令和5年度 共通教育・医学科 学年暦（1年生）

前 期								後 期							
月\曜	日	月	火	水	木	金	土	月\曜	日	月	火	水	木	金	土
4							1	10							
	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7
	9	10	11	12	13	14	15		8	9	10	11	12	13	14
	16	17	18	19	20	21	22		15	16	17	18	19	20	21
	23	24	25	26	27	28	29		22	23	24	25	26	27	28
	30								29	30	31				
5		1	2	3	4	5	6	11				1	2	3	4
	7	8	9	10	11	12	13		5	6	7	8	9	10	11
	14	15	16	17	18	19	20		12	13	14	15	16	17	18
	21	22	23	24	25	26	27		19	20	21	22	23	24	25
	28	29	30	31					26	27	28	29	30		
6					1	2	3	12						1	2
	4	5	6	7	8	9	10		3	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16	17		10	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23	24		17	18	19	20	21	22	23
	25	26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30
7							1	1							
	2	3	4	5	6	7	8			1	2	3	4	5	6
	9	10	11	12	13	14	15		7	8	9	10	11	12	13
	16	17	18	19	20	21	22		14	15	16	17	18	19	20
	23	24	25	26	27	28	29		21	22	23	24	25	26	27
	30	31							28	29	30	31			
8			1	2	3	4	5	2					1	2	3
	6	7	8	9	10	11	12		4	5	6	7	8	9	10
	13	14	15	16	17	18	19		11	12	13	14	15	16	17
	20	21	22	23	24	25	26		18	19	20	21	22	23	24
	27	28	29	30	31				25	26	27	28	29		
9						1	2	3						1	2
	3	4	5	6	7	8	9		3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16		10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23		17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30		24	25	26	27	28	29	30

曜日別日数

前 期								後 期							
区分\曜	日	月	火	水	木	金	土	区分\曜	日	月	火	水	木	金	土
授業日	—	15	15	15	15	15	—	授業日	—	15	15	15	15	15	—
試験日	—	1	1	1	1	1	—	試験日	—	1	1	1	1	1	—
合 計				80				合 計				80			

授業期間

ガイダンス：4月5日（水）・健康診断：4月6日（木）

試験期間

△ 新入生合宿研修：4月14日（金）～4月15日（土）

早期体験実習（第1班：9/4～9/8，第2班：9/11～9/15）

○ 早期体験実習成果発表会：11月4日（土）13時～

休業日

【 】 振替授業日：前期 なし

開学記念日：6月1日

後期 11月21日（火）（木曜日の授業）

12月27日（水）（金曜日の授業）

前期授業開始：4月10日

臨時休業日：5月2日（火）

1月12日（金）（大学入学共通テスト準備）

後期授業開始：9月25日

◇ 新2年生ガイダンス：令和6年3月25日（月）

※令和6年3月25日から解剖学（2年生講義）のガイダンス及び講義を実施する場合がありますので、予定は空けておいてください。

令和5年度 共通教育・医学科 学年暦（2年生）

前 期								後 期							
月\曜	日	月	火	水	木	金	土	月\曜	日	月	火	水	木	金	土
4							1	10							
	2	3	4	5	6	7	8		1	2	3	4	5	6	7
	9	10	11	12	13	14	15		8	9	10	11	12	13	14
	16	17	18	19	20	21	22		15	16	17	18	19	20	21
	23	24	25	26	27	28	29		22	23	24	25	26	27	28
5	30							11	29	30	31				
		1	2	3	4	5	6					1	2	3	4
	7	8	9	10	11	12	13		5	6	7	8	9	10	11
	14	15	16	17	18	19	20		12	13	14	15	16	17	18
	21	22	23	24	25	26	27		19	20	21	22	23	24	25
6	28	29	30	31				12	26	27	28	29	30		
					1	2	3						1	2	
	4	5	6	7	8	9	10		3	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16	17		10	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21	22	23	24		17	18	19	20	21	22	23
7	25	26	27	28	29	30		1	24	25	26	27	28	29	30
									31						
							1								
	2	3	4	5	6	7	8			1	2	3	4	5	6
	9	10	11	12	13	14	15		7	8	9	10	11	12	13
8	16	17	18	19	20	21	22	2	14	15	16	17	18	19	20
	23	24	25	26	27	28	29		21	22	23	24	25	26	27
	30	31							28	29	30	31			
			1	2	3	4	5						1	2	3
	6	7	8	9	10	11	12		4	5	6	7	8	9	10
9	13	14	15	16	17	18	19	3	11	12	13	14	15	16	17
	20	21	22	23	24	25	26		18	19	20	21	22	23	24
	27	28	29	30	31				25	26	27	28	29		
						1	2							1	2
	3	4	5	6	7	8	9		3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16		10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23		17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30		24	25	26	27	28	29	30
									31						

曜日別日数

前 期								後 期							
区分\曜	日	月	火	水	木	金	土	区分\曜	日	月	火	水	木	金	土
授業日	—	15	15	15	15	15	—	授業日	—	15	15	15	15	15	—
試験日	—	1	1	1	1	1	—	試験日	—	1	1	1	1	1	—
合 計				80				合 計				80			



授業期間



ガイダンス：4月5日（水）午後



共通教育試験期間



遺骨返還式・慰霊祭：10月6日（金）



医学概论Ⅱ（2年早期体験実習）（9/15～9/22）

【 】

振替授業日：前期 なし



休業日

後期 11月21日（火）（木曜日の授業）

12月27日（水）（金曜日の授業）

開学記念日：6月1日



医学概论Ⅱ説明会：9月12日（火）

前期授業開始：4月6日（専門科目）

：4月10日（共通教育科目）

後期授業開始：9月25日



2年後期総合試験：2月16日（金）

臨時休業日：5月2日（火）



健康診断：4月13日（木）午後

1月12日（金）（大学入学共通テスト準備）

令和5年度 医学科学 学年暦 (3年・4年)

【3年生】

月	週	日	月	火	水	木	金	土
前学期	4	1	2	3	4	5	6	7
		8	9	10	11	12	13	14
		15	16	17	18	19	20	21
		22	23	24	25	26	27	28
		29	30					
	5	5	6	7	8	9	10	11
		12	13	14	15	16	17	18
		19	20	21	22	23	24	25
		26	27	28	29	30	31	
	6	9	10	11	12	13	14	15
		16	17	18	19	20	21	22
		23	24	25	26	27	28	29
		30	31					
後学期	7	13	14	15	16	17	18	19
		20	21	22	23	24	25	26
		27	28	29	30	31		
	8	18	19	20	21	22	23	24
		25	26	27	28	29	30	31
	9	1	2	3	4	5	6	7
		8	9	10	11	12	13	14
		15	16	17	18	19	20	21
		22	23	24	25	26	27	28
		29	30	31				
後学期	10	5	6	7	8	9	10	11
		12	13	14	15	16	17	18
		19	20	21	22	23	24	25
		26	27	28	29	30	31	
	11	9	10	11	12	13	14	15
		16	17	18	19	20	21	22
		23	24	25	26	27	28	29
		30	31					
	12	13	14	15	16	17	18	19
		20	21	22	23	24	25	26
		27	28	29	30	31		
後学期	1	18	19	20	21	22	23	24
		25	26	27	28	29	30	31
	2	22	23	24	25	26	27	28
		29	30	31				
後学期	3	2	3	4	5	6	7	8
		9	10	11	12	13	14	15
		16	17	18	19	20	21	22
		23	24	25	26	27	28	29
		30	31					
	4	5	6	7	8	9	10	11
		12	13	14	15	16	17	18
		19	20	21	22	23	24	25
		26	27	28	29	30	31	

学期	週数	月	火	水	木	金	計
前学期	18W	17	17	17	17	17	85
後学期	23W	19	21	21	21	20	102

行 事
令和5年3月28日(火) 3・4年合同ガイダンス
4月13日(木) 健康診断(終日休講)
9月4日(月) 前期科目総合試験
1月12日(金) 臨時休業日(大学入学共通テスト準備)
2月21日(水) 後期科目総合試験

※12月1日(金) (学校推薦型選抜)
 ※1月13日(土), 14日(日)(大学入学共通テスト)
 ※2月25日(日), 26日(月)(前期日程)

【4年生】

月	週	日	月	火	水	木	金	土
前学期	4	1	2	3	4	5	6	7
		8	9	10	11	12	13	14
		15	16	17	18	19	20	21
		22	23	24	25	26	27	28
		29	30					
	5	5	6	7	8	9	10	11
		12	13	14	15	16	17	18
		19	20	21	22	23	24	25
		26	27	28	29	30	31	
	6	9	10	11	12	13	14	15
		16	17	18	19	20	21	22
		23	24	25	26	27	28	29
		30	31					
後学期	7	13	14	15	16	17	18	19
		20	21	22	23	24	25	26
		27	28	29	30	31		
	8	18	19	20	21	22	23	24
		25	26	27	28	29	30	31
	9	1	2	3	4	5	6	7
		8	9	10	11	12	13	14
		15	16	17	18	19	20	21
		22	23	24	25	26	27	28
		29	30	31				
後学期	10	5	6	7	8	9	10	11
		12	13	14	15	16	17	18
		19	20	21	22	23	24	25
		26	27	28	29	30	31	
	11	9	10	11	12	13	14	15
		16	17	18	19	20	21	22
		23	24	25	26	27	28	29
		30	31					
	12	13	14	15	16	17	18	19
		20	21	22	23	24	25	26
		27	28	29	30	31		
後学期	1	18	19	20	21	22	23	24
		25	26	27	28	29	30	31
	2	22	23	24	25	26	27	28
		29	30	31				
	3	2	3	4	5	6	7	8
		9	10	11	12	13	14	15
		16	17	18	19	20	21	22
		23	24	25	26	27	28	29
		30	31					

学期	週数	月	火	水	木	金	計
前学期	11W	11	10	10	10	10	51
後学期	20W	18	20	20	19	18	95

行 事
令和5年3月28日(火) 3・4年合同ガイダンス
4月13日(木) 健康診断(終日休講)
7月27日(木) 臨床総合試験(13時～)
8月24日(木), 25日(金) 共用試験CBT
8月28日(月)～9月15日(金) 臨床実習前集中講義
9月21日(木) 共用試験CBT追再試
9月23日(土) 共用試験OSCE①
9月24日(日) 共用試験OSCE②
10月13日(金) 白衣授与式、ガイダンス
10月14日(土) 共用試験OSCE追再試
10月13～27, 11月10～24, 12月10～23, 1月18/20/26, 3月1/3
臨床実習
※12月1日(金) (学校推薦型選抜)
※1月13日(土), 14日(日)(大学入学共通テスト)
※2月25日(日), 26日(月)(前期日程)

令和5年度 医学科学年暦 (5年・6年)

【5年生】

月	週	日	月	火	水	木	金	土
前学期	4	1	2	3	4	5	6	7
		2	9	10	11	12	13	14
		3	16	17	18	19	20	21
		4	23	24	25	26	27	28
	5	30	1	2	3	4	5	6
		5	7	8	9	10	11	12
		6	14	15	16	17	18	19
		7	21	22	23	24	25	26
	6	8	28	29	30	31	1	2
		9	4	5	6	7	8	9
		10	11	12	13	14	15	16
		11	18	19	20	21	22	23
後学期	7	12	25	26	27	28	29	30
		13	2	3	4	5	6	7
		14	9	10	11	12	13	14
		15	16	17	18	19	20	21
	8	16	23	24	25	26	27	28
		30	31	1	2	3	4	5
		6	7	8	9	10	11	12
		13	14	15	16	17	18	19
	9	20	21	22	23	24	25	26
		27	28	29	30	31	1	2
		3	4	5	6	7	8	9
		10	11	12	13	14	15	16
150通り	10	17	18	19	20	21	22	23
		24	25	26	27	28	29	30
		5	6	7	8	9	10	11
		12	13	14	15	16	17	18
	11	19	20	21	22	23	24	25
		26	27	28	29	30	1	2
		3	4	5	6	7	8	9
		10	11	12	13	14	15	16
	12	17	18	19	20	21	22	23
		24	25	26	27	28	29	30
		31	1	2	3	4	5	6
		7	8	9	10	11	12	13
150通り	1	14	15	16	17	18	19	20
		21	22	23	24	25	26	27
		28	29	30	31	1	2	3
		4	5	6	7	8	9	10
	2	11	12	13	14	15	16	17
		18	19	20	21	22	23	24
		25	26	27	28	29	1	2
		3	4	5	6	7	8	9
	3	10	11	12	13	14	15	16
		17	18	19	20	21	22	23
		24	25	26	27	28	29	30
		31	1	2	3	4	5	6

学期	週数
前期	16W
後期	24W

行 事	
令和5年3月24日(金)	健康診断
4/14・28, 5/19, 6/2・16	5・6年合同授業
7月29日(土)午前	臨床総合試験(講義室AB)
7月29日(土)午後	Midterm OSCE (2実)
9月1日(金)	ガイダンス
1月19日(金)～1月20日(土)	スキー合宿研修会
※12月1日(金)	(学校推薦型選抜)
※1月13日(土), 14日(日)	(大学入学共通テスト)
※2月25日(日), 26日(月)	(前期日程)

【6年生】

月	週	日	月	火	水	木	金	土
前学期	4	1	2	3	4	5	6	7
		2	9	10	11	12	13	14
		3	16	17	18	19	20	21
		4	23	24	25	26	27	28
	5	30	1	2	3	4	5	6
		7	8	9	10	11	12	13
		14	15	16	17	18	19	20
		21	22	23	24	25	26	27
	6	28	29	30	31	1	2	3
		4	5	6	7	8	9	10
		11	12	13	14	15	16	17
		18	19	20	21	22	23	24
後学期	7	25	26	27	28	29	30	31
		1	2	3	4	5	6	7
		8	9	10	11	12	13	14
		15	16	17	18	19	20	21
	8	22	23	24	25	26	27	28
		29	30	31	1	2	3	4
		5	6	7	8	9	10	11
		12	13	14	15	16	17	18
	9	19	20	21	22	23	24	25
		26	27	28	29	30	1	2
		3	4	5	6	7	8	9
		10	11	12	13	14	15	16
150通り	10	17	18	19	20	21	22	23
		24	25	26	27	28	29	30
		5	6	7	8	9	10	11
		12	13	14	15	16	17	18
	11	19	20	21	22	23	24	25
		26	27	28	29	30	1	2
		3	4	5	6	7	8	9
		10	11	12	13	14	15	16
	12	17	18	19	20	21	22	23
		24	25	26	27	28	29	30
		31	1	2	3	4	5	6
		7	8	9	10	11	12	13
150通り	1	14	15	16	17	18	19	20
		21	22	23	24	25	26	27
		28	29	30	31	1	2	3
		4	5	6	7	8	9	10
	2	11	12	13	14	15	16	17
		18	19	20	21	22	23	24
		25	26	27	28	29	1	2
		3	4	5	6	7	8	9
	3	10	11	12	13	14	15	16
		17	18	19	20	21	22	23
		24	25	26	27	28	29	30
		31	1	2	3	4	5	6

学期	週数
前期	12W

行 事	
令和5年3月24日(金)	ガイダンス
令和5年3月24日(金)	健康診断
4/14・28, 5/19, 6/2・16	5・6年合同授業
7月2日(日)	臨床実習後OSCE①
7月29日(土)午前	臨床実習後OSCE②
8/28, 9/19, 10/23・24	総合卒業試験
9/28-29, 11/7-8	模試
3月21日(木)	卒業式 (長野県松本文化会館)
※12月1日(金)	(学校推薦型選抜)
※1月13日(土), 14日(日)	(大学入学共通テスト)
※2月25日(日), 26日(月)	(前期日程)

令和5年度授業担当教員一覧

学年	題目コード	科目名	主担当教員
1	M0100300	医学概論Ⅰ	森 淳一郎
1	M0100700	ヒト生物学Ⅰ	加藤 沢子
1	M0100800	ヒト生物学Ⅱ	加藤 沢子
1	M0103000	生化学	平塚 佐千枝
1	M0105000	ゲノム・染色体・遺伝子	古庄 知己
1	M0106000	発生学総論/再生医学	柴 祐司
1	M0200100	人体の構造	福島 菜奈恵
2	M0200500	解剖学	福島 菜奈恵
2	M0200700	薬理学総論	山田 充彦
2	M0200800	病理学総論	菅野 祐幸
2	M0200900	感染症(2年)	花岡 正幸
2	M0201000	免疫・アレルギー	関島 良樹
2	M0201200	消化器	梅村 武司
2	M0201300	循環器	桑原 宏一郎
2	M0202000	医学概論Ⅱ	森 淳一郎
2	M0202800	発生学	柴 祐司
4	M0301100	臨床実習前集中講義	森 淳一郎
3	M0302000	腎・泌尿器	小川 輝之
3	M0303000	糖尿病・内分泌・代謝	駒津 光久
3	M0304000	乳腺・産科・婦人科	塩沢 丹里
3	M0305000	精神	鷺塚 伸介
3	M0306000	境界医療・老年医学	森 淳一郎
3	M0307000	神経	関島 良樹
3	M0308000	運動器(筋骨格)	高橋 淳
3	M0309000	呼吸器	花岡 正幸
3	M0310000	視覚器	村田 敏規
3	M0311000	頭頸部	工 穰
3	M0312000	皮膚	奥山 隆平
3	M0313000	成長と発達	中沢 洋三
3	M0314000	心理学・行動科学	鷺塚 伸介
3	M0315000	血液	中沢 洋三
3	M0316000	腫瘍	神田 慎太郎
3	M0317000	基礎医学実験	森 淳一郎
4	M0415500	臨床医学TBL 4年	森 淳一郎
4	M0422700	系統講義(皮膚科)	奥山 隆平
4	M0422800	系統講義(麻酔科)	川眞田 樹人
4	M0423000	系統講義(病態解析診断学)	上原 剛
4	M0423100	系統講義(救急集中治療医学)	今村 浩
4	M0423200	系統講義(臨床遺伝学)	古庄 知己
4	M0423300	系統講義(医療情報)	北口 良晃
6	M0511400	ユニット講義(社会医学・医療管理)	森 淳一郎
4	M0512800	ユニット講義(臨床薬理学)	内藤 隆文
4	M0512900	ユニット講義(呼吸器)	花岡 正幸
4	M0513000	ユニット講義(消化器)4年	梅村 武司
4	M0513100	ユニット講義(感染症)	花岡 正幸
4	M0513200	ユニット講義(免疫・アレルギー)	関島 良樹
4	M0513300	ユニット講義(成長発達)	中沢 洋三
4	M0513400	ユニット講義(神経)	関島 良樹
4	M0513500	ユニット講義(運動器)	高橋 淳
4	M0813000	医学部合同チーム医療演習	木村 貞治

令和5年度 医学部医学科 新入生ガイダンス

【1日目 第1部】

◆日時：令和5年4月4日（火）9時00分～11時00分

場所：講義室A・B（旭総合研究棟9階）

対象：新入生

保護者については、第2実習室へ

1. 学部長挨拶（9:00～9:05）
2. 病院長挨拶（9:05～9:10）
3. 父母会長挨拶（9:10～9:15）
4. 学部長講演「信州大学における医学教育」（9:15～9:45）
（休憩10分）
5. 医学教育研修センター
 - ・中澤地域医療推進部門長「地域医療をどう学ぶか」（9:55～10:10）
 - ・上條臨床研修部門長「卒後の臨床研修と専門研修について」（10:10～10:25）
 - ・森医学教育部門長「検温システム、カリキュラム、修学上の注意、進級判定」（10:25～10:40）
6. 父母会創設7人賞 授賞式（10:40～11:00）

～ 入学式@キッセイ文化ホール ～

（入場完了：13:10 退場14:35）

【1日目 第2部】

◆日時：令和5年4月4日（火）15時30分～終了次第

<新入生>

場所：講義室A・B（旭総合研究棟9階）

1. 生協から教科書販売等の案内【生協購買部】（15:30～15:40）
2. 学生会によるクラス運営のガイダンス【医学科学生会長】（15:40～）

<保護者>

場所：第一講義室（医学部講義棟1階）

1. 信州医学会の紹介【古庄教授（R05）】

【2日目】

◆日時：令和5年4月5日（水）9時00分～15時00分

場所：講義室A・B（旭総合研究棟9階）

対象：新入生

1. 中央図書館の利用について【中央図書館職員】（9:00～9:20）
2. 医学部図書館の利用案内（9:20～9:25）【図書係長】
3. 安全の手引きについて（9:25～9:30）【人事係長】
4. 学生生協、AU信和会（1社約8分）（9:30～9:50）
5. 学務事務担当から学生便覧等説明（9:50～10:30）
6. 医学部・附属病院見学（10:30～11:30）

※H26年度からは横割り担任とする。

【小児医学、人体構造学、眼科学、国際医学研究推進学、加齢生物学、分子薬理学、遺伝医学に依頼する】

7. 学生会によるクラス運営のガイダンス【医学科学生会長】（12:00～13:00）
8. 「新入生ゼミナール（学部長）」（13:40～15:10）

令和5年度 医学部医学科在校生の新学年ガイダンス

2年次生

◆日時：令和5年4月5日（水）13時20分～16時40分

場所：第1講義室

1. 学部長挨拶（13:20～13:25）
2. 2年生 授業担当教員からのメッセージ（13:30～13:50）
福島、藤永、山田、菅野、桑原、副島各教授，山条准教授
3. 感染制御室 金井先生「新型コロナ感染症を踏まえた感染対策」（13:50～14:20）
4. 医学教育研修センター・①加藤先生（14:20～14:50）②森医学教育部門長（14:50～15:10）
①生活習慣（未成年飲酒，交通事故，地域住民として，犯罪行為）医道審議会，法的処罰，信大1年間の不祥事
②検温システム，カリキュラム，修学上の注意，進級判定
（休憩 10分）
5. 教授講演【担当：副島先生】（15:20～16:00）
6. レポート作成・提出（16:00～16:10）
1年を振り返って本日のまとめ，これからの1年間の目標，将来の目標
7. 事務連絡（16:10～16:40）

3，4年次生

◆日時：令和5年3月28日（火）13時00分～16時00分

場所：第2実習室・（第1実習室）

1. 学部長挨拶（13:00～13:05）
 2. 感染制御室 金井先生「新型コロナ感染症を踏まえた感染対策」（13:10～13:40）
 3. 医学教育研修センター
 - ・上條臨床研修部門長「卒後の臨床研修と専門研修について」（13:40～14:00）
 - ・森医学教育部門長（14:00～14:20）
「検温システム，カリキュラム，修学上の注意，進級判定，生活習慣（未成年飲酒，交通事故，地域住民として，犯罪行為）医道審議会，法的処罰，信大1年間の不祥事」
 - ・「eMEDコース及びクリニカルクラークシップⅠ希望アンケートについて」
（休憩 10分）
 - ・3，4年次生合同で，スモールグループディスカッション（14:30～16:00）
- 研究者行動規範教育「APRN e-learning」について【森先生】
- レポート作成・提出（e-ALPS）
- ・事務連絡

令和5年度 医学部医学科在校生の新学年ガイダンス

4年次生「白衣授与式、臨床実習前ガイダンス」

◆日時：令和5年10月13日（金）10時30分～15時00分

場所：講義室A・B（旭総合研究棟9階）

【白衣授与式】(10:30～11:45)

1. 学部長挨拶（5分）
2. 病院長挨拶（5分）
3. 白衣授与（グループ別に写真撮影する）
4. 誓いのことば（4年生代表）（5分）
5. 父母会長挨拶（5分）
6. 記念撮影（全員で写真撮影する）

【ガイダンス】(13:00～14:30)

1. 医学教育研修センター
「卒後の臨床研修と専門研修について」：上條臨床研修部門長（13:00～13:20）
2. 国際交流推進室
「海外協定校での研修の準備をはじめよう！」：田中国際交流推進室長（13:20～13:30）
3. 上級生からのメッセージ
5年生1名（13:30～14:00）
4. 医学教育研修センター
「検温システム、カリキュラム、修学上の注意、進級判定」，「電子カルテ，診療参加型実習誓約書」
森医学教育部門長（14:00～14:30）
5. 事務連絡

5年次生

◆日時：令和5年9月1日（金）9時～11時

場所：講義室A・B（旭総合研究棟9階）

1. 感染制御室 金井先生「新型コロナ感染症を踏まえた感染対策」（9:00～9:30）
2. 森医学教育部門長「MidtermOSCEの講評」（9:30～9:40）
3. 森医学教育部門長「150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について」（9:40～）
4. 質疑応答
5. 事務連絡

令和5年度 医学部医学科在校生の新学年ガイダンス

6年次生

◆日時：令和5年3月24日（金）13時30分～15時30分

場所：講義室A・B（旭総合研究棟9階）

1. 学部長挨拶（13:30～13:35）
病院長挨拶（13:35～13:40）
2. 感染制御室 金井先生「新型コロナ感染症を踏まえた感染対策」（13:40～14:10）
3. 医学教育研修センター
 - ・「近年のマッチングの流れ」増田先生（14:10～14:30）
 - ・森医学教育部門長（14:30～14:50）
「検温システム，カリキュラム，修学上の注意，進級判定，ポートフォリオの作成（うち「電子カルテ」5分）」
4. 先輩からのメッセージ1名（14:50～15:00）
6 年：山田 大雅
5. 事務連絡（15:00～15:30）

2023年 春のグループ懇談会 日程一覧

グループ 番 号	教室名	懇談会 開催日	時 間	場 所
1	子どものこころ発達医学	6月6日（火）	18:30～20:00	附属病院外来棟4F研修室4・5
2	人体構造学	6月30日（金）	12:00～12:30	基礎棟4Fミーティングルーム（3）
3	分子病態学	6月1日（木）	18:30～19:30	附属病院5Fレストランソレイユ
4	分子細胞生理学	5月11日（木）	18:00～19:00	基礎棟3Fミーティングルーム（2）
5	血液・腫瘍内科学	6月9日（金）	12:00～13:00	血液・腫瘍内科学教室カンファレンスルーム
6	分子薬理学	5月26日（金）	18:00～20:00	分子薬理学教室セミナー室
7	薬剤部	5月25日（木）	18:00～19:00	附属病院5Fレストランソレイユ
8	病理組織学	6月9日（金）	18:30～20:00	基礎棟3Fミーティングルーム（2）
9	免疫・微生物学	5月15日（月）	17:30～19:00	医学部基礎棟4F免疫・微生物学教室
10	遺伝医学	5月15日（月）	12:20～13:10	基礎棟3Fミーティングルーム（2）
11	衛生学公衆衛生学	5月29日（月）	12:30～13:10	基礎棟3Fミーティングルーム（2）
12	法医学教室	5月19日（金）	18:00～19:00	基礎棟3Fミーティングルーム（2）
13	内科学第一	6月2日（金）	18:00～19:30	臨床棟4F第一内科ゼミナール室もしくは医局
14	内科学第二	5月26日（金）	18:45～19:45	臨床棟5F第二内科医局
15	内科学第三	5月23日（火）	18:00～19:00	臨床外来棟4F第三内科医局カンファレンス室
16	精神医学	5月31日（水）	17:00～18:30	臨床棟6F精神科研究室
17	小児医学	5月19日（金）	18:30～20:30	臨床棟2F小児医学教室図書室
18	皮膚科学	5月25日（木）	18:30～19:30	臨床棟7F皮膚科医局
19	画像医学	6月2日（金）	18:00～20:00	臨床棟2F画像医学教室医局
20	外科学【消化器・移植・小児外科学分野】	5月11日（木）	18:30～19:00	臨床棟6F医局またはカンファレンスルーム
21	外科学【心臓血管外科学分野】	5月17日（水）	18:00～	臨床棟7F外科学教室内カンファレンスルーム
22	運動機能学	6月2日（金）	18:00～19:00	附属病院5Fレストランソレイユ
23	脳神経外科学	5月25日（木）	18:00～19:00	臨床研究棟4F脳神経外科学教室医局ホール
24	歯科口腔外科学	5月24日（水）	18:30～19:30	基礎棟1F歯科口腔外科学教室カンファレンスルーム
25	泌尿器科学	6月2日（金）	18:00～20:00	臨床棟4F泌尿器科医局カンファレンスルーム
26	眼科学	5月19日（金）	16:00～16:30	臨床棟5F眼科学教室プロジェクトルームまたは医局図書室
27	耳鼻咽喉科頭頸部外科学	5月26日（金）	18:00～19:00	臨床棟1F耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室医局
28	産科婦人科学	5月16日（火）	18:00～19:30	臨床棟3F産科婦人科学教室ゼミ室
29	麻酔蘇生学	6月23日（金）	18:00～19:00	臨床棟1F麻酔科医局
30	形成再建外科学	5月19日（金）	18:00～19:00	疾患予防西棟3F形成外科医局
31	病態解析診断学	5月16日（火）	12:00～13:00	附属病院南中央診療棟2F臨床検査部カンファレンスルーム
32	救急集中治療医学	6月16日（金）	18:30～19:30	基礎棟東棟2Fプロジェクトルーム
33	寄生虫感染症学	6月19日（月）	18:00～20:00	基礎棟2F分子病理学教室または旭総合研究棟6F寄生虫学教室
34	免疫制御学	5月29日（月）	18:00～19:00	旭総合研究棟6F免疫制御学教室内セミナー室&会議室
35	内科学第五	5月26日（金）	17:30～18:00	旭総合研究棟5F循環器内科学教室
36	分子病理学	6月19日（月）	18:00～20:00	基礎棟2F分子病理学教室または旭総合研究棟6F寄生虫学教室
37	循環病態学	6月8日（木）	18:00～19:00	旭総合研究棟9F講義室C
38	地域医療推進学	5月29日（月）	17:30～19:00	基礎棟4Fミーティングルーム（3）
39	再生医科学	6月6日（火）	12:15～13:15	旭総合研究棟8F再生医科学教室会議室
40	外科学【乳腺内分泌外科学分野】	※日程調整中		
41	内科学第四	5月30日（火）	18:00～19:00	臨床外来棟1F内科学第4教室図書室
42	国際交流推進学	※日程調整中		
43	分子医化学	5月22日（月）	18:30～	基礎棟4Fミーティングルーム（3）
44	外科学【呼吸器外科学分野】	5月31日（水）	12:00～13:10	臨床棟7Fカンファレンスルーム

※日程調整中の教室については別途、教室から連絡がいきますのでご確認ください。

2023年 秋のグループ懇談会 日程一覧

グループ 番 号	教室名	懇談会 開催日	時 間	場 所
1	子どものこころ発達医学	11月7日（火）	18:30～20:00	附属病院外来棟4F研修室3, 4, 5
2	人体構造学	11月2日（木）	12:00～12:30	基礎棟4Fミーティングルーム（3）
3	分子病態学	11月21日（火）	18:00～19:00	附属病院5Fレストランソレイユ
4	分子細胞生理学	10月24日（火）	18:00～19:00	基礎棟3Fミーティングルーム（2）
5	血液・腫瘍内科学	10月17日（火）	12:00～13:00	血液・腫瘍内科学教室医局カンファレンスルーム
6	分子薬理学	11月17日（金）	18:00～20:00	基礎棟2F分子薬理学教室セミナー室
7	薬剤部	10月23日（月）	17:00～18:00	附属病院5Fレストランソレイユ
8	病理組織学	9月29日（金）	18:00～19:30	基礎棟3Fミーティングルーム（2）
9	免疫・微生物学	10月12日（木）	17:30～19:00	基礎棟4Fミーティングルーム（3）
10	遺伝医学	10月2日（月）	12:15～12:45	基礎棟3Fミーティングルーム（2）
11	衛生学公衆衛生学	※日程調整中		
12	法医学教室	10月13日（金）	18:00～19:00	基礎棟3Fミーティングルーム（2）
13	内科学第一	10月6日（金）	18:00～19:30	臨床棟4F第一内科医局・ゼミナール室（予定）
14	内科学第二	2月16日（金）		臨床棟5F第二内科医局
15	内科学第三	10月31日（火）	18:00～	臨床外来棟4F第三内科医局カンファレンス室
16	精神医学	11月29日（水）	17:00～18:30	臨床棟6F精神科プロジェクトルーム
17	小児医学	12月1日（金）	18:30～20:30	臨床棟2F小児医学教室医局図書室
18	皮膚科学	9月28日（木）	18:30～	臨床棟7F皮膚科医局
19	画像医学	11月24日（金）	18:00～	臨床棟2F画像医学教室医局
20	外科学【消化器・移植・小児外科学分野】	12月21日（木）	18:00～	臨床棟6F消化器・移植・小児外科医局
21	外科学【心臓血管外科学分野】	10月17日（火）	18:00～	医局カンファレンスルーム
22	運動機能学	11月14日（火）	18:00～19:00	附属病院5Fレストランソレイユ
23	脳神経外科学	11月2日（木）	17:30～18:30	臨床研究棟4F脳神経外科学教室医局ホール（医学部図書館東側）
24	歯科口腔外科学	10月25日（水）	18:00～19:00	基礎棟1F歯科口腔外科学教室カンファレンスルーム
25	泌尿器科学	10月20日（金）	18:00～	臨床棟4F泌尿器科医局カンファレンスルーム
26	眼科学	10月27日（金）	18:00～	
27	耳鼻咽喉科頭頸部外科学	11月15日（水）	17:30～18:30	臨床棟1F耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室医局
28	産科婦人科学	10月31日（火）	18:00～20:00	臨床棟3F産科婦人科学教室ゼミ室
29	麻酔蘇生学	10月26日（木）	18:00～20:00	臨床棟1F麻酔科医局
30	形成再建外科学	10月3日（火）	18:00～19:00	疾患予防西棟3F形成外科医局カンファレンスルーム
31	病態解析診断学	10月17日（火）	12:00～13:00	附属病院南中央診療棟2F臨床検査部カンファレンスルーム
32	救急集中治療医学	11月24日（金）	18:00～19:00	基礎棟東棟2Fプロジェクトルーム
33	寄生虫感染症学	11月17日（金）	18:00～20:00	旭総合研究棟6F会議室
34	免疫制御学	11月10日（金）	18:00～	旭総合研究棟6F会議室
35	内科学第五	10月18日（水）	17:30～18:10	旭総合研究棟5F循環器内科学教室・会議室
36	分子病理学	11月17日（金）	18:00～20:00	旭総合研究棟6F会議室
37	循環病態学	10月5日（木）	18:00～19:00	旭総合研究棟9F講義室C
38	地域医療推進学	11月1日（水）	17:30～19:00	基礎棟3Fミーティングルーム（2）
39	再生医科学	10月4日（水）	12:15～13:15	旭総合研究棟8F再生医科学教室会議室
40	外科学【乳腺内分泌外科学分野】	※日程調整中		
41	内科学第四	10月6日（金）	17:00～18:00	臨床外来棟1F内科学第4教室医局図書室
42	国際交流推進学	※日程調整中		
43	分子医化学	11月10日（金）	18:30～	基礎棟4Fミーティングルーム（3）
44	外科学【呼吸器外科学分野】	10月24日（火）	18:30～	臨床棟7F呼吸器外科医局

※日程調整中の教室については別途、教室から連絡がありますのでご確認ください。

27. 教室連絡先

(R5. 4. 1現在)

	教室名	電話番号	教授氏名 (敬称略)
1	分子病理学教室	0263-37-3395	
2	循環病態学教室	0263-37-2578	新 藤 隆 行
3	スポーツ医科学教室	0263-37-2682	増 木 静 江
4	組織発生学教室	0263-37-2590	
5	人体構造学教室	0263-37-2593	福 島 菜奈恵
6	分子病態学教室	0263-37-2595	沢 村 達 也
7	分子細胞生理学教室	0263-37-3775	田 淵 克 彦
8	分子医化学教室	0263- 37- 3296	平 塚 佐千枝
9	分子薬理学教室	0263- 37- 2606	山 田 充 彦
10	病理組織学教室	0263- 37- 2607	菅 野 祐 幸
11	寄生虫感染症学教室	0263- 37- 2626	高 本 雅 哉
12	免疫・微生物学教室	0263-37-2615	
13	免疫制御学教室	0263-37-2612	
14	遺伝医学教室	0263-37-2618	古 庄 知 己
15	衛生学公衆衛生学教室	0263- 37- 2622	野見山 哲 生
16	法医学教室	0263-37-3218	浅 村 英 樹
17	再生医科学教室	0263-37-3535	柴 祐 司
18	内科学第一教室	0263-37-2631	花 岡 正 幸
19	内科学第二教室	0263-37-2634	梅 村 武 司
20	内科学第三教室	0263- 37- 2673	関 島 良 樹
21	内科学第四教室	0263-37-2686	駒 津 光 久
22	内科学第五教室	0263-37-3194	桑 原 宏一郎
23	精神医学教室	0263-37-2638	鷲 塚 伸 介

	教室名	電話番号	教授氏名（敬称略）
24	子どものこころ診療部	0263-37-2638	本 田 秀 夫
25	小児医学教室	0263-37-2642	中 沢 洋 三
26	皮膚科学教室	0263-37-2647	奥 山 隆 平
27	画像医学教室	0263-37-2650	藤 永 康 成
28	外科学 消化器・移植 ・小児外科学分野	0263-37-2654	副 島 雄 二
29	外科学 心臓血管 外科学分野	0263-37-3577	瀬 戸 達一郎
30	外科学 呼吸器 外科学分野	0263-37-3576	清 水 公 裕
31	外科学 乳腺内分泌 外科学分野	0263-37-2657	伊 藤 研 一
32	運動機能学教室	0263-37-2659	高 橋 淳
33	脳神経外科学教室	0263-37-2690	堀 内 哲 吉
34	歯科口腔外科学教室	0263-37-2677	栗 田 浩
35	泌尿器科学教室	0263-37-2661	
36	眼科学教室	0263-37-2664	村 田 敏 規
37	耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室	0263-37-2664	工 穰
38	産科婦人科学教室	0263-37-2719	塩 沢 丹 里
39	麻酔蘇生学教室	0263-37-2670	川眞田 樹 人
40	形成再建外科学教室	0263-37-2833	杠 俊 介
41	病態解析診断学教室	0263-37-2805	
42	救急集中治療医学教室	0263-37-3018	今 村 浩
43	地域医療推進学教室	0263-37-2548	
44	血液・腫瘍内科学教室	0263-37-2554	
45	附属病院 総合診療科	0263-37-3591	関 口 健 二
46	薬剤部	0263-37-3021	内 藤 隆 文
47	国際交流推進室	0263-37-2354	田 中 直 樹
48	医学教育研修センター	0263-37-3118	

25. 学生相談窓口について

医学部医学科では皆さんの悩みに応える学生支援体制を組んでいます。

☆担任制度

医学科の全学生にはクラス担任がいます。何でも気軽に相談してください。

☆学業で困っている人は医学教育研修センターへ

森 淳一郎 （臨床外来棟 3 階 医学教育研修センター）

電話：0263-37-3118

e-mail：jimori@shinshu-u.ac.jp

☆健康・メンタルヘルス・心や体の相談（カウンセリング）は総合健康安全センターへ

電話：0263-37-2157

☆学生相談センター 全学教育機構南校舎 1 階

電話：0263-37-3165

e-mail：nandemo@shinshu-u.ac.jp

☆セクハラ、アカハラ、パワハラで困っている人はハラスメント相談員へ

詳細は次項をご覧ください。

☆その他どんな悩みごとでも学務・臨床研修グループへ

（学生委員会等と連携し対応いたします。）

基礎医学研究棟 1 階 学務第 1 係

電話：0263-37-3250

e-mail：igakumu01@shinshu-u.ac.jp

開講年度：2023

科目名	医学概論 I Overview of Medicine 1	題目（副題）	早期体験 医学の歩みと未来を考える
担当教員、教員連絡先内線	森 淳一郎 田中 直樹 森淳一郎(5821)		
学年、講義期間、曜日・時限	1年次 通年 月曜, 3時限 土曜, 午後(13:00-17:50)		
単位数、講義室	2 単位 医学科第2実習室		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		⇄ 授業達成目標（一般学修目標G10）
	M23カリ・医学		
	《基礎的・専門的な知識と技能》疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技能を修得している。	⇄	疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技能を修得している。
	《プロフェッショナリズム》温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。	⇄	温かい人間性や高い倫理観を裏付ける幅広い教養を身につけ、社会の健全な発展のために行動できる。
臨床実習前の到達目標	・医学・医療の歴史的な流れ、臨床推論や生と死に係る倫理的問題、各種倫理に関する規範を概説できる。 ・患者の基本的権利、自己決定権の意義、患者の価値観、インフォームドコンセントなどの意義と必要性を説明できる。 ・患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を説明できる。 ・必要な課題を発見し、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な解決方法を見出すことができる。 ・講義、教科書、検索情報などを基に、自らの考えを示すことができる。 ・必要最低限の病歴を聴取し、基本的な身体診察を行うことができる。 ・コミュニケーションの方法と技能およびその及ぼす影響を概説できる。 ・良好な人間関係を築くことができる。 ・患者・家族に共感することの重要性について概説できる。 ・災害医療を説明できる。 ・研究は医学・医療の発展や患者の権利の増進のために行われることを説明できる。 ・生命科学の講義や実習から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断の深化につなげることができる。 ・生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。 ・信州の医療圏の特徴を説明できる。		
授業のキーワード	医学概論講義：科学と医術，医学史，健康，倫理，コミュニケーション，医療システム，医療経済，医療と安全，医師の使命，地域医療， 早期体験実習：医療・介護・福祉，高齢者，重症心身障害者，知的障害者，ノーマライゼーション，人間の尊厳，信州，フィールド学習 信州大学の基礎研究を知る 自分の取り得るキャリアについて知る。 実務経験のある教員による授業科目		
個別行動目標SB0s（授業の概要）	A-1-1)医療と医学研究における倫理の重要性について概説できる。 A-1-2) 患者及びその家族の秘密を守り、医師の義務や医療倫理を遵守するとともに、患者の安全を最優先し、常に患者中心の立場に立つことの重要性について概説できる。 A-2-1) 自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を身に付ける。 A-4-1)、患者やその家族との対話を通じて、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力について概説できる。 A-4-2)患者の個別的背景を理解し、問題点を把握することの重要性を概説できる。 A-7-1)地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を概説できる。 A-8-1)医学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲を身に付ける。 A-9-1)生涯にわたり自己研鑽を続けることの大切さについて概説できる。 B-1-5)生活習慣とそのリスクについて概説できる。 B-1-6)個体及び集団をとりまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響について概説できる。 B-1-7)地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題について概説できる。 B-1-8) 保健・医療・福祉・介護の制度について概説できる。 F-2-16)緩和ケアについて概説できる。 早期体験実習： 1) 礼儀正しく患者（施設利用者）や家族と接することができる。 2) 礼儀正しく謙虚に職員と接することができる。 3) 患者の苦痛や障害に配慮できる。 4) 患者・障害者の人格を尊重した人間関係を築くことができる。 5) 高齢者介護や障害者医療におけるチーム連携について説明できる。		
テキスト，教材，参考書	その他の参考図書は講義の際に適宜紹介する。		
履修上の注意	医学概論の中間部分で行なわれる早期体験実習は，信州大学の医学部生の将来のために，		

履修上の注意	各施設の皆様のご理解とご指導により成り立っていることを深く認識し、謙虚な気持ちで実習させて頂く姿勢を忘れないで頂きたい。 講義、実習のいずれについても、遅刻や無断欠席など社会規範を遵守しない態度は許されない。 講義室は、第2実習室を使用する。個々の日程と講義室については教員からその都度連絡する。
授業の形式、視聴覚機器等の活用	医学概論講義：パワーポイントなどを用いた講義形式およびグループ討論。 早期体験実習：各施設において終日実習を行う。
成績評価の方法	期末試験を40点、授業中の小レポート等40点、早期体験実習20点、教員評価を10点とし、合計点にて評価を行う。ただし、合計点は100点は超えないものとする。 ※なお、何らかの理由により、早期体験実習ができない時には期末試験を60点とする。 期末試験では、各授業日に掲げてある内容を達成しているかをはかる。 小レポートは、各授業後に、授業内容について再度考えることを促す内容とする。 【全体を通して】 専門家の話を聞いて、自身の問題として考えることを促すことを重視する授業となっていることから、学外講師の授業については参加必須とし、学外講師の授業を欠席する毎に成績から3点減点する。
成績評価の基準	早期体験実習の発表およびレポートをふくめ、授業への取り組み状況、期末試験、レポートおよび発表の内容により評価する。 小レポートは、各授業後に、授業内容について再度考えることを促す内容とする。 合計が60点未満は不可とする。
事前事後学習の内容	課題については、授業中、指示をする。 本授業の単位修得には22.5時間分の時間外学習が必要です。
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー（質問、相談への対応）	医学概論は、医学への高い志を持って入学してきた学生諸君が最初に経験する医学教育である。医学の素晴らしさとその責任の重さ、社会からの期待を感じ取り、その高い志をさらに高めるべく真摯に学んでいただきたい。 連絡先：森淳一郎（医学教育研修センター：内線5821、jimori@shinshu-u.ac.jp） 田中直樹（国際交流推進室：naopi@shinshu-u.ac.jp）

授業日	第 1 回	4月10日(月 3)	SBOs	B-1-6)
講義室	医学科第2実習室			
G10	修学ガイダンス/ 「健康」について考える			①健康(健康の定義)、障害と疾病の概念と社会環境を説明できる。 ②社会構造(家族、コミュニティ、地域社会、国際化)と健康・疾病との関係(健康の社会的決定要因(social determinant of health))を概説できる。 ○ WHO(世界保健機構)が示す健康の定義とその内容を説明できる。 ○ 現代および将来の医学が求めるべき「健康」について自分の考えを述べることができる。
担当				
授業日	第 2 回	4月17日(月 3)	SBOs	A-6-1) 安全の確保 A-6-3) 医療従事者の健康と安全 E-2-4) 院内感染 ①標準予防策
講義室	医学科第2実習室			
G10	「感染症」について学ぶ			○感染症蔓延予防についての基本的な知識を習得する。
担当	金井 信一郎 (感染制御室)			
授業日	第 3 回	4月24日(月 3)	SBOs	B-1-8)
講義室	医学科第2実習室			
G10	日本の医療システムを理解する			①日本における社会保障制度と医療経済(国民医療費の収支と将来予測)を概説できる。 ②医療保険、介護保険及び公費医療を概説できる。 ⑧医療における費用対効果について概説できる。 ⑨医療資源と医療サービスの価格形成を概説できる。診療報酬制度を概説できる。
担当	野見山哲生(衛生学公衆衛生学)			
授業日	第 4 回	5月 1日(月 3)	SBOs	A-1-1)
講義室	医学科第2実習室			
G10	医療における倫理について理解する			①医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 ②臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 ③ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。 ○ 先端医療技術に関連した生命倫理学的問題について自分の考えを述べることができる。
担当	福岡義光(遺伝医学)			
授業日	第 5 回	5月 8日(月 3)	SBOs	A-2-1) A-8-1) A-9-1)
講義室	医学科第2実習室			
G10	e-Learning を用いた医学英語、 オンライン国際共修(COIL) のガイダンス			○ 基礎的な医学英単語のルール(スペル、発音、接頭辞・接尾辞)を学ぶ。 ○ e-Learningシステム(ALC NetAcademy NEXT)教材を用いた医学英語勉強法について、説明する。 ○ 夏休み明けのオンライン国際共修(COIL)について、説明する。 ○ 医学論文・レポートの構成を理解し、サマリーや簡単な医学論文を速読できる。 ○ 疾患予防、生命倫理、医療経済などに関するTimesなどの記事を読むことができる。
担当	田中直樹(国際交流推進室)			
授業日	第 6 回	5月15日(月 3)	SBOs	B-1-6)
講義室	医学科第2実習室			
G10	リハビリテーションとノーマライゼーションを理解する。			①障害と疾病の概念と社会環境(機能障害、活動制限、参加制約、生活の質QOL)、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン等)を説明できる。 ○ リハビリテーションのアプローチを説明できる。 ○ リハビリテーションにおけるチーム医療と役割分担について説明できる。 ○ ノーマライゼーションの概念を説明できる。 ○ ノーマライゼーションにおける医療者と社会の役割について自分の考えを述べることができる。
担当	木村貞治(保健学科)			
授業日	第 7 回	5月22日(月 3)	SBOs	B-1-7)
講義室	医学科第2実習室			
G10	長野県の地域医療と信州大学の取り組みを知る			①地域社会(へき地・離島を含む)における医療の状況、医師の偏在(地域、診療科及び臨床・非臨床)の現状を概説できる。 ④かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。 ○わが国の地域医療の現状と課題を述べることができる。 ○長野県の地域医療推進に対する信州大学の取り組みを概説することができる。 ○地域医療と集中型先進医療の両者の重要性について自分の考えを述べることができる。
担当	中澤勇一(地域医療推進学)			
授業日	第 8 回	5月29日(月 3)	SBOs	B-1-7)
講義室	医学科第2実習室			
G10	救急医学を学ぶ			⑤地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。
担当	今村 浩(救急集中治療医学)			
授業日	第 9 回	6月 5日(月 3)	SBOs	B-1-7)
講義室	医学科第2実習室			
G10	救急医学・災害医学を学ぶ			⑤地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。 ⑥災害医療(災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム<DMAT>、災害派遣精神医療チーム<DPAT>、日本医師会災害医療チーム<JMAT>、災害拠点病院、トリアージ等)を説明できる。 ○災害時、非常時における医師の使命について自分の考えを述べることができる。
担当	白子 隆志(飯田市立病院)			
授業日	第 10 回	6月12日(月 3)	SBOs	B-1-7)
講義室	医学科第2実習室			
G10	「新しい生命を育む医療」について理解する			③地域における、保健(母子保健、学校保健)・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間(行政を含む)の連携の必要性を説明できる。 ○超低体重出生児を救う第一線の医療の最近の成果について説明できる。 ○それが患者および家族にとってどのような福音となるか説明できる。 ○今後の医療の発展について自分の考えを述べることができる。
担当	中村友彦(長野県立こども病院総合医局産科母子医療センター長)			

授業日	第 11 回	6月19日(月 3)	SBOs	A-1-2) ①リスボン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。 ②患者の自己決定権の意義を説明できる。 ③選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。 ④インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。
講義室	医学科第2実習室			
G10	医師の責務と裁量について考える。 早期体験実習準備			A-1-3) ②患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを説明できる。 ③医師が患者に最も適した医療の考え方を概説できる。 ④医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。 — 早期体験実習は9月初旬から中旬にかけて2班に分かれて行う。 実習施設は医学概論の講義の際に各自の希望を優先して学生の委員が調整する。 今年度の実習施設については後日通知する。 実習に際しては現地集合、現地解散が原則となる。 学生保険に加入していることが前提となる。 [第1班 9月6日(月) 9:00- 第1講義室に集合・事前の注意/13:00-17:00 実習施設でオリエンテーション・実習 9月7日(火)～10日(金) おおむね9:00-17:00 実習施設で実習] [第2班 9月13日(月) 9:00- 第1講義室に集合・事前の注意/13:00-17:00 実習施設でオリエンテーション・実習 9月14日(火)～17日(金) おおむね9:00-17:00 実習施設で実習]
担当	森 淳一郎			
授業日	第 12 回	6月26日(月 3)	SBOs	F-2-16) ①緩和ケア(緩和ケアチーム、ホスピス、緩和ケア病棟、在宅緩和ケアを含む)を概説できる。 ②全人的苦痛を概説できる。 ③緩和ケアにおける心理社会的苦痛を概説できる。 A-4-1) ①コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ○Bad News を伝える方法としての SPIKES を説明できる。
講義室	医学科第2実習室			
G10	緩和ケアを理解する			
担当	山田祐司(愛和病院)			
授業日	第 13 回	7月 3日(月 3)	SBOs	B-1-7) ③地域における、保健(母子保健、学校保健)・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間(行政を含む)の連携の必要性を説明できる。
講義室	医学科第2実習室			
G10	「新しい生命を育む医療」について理解する2			
担当	菊地範彦(産婦人科学)			
授業日	第 14 回	7月10日(月 3)	SBOs	A-2-1) A-8-1) A-9-1) ① e-Learningシステム(ALC NetAcademy NEXT)を用いて、指定されたセクションをオンデマンドで自習してくる。確認の小テストあり。 ② 自習内容のアウトプットとして、お互いにロールプレイ形式で確認し、最後に全員で復習、まとめ、次回の課題を確認する。 ③ オンライン国際共修(COIL)の準備を行いたい。 ○ 基礎的な医学英単語(スペル、発音、接頭辞・接尾辞)をマスターする。 ○ 医学論文・レポートの構成を理解し、サマリーや簡単な医学論文を速読できる。 ○ 疾患予防、生命倫理、医療経済などに関するTimesなどの記事を読むことができる。
講義室	医学科第2実習室			
G10	e-learningを用いた医学英語 ① オンライン国際共修(COIL)の準備			
担当	森 淳一郎, 田中 直樹			
授業日	第 15 回	9月25日(月 3)	SBOs	A-2-1) 課題探求・解決能力 ①必要な課題を自ら発見できる。 ②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 ③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 ④課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 ⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。 A-4-1) コミュニケーション ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。
講義室	医学科第2実習室			
G10	【早期体験実習の発展学習】 早期体験実習で学んだ内容をもとに、プレゼンテーションの基礎を身に付ける。 【基礎医学教室訪問】※参加必須 基礎医学教室訪問に向けたグループ分けと準備を行う。 e-Learningを用いた医学英語① オンライン国際共修(COIL)の準備			
担当	森淳一郎, 田中直樹(国際交流推進室)			
授業日	第 16 回	10月 2日(月 3)	SBOs	A-2-1) A-8-1) A-9-1) ① e-Learningシステム(ALC NetAcademy NEXT)を用いて、指定されたセクションをオンデマンドで自習してくる。確認の小テストあり。 ② 自習内容のアウトプットとして、お互いにロールプレイ形式で確認し、最後に全員で復習、まとめ、次回の課題を確認する。 ④ オンライン国際共修(COIL)の準備を行いたい。 ○ 基礎的な医学英単語(スペル、発音、接頭辞・接尾辞)をマスターする。 ○ 医学論文・レポートの構成を理解し、サマリーや簡単な医学論文を速読できる。 ○ 疾患予防、生命倫理、医療経済などに関するTimesなどの記事を読むことができる。
講義室	医学科第2実習室			
G10	e-Learningを用いた医学英語 ② オンライン国際共修(COIL)の準備			
担当	田中直樹(国際交流推進室), 森淳一郎			
授業日	第 17 回	10月16日(月 3)	SBOs	A-2-1) ① 1年生を3グループに分け、グループ1が海外協定校の医学生とオンラインで対面する。テーマを設定し、信州(日本)と協定校(海外)との違いを英語で討論・自己学習する。 ② 発表にむけて、プレゼンテーションの準備を行う。 ③ 残りのグループは講義時間を早期体験実習の発表準備(森先生)、e-Learningシステムを用いて医学英語の学習を行う。 ○ 海外の同世代の学生と、應ずることなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。 ○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。 ○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。 ※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
講義室	医学科第2実習室			
G10	オンライン国際共修(COIL) ①			
担当	田中直樹, 森淳一郎(医学教育研修センター)			

授業日	第 18 回	10月23日(月 3)	SB0s	A-2-1)
講義室	医学科第2実習室			
G10	COILグループ1	発表会		① グループ1が海外協定校の医学生とオンライン学習・討論した成果を発表する。 ○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。 ○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。 ○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。 ※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
担当	田中直樹（国際交流推進室）、森淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 19 回	10月30日(月 3)	SB0s	A-2-1)
講義室	医学科第2実習室			
G10	オンライン国際共修 (COIL)	②		① 続いてグループ2が海外協定校の医学生とオンラインで対面する。テーマを設定し、信州（日本）と協定校（海外）との違いを英語で討論・自己学習する。 ② 来週の発表にむけて、1週間かけてプレゼンテーションの準備を行う。 ③ 残りのグループは、医学英語オンデマンド教材で自習する。 ○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。 ○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。 ○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。 ※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
担当	田中直樹（国際交流推進室）、森淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 20 回	11月 4日(土午後)	SB0s	早期体験実習のまとめとして、施設ごとのグループに分かれて実習で学んだことの発表を行う。司会や進行、来賓の招待などすべて学生の運営による。 場所：旭総合研究棟9階A/B講義室（予定） レポートを提出し報告書を作成する。この編集も学生が行う。
講義室	医学科第2実習室			
G10	早期体験実習成果発表会	13時～		
		【土曜日であることに留意すること】		
担当	田中直樹（国際交流推進室）、森淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 21 回	11月 6日(月 3)	SB0s	A-2-1)
講義室	医学科第2実習室			
G10	COILグループ2	発表会		① グループ2が海外協定校の医学生とオンライン学習・討論した成果を発表する。 ○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。 ○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。 ○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。 ※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
担当	田中直樹（国際交流推進室）、森淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 22 回	11月13日(月 3)	SB0s	A-2-1)
講義室	医学科第2実習室			
G10	オンライン国際共修 (COIL)	③		① 最後にグループ3が海外協定校の医学生とオンラインで対面する。テーマを設定し、信州（日本）と協定校（海外）との違いを英語で討論・自己学習する。 ② 来週の発表にむけて、1週間かけてプレゼンテーションの準備を行う。 ③ 残りのグループは、医学英語オンデマンド教材で自習する。 ○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。 ○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。 ○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。 ※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
担当	田中直樹（国際交流推進室）、森淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 23 回	11月20日(月 3)	SB0s	A-2-1)
講義室	医学科第2実習室			
G10	COILグループ3	発表会		① グループ3が海外協定校の医学生とオンライン学習・討論した成果を発表する。 ○ 海外の同世代の学生と、臆することなく英語で楽しくコミュニケーションをとれる。 ○ 協定校を知り、親睦を深め、将来の海外留学への準備とする。 ○ お互いの生活、社会の課題などに触れる。 ※ 日程や内容は、協定校との相談で変更する場合があります。
担当	田中直樹（国際交流推進室）、森淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 24 回	11月27日(月 3)	SB0s	【教室訪問日】
講義室	医学科第2実習室			
G10	【基礎医学について知る】 基礎医学教室訪問で学んだ内容をもとに、基礎医学についての理解を深める。			担当する教室への訪問のみ。教室に集合する必要はありません。
担当	森淳一郎（医学教育研修センター）			
授業日	第 25 回	12月 4日(月 3)	SB0s	A-8-1) A-9-1)
講義室	医学科第2実習室			
G10	海外研究留学の勧め： ノーベル賞受賞者 オルター先生との共同研究の思い出 ―C型肝炎ウイルス発見の恩恵は計り知れない―			① 医学研究の楽しさ、海外の研究者との交流が人生の財産となることを理解してほしい。 ② 信州や日本にとどまらず、グローバルに活躍する気持ちを持ってほしい。
担当	清澤研道先生（信州大学名誉教授）、田中直樹（国際交流推進室）			
授業日	第 26 回	12月11日(月 3)	SB0s	各グループパワーポイント3枚以内、3分以内で発表を行う。当日までにグループ毎にパワーポイントを用意すること。 以下を必ず入れること。 ・教室の主な研究概略 ・研究室の様子や雰囲気
講義室	医学科第2実習室			
G10	【基礎医学について知る（発表会）】 基礎医学教室訪問で学んだ内容をもとに、基礎医学についての理解を深める。			
担当	森淳一郎（医学教育研修センター）			

授業日	第 27 回 12月18日(月 3)	SB0s	○厚生労働省の機能と役割について概説できる。
講義室	医学科第2実習室		
GIO	【医療行政職について知る】 自身がとり得る職業の一つとして、 医療行政職とはどんな職業かを知る。		
担当	森 淳一郎		
授業日	第 28 回 12月25日(月 3)	SB0s	④キャリアステージにより求められる能力に異なるニーズがあることを理解する。
講義室	医学科第2実習室		
GIO	【キャリアパス】 医師の使命とキャリアパスに ついて考える。		○医師の使命とやりがいについて説明できる。 ○生涯学習について考える。 ○医師のパーソナルライフについて考える。
担当	森 淳一郎, 田中 直樹		
授業日	第 29 回 1月15日(月 3)	SB0s	A-4-1) ①コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが 態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築ことの重要性を説明できる。 ③傾聴と共感について説明できる。
講義室	医学科第2実習室		
GIO	【コミュニケーション概論】 良好な人間関係を築くためのコ ミュニケーションについて考える。		
担当	森 淳一郎		
授業日	第 30 回 1月22日(月 3)	SB0s	A-9-1) 生涯学習への準備 ②生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ③キャリア開発能力を獲得する。
講義室	医学科第2実習室		
GIO	【医師について考える】 医師とはどのような職業であ るかを知り、心構えやそれま でに身に付けておくべき事柄 について理解する。 授業アンケートを実施する		A-4-1) コミュニケーション ③患者・家族の話を傾聴し、共感することの必要性を概説できる。 A-4-2) 患者と医師の関係 ①患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮することの必要性を説明できる。 ③患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握することの必要性を説明できる。 A-4-2) ④医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。 A-9-1)
担当	森 淳一郎		

令和5年度入学生
進級・卒業判定の基準について

【1年次生】

- 進級判定の資料
 - 共通教育科目の単位取得状況
 - 専門科目の成績
- 進級の条件 次のすべての条件を満たすこと
 - 条件1：共通教育科目の単位数が基準を満たしていること。
 - 条件2：専門科目の単位をすべて取得すること。

【2年次生】

- 進級判定の資料
 - 共通教育科目の単位取得状況
 - 専門科目および臨床総合試験の成績
- 進級の条件 次の条件を満たすこと
 - 条件1：取得すべき科目の必要単位数を満たしていること。
 - 条件2：臨床総合試験に合格すること。

【3年次生】

- 進級判定の資料
 - 専門科目および臨床総合試験の成績
- 進級の条件 次のすべての条件を満たすこと
 - 条件1：専門科目の単位をすべて取得すること。
 - 条件2：臨床総合試験に合格すること。

【4年次生】

- 進級判定の資料
 - 専門科目および臨床総合試験の成績
- 進級の条件 次の条件をすべて満たすこと
 - 条件1：専門科目の単位をすべて取得すること。
 - 条件2：共用試験（OSCE と CBT）、臨床総合試験に合格すること。

【5年次生】

- 進級判定の資料
 - 臨床実習、Midterm OSCE、臨床総合試験の成績

- **進級の条件** 次の条件をすべて満たすこと
 条件 1 : 臨床実習をすべて修了すること。
 条件 2 : Midterm OSCE、臨床総合試験に合格すること。

【6 年次生】

- **卒業判定の資料**
 - 臨床実習終了後 OSCE、選択臨床実習、すべての試験の成績
- **卒業の条件** 次の条件をすべて満たすこと
 条件 1 : 選択臨床実習をすべて修了すること。
 条件 2 : すべての試験に合格すること。

臨床総合試験の扱いについて

- 学生は、原則として当該学年のすべての試験に合格することが求められる。
- 臨床総合試験の得点が合格ラインに達していない場合や不合格となった専門科目がある場合には、当該科目の得点や実習、その他の試験の成績を勘案し、進級・卒業を総合的に判断する。

再試験制度について

- 担当教員が必要と認める場合は再試験を 1 回行う。
- 科目によっては臨床総合試験をもって再試験とする。
- 臨床総合試験をもって再試験とする科目については、別途通知する。

留年生の履修について

- 進級・卒業判定で進級・卒業が不可となった学生は、次年度、不可となった専門科目を再履修するとともに、原則としてすべての専門科目（ただし、医学概論Ⅱなど経験することが求められる課程を除く）を再受講する必要がある。
- 留年生は、医学教育研修センター教員、グループ担当教員、不可となった授業科目の担当教員と個別面談を行い、留年期間中の学習について、以下の項目を明記した学習計画書を作成し、学務第 1 係に提出する。
 - ・ 不可となった授業科目の学習計画について。
 - ・ 不可となった科目以外の専門科目で再受講を希望する科目について。
 - ・ 留年期間中の生活について。

27. 学生相談窓口について

医学部医学科では皆さんの悩みに応える学生支援体制を組んでいます。

☆担任制度

医学科の全学生にはクラス担任がいます。何でも気軽に相談してください。

☆学業で困っている人・障がいがあり、学習支援を希望する人は医学教育研修センターへ

森 淳一郎 （臨床研究棟 3 階 医学教育研修センター）

電話：0263-37-3118

e-mail：jimori@shinshu-u.ac.jp

☆留学生の方で学業等について相談したい人は国際交流推進室へ

田中 直樹 （臨床研究棟 3 階 国際交流推進室）

電話：0263-37-2354

e-mail：naopi@shinshu-u.ac.jp

☆健康・メンタルヘルス・心や体の相談（カウンセリング）は総合健康安全センターへ

電話：0263-37-2157

☆医学部以外に相談したい場合は学生相談センターへ 共通教育第 1 講義棟南校舎 1 階

電話：0263-37-3165

e-mail：nandemo@shinshu-u.ac.jp

☆セクハラ、アカハラ、パワハラで困っている人はハラスメント相談員へ

詳細は次項をご覧ください。

☆その他どんな悩みごとでも学務・臨床研修グループへ

（学生委員会等と連携し対応いたします。）

基礎医学研究棟 1 階 学務第 1 係

電話：0263-37-3250

e-mail：igakumu01@shinshu-u.ac.jp

卒後研修先（病院名）	人数
諏訪赤十字病院	5
長野赤十字病院	5
信州大学附属病院	4
伊那中央病院	4
信州上田医療センター	4
浅間総合病院	3
長野中央病院	3
南長野医療センター篠ノ井総合病院	3
まつもと医療センター	2
横浜栄共済病院	2
君津中央病院	2
江南厚生病院	2
済生会習志野病院	2
埼玉医科大学総合医療センター	2
三井記念病院	2
千葉大学医学部附属病院	2
相澤病院	2
筑波大学附属病院	2
長野市民病院	2
東京大学医学部附属病院	2
平塚共済病院	2
北アルプス医療センターあづみ病院	2
いなべ総合病院	1
さいたま市民医療センター	1
愛知医科大学病院	1
安城更生病院	1
安曇野赤十字病院	1
越谷市立病院	1
遠州病院	1
横浜労災病院	1
岡崎市民病院	1
岡谷市民病院	1
沖縄県立南部医療センター	1
海南病院	1
海浜病院	1
刈谷豊田総合病院	1
関東労災病院	1
丸の内病院	1
岐阜市民病院	1
京都市立病院	1

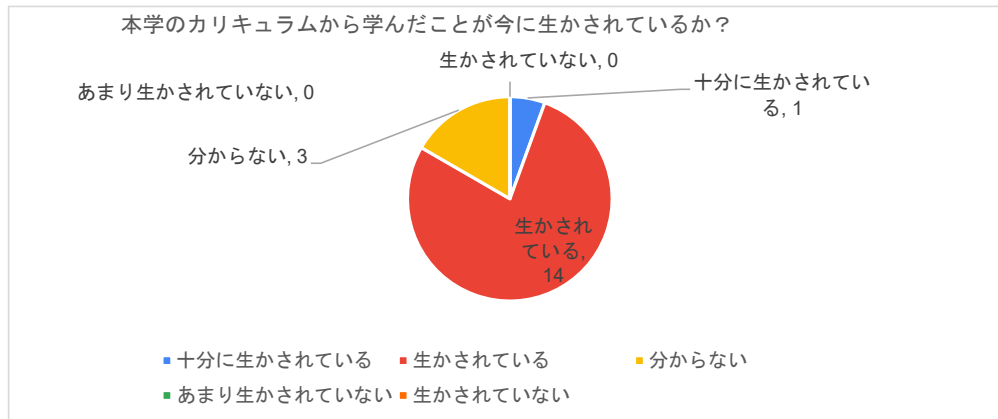
卒後研修先（病院名）	人数
国立相模原病院	1
佐久総合病院	1
済生会横浜市南部病院	1
災害医療センター	1
埼玉医科大学病院	1
埼玉石心会病院	1
市立大町総合病院	1
春日井市民病院	1
小牧市民病院	1
松本協立病院	1
湘南東部総合病院	1
焼津市立総合病院	1
上越総合病院	1
聖マリアンナ医科大学病院	1
西神戸医療センター	1
静岡済生会総合病院	1
帯広厚生病院	1
町田市民病院	1
東京医科歯科大学病院	1
東京都立駒込病院	1
東京都立多摩総合医療センター	1
東京都立大塚病院	1
独立行政法人国立病院機構長崎医療センター	1
飯田市立病院	1
磐田市立総合病院	1
浜松医科大学医学部附属病院(たすきがけ研修)	1
浜松医療センター	1
富士市立中央病院	1
豊田厚生病院	1
北信総合病院	1
北里大学メディカルセンター	1
名古屋市立大学病院	1
名古屋大学医学部附属病院	1
立川相互病院	1
一般企業就職	1
未定	1

卒業生との面談結果

本学のカリキュラムから学んだことが今に生かされているか？

	スコア	回答数
十分に生かされている	5	1
生かされている	4	14
分らない	3	3
あまり生かされていない	2	0
生かされていない	1	0

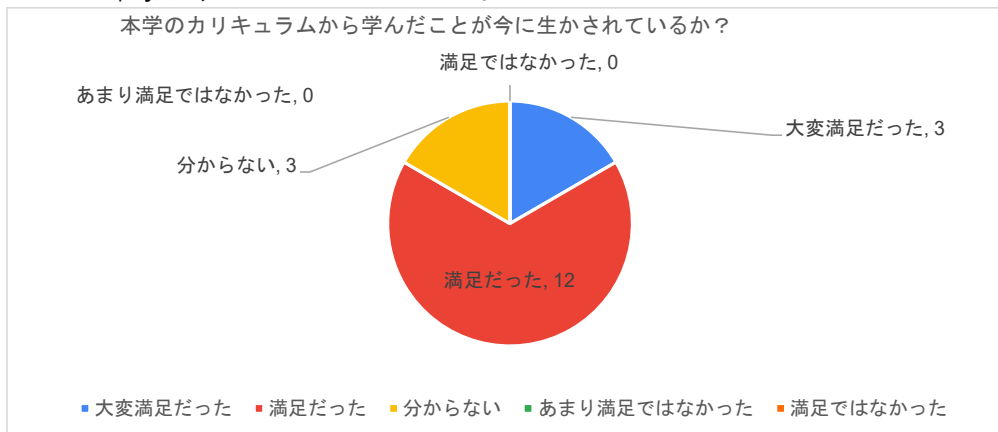
平均スコア 3.9



学生生活は満足でしたか？

	スコア	回答数
大変満足だった	5	3
満足だった	4	12
分らない	3	3
あまり満足ではなかった	2	0
満足ではなかった	1	0

平均スコア 4.0



その他
卒業生：県外出身だが、長野県を研修先を選んで満足している
研修医より：学生さんとの関わりが薄いので、研修責任者と相談してもっと関わりたいと考えています。
研修医：行きなりに対応できている。
研修医1年目のDrより、もっと学生さんと関わりたい、今後研修センター長に要望を出す予定とのこと
研修医のDrから：入職前に想像していた以上に救急外来が忙しい。やりがいはあると思う。
腎臓内科への要望が昨年度あったので、改善しているところだそうですとのこと。（研修医の先生よりご回答頂いた）、今後も信大卒の研修医の先生を積極的に採用したい希望がある。（指導医より）